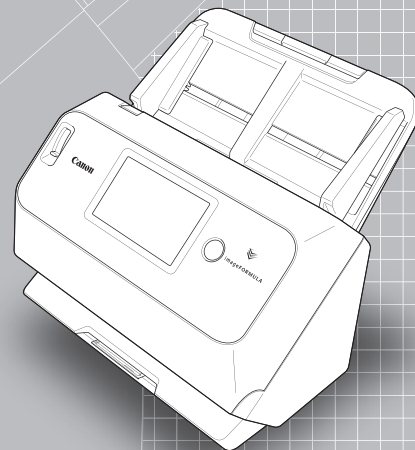




 imageFORMULA
DR-S150
DR-S130

ユーザーマニュアル

- ご使用前に必ず本書をお読みください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



■ 国際エネルギースタープログラムについて



このプログラムは日本向けのものです。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができます。

本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

■ ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

以下のもの（全てを網羅している訳ではありません。）を本物と偽って使用する目的で複製（スキャン）すること、あるいは、複製（スキャン）によりその本物と紛らわしいものを作成すると、法律により罰せられることがあります。

- ・紙幣、銀行券（外国のものを含む）
- ・郵便切手、印紙、その他の金券
- ・株券、社債券、手形、小切手、定期券、回数券、乗車券、その他の有価証券
- ・公務員または役所が作成したパスポート、免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- ・権利、義務もしくは事実証明に関する私人が作成する文書、図画
- ・役所または公務員の印影、署名または記号
- ・私人の印影または署名

■ 商標および登録商標について

- ・Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- ・imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- ・Microsoft、Windows、PowerPoint および SharePoint は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- ・Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ・macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ISIS は、Open Text の米国における商標です。
- ・Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi CERTIFIED ロゴおよび Wi-Fi Protected Setup ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2 と Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の商標です。
- ・設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setup を意味しています。
- ・iDRS™ SDK 15 Windows 32 - 64 bit technology by Image Recognition Integrated Systems S.A.
Copyright 1987 - 2019, I.R.I.S. S.A. All rights reserved.
- ・QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中には™、® マークは明記していません。

■ 免責事項

本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。

また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

はじめに

このたびはキャノンドキュメントスキャナーをお買い求めいただきありがとうございます。

本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご活用いただくために、本機をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みになり、本機の機能をよく理解してからお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

マニュアルの構成

本製品には、下記のマニュアルが用意されています。

- **安全にお使いいただくために**
本機をご使用になる前に必ずお読みになり、記載内容を守ってご使用ください。
- **セットアップガイド**
本機のセットアップ方法を説明したマニュアルです。本機を使い始めるときにお読みください。
- **ユーザーマニュアル（本書）**
本機の操作方法が記載されたマニュアルです。

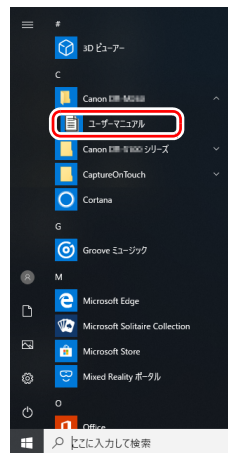


ヒント

- 本製品のマニュアルは、PDF 形式の電子マニュアルとしてセットアップディスクに収録されています。

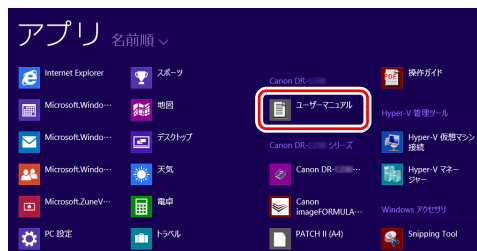


ユーザーマニュアル（電子マニュアル）は、ソフトウェアのインストールにより以下の場所に登録されます。



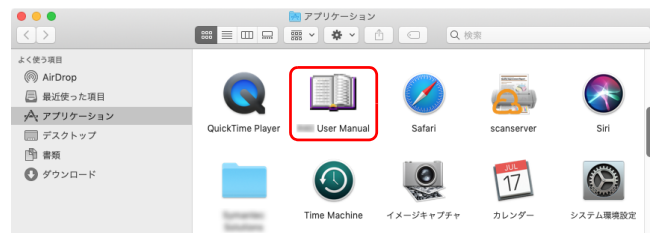
ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。



Mac

ユーザーマニュアル（電子マニュアル）は、以下の場所に登録されます。



マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P. xx)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

目次

はじめに.....	3
マニュアル内の表記について	4
お使いになる前に	7
ソフトウェアの動作環境	7
電源を入れる	8
電源を切るには	9
安全にお使いいただくために	10
設置する場所について	10
AC アダプターについて	10
本機の移動について	11
日常の取り扱いについて	11
廃棄する場合について	12
本製品を修理のために送付するときは	12
電波法に関する記載	12
無線通信機能について	12
電波干渉に関するご注意	12
本機の特長	14
各部の名称と機能	17
本機の使いかた	23
原稿について	23
原稿のセットのしかた	25
複数枚の原稿を連続してスキャンする	25
原稿を 1 枚ずつセットしてスキャンする（非分離給紙）	27
カードをセットする	27
半折り原稿をセットする	28
キャリアシートを使用してスキャンする	30
パスポートをセットする	32
長尺モードの設定	34
原稿の重送を検知する	36
設定メニューの操作	40
設定メニューについて	40
設定メニューの操作手順	40
設定メニューの機能	42
本体設定	42
メンテナンス	42
接続設定	43
スキャン設定	45

スキャンする	46
基本編：コンピューターを使ってスキャンをする (CaptureOnTouch)	47
CaptureOnTouch の起動と終了	47
スキャナーの選択	48
画面の説明	49
3 ステップスキャン	50
お気に入りスキャン	52
スキャナーのタッチパネルでスキャン	57
応用編：コンピューターを使わずにスキャンして保存する (CaptureOnTouch Job Tool)	59
ジョブ編集の準備をする	59
スキャナーのタッチパネルでスキャン	59
ネットワーク上のスキャナーにジョブをコピーする	61
スキャナードライバーの設定	63
スキャナードライバーの構成と機能	63
基本的なスキャン条件の設定	67
より高度なスキャン方法（パッチ区切り）	84
白紙を用いたパッチ区切り	84
パッチコードシートを用いたパッチ区切り	84
Web メニュー	87
Web メニューについて	87
本機の Web メニューを表示する	87
Web メニューの各ページについて	88
Web メニューの設定	89
スキャナー名設定	89
ネットワーク設定	89
デバイス設定	90
パスワード設定	95
メンテナンス設定	96
メンテナンス	97
日常のお手入れ	97
本体の清掃	97
タッチパネルの清掃	97
本体内部の清掃	97
読み取りガラスとローラーの清掃	97
消耗品の交換	99

給紙トレイの取り外し.....	103
Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールについて	104
トラブルシューティング.....	105
トラブル Q & A	105
ソフトウェアの操作で困ったときは.....	109
役立つヒント集	110
紙詰まりの処理	112
エラーメッセージ.....	114
ソフトウェアをアンインストールする.....	115
ISIS/TWAIN ドライバーのアンインストール	115
保証とアフターサービス	117
サービス&サポートのご案内	119
付録.....	120
仕様.....	120
交換部品.....	121
オプション	121
フラットベッドスキャナーユニットについて	121
外形寸法図	122
索引.....	123

お使いになる前に

ソフトウェアの動作環境

本製品を快適にお使いいただくためには、次のシステム要件を推奨します。

コンピューター

CPU：	Intel Core 2 Duo 1.66GHz 以上 Windows Intel Core i7 2.3GHz 以上 Mac
メモリー：	1GB 以上 Windows 8GB 以上 Mac
ハードディスク：	すべてのソフトウェアをインストールするために、 3GB 以上の空き容量
USB インターフェイス：	USB 3.2 Gen1x1/USB2.0
モニター：	解像度 1024×768 (XGA) 以上
光学ドライブ：	CD/DVD の読み取りが可能なドライブ Windows

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット版 /64 ビット版)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット版 /64 ビット版)
- Microsoft Windows 11
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows Server 2022
- macOS Catalina 10.15
- macOS Big Sur 11
- macOS Monterey 12

2022 年 7 月現在の環境です。

最新のソフトウェアサポート状況はキャノンホームページの製品ページをご参照ください。

その他

- 上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア
- .NET Framework 4.5.2 以降

！ 重要

- USB インターフェイスは、コンピューターに標準装備された USB ポートを使用してください。ただし、コンピューターに標準装備されたすべての USB インターフェイスにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- コンピューターに標準装備された USB インターフェイスが USB Full-Speed (USB1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。
- USB ケーブルは、同梱品をお使いください。
- CPU、メモリー、インターフェイスカードなど、コンピューターの推奨仕様を満たさない場合は、スキャン速度が大幅に低下したり、転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピューターのシステム要件を満たしている場合でも、コンピューターの仕様・環境や読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されているスキャナードライバーは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。
- Windows 10 のタブレットモードでは、ソフトウェアの表示が乱れることがあります。
- Windows Server 2012 R2 では、デスクトップエクスペリエンス機能を有効にする必要があります。

64 ビット版オペレーティングシステムで使用する場合の注意事項 (Windows のみ)

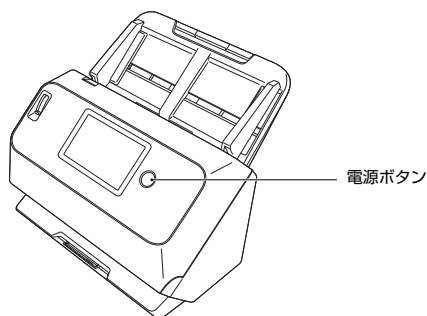
- 本製品の ISIS ドライバーでのスキャンが可能なのは 32 ビット版アプリケーションに限られます。

電源を入れる

本機の電源は、正面の電源ボタンで操作します。

1 本機とコンピューターの接続を確認します。

2 電源ボタンを押します。

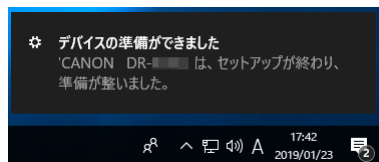
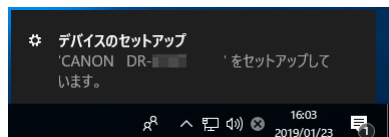


電源が入ると、電源ボタンが青色に点灯します。

Windows

ヒント

USB ケーブルで接続した場合は、初めて本機の電源を入れたときにタスクバーに次のようにバルーンが表示されます。しばらく待つと自動的にスキャナーの認識が終了し、本機が使用できるようになります。



スキャナーがコンピューターに正常に接続されているときは、タスクバーの (CaptureOnTouch) アイコンが次のように表示されます。



タスクバーのアイコンの表示が になっているときは、スキャナーが正常にコンピューターに接続されていません。スキャナーの電源スイッチと USB ケーブルの状態を確認してください。

Mac

スキャナーがコンピューターに正常に接続されているときは、タスクバーの (CaptureOnTouch) アイコンが次のように表示されます。



タスクバーのアイコンの表示が になっているときは、スキャナーが正常にコンピューターに接続されていません。スキャナーの電源スイッチと USB ケーブルの状態を確認してください。

電源を切るには

電源ボタンを短く押すと、タッチパネルと電源ボタンが消灯します。
再度電源ボタンを短く押す、タッチパネルをタッチする、または原稿を給紙口にセットすると復帰します。

電源ボタンを長く（2 秒以上）押すと、本機の電源が切れます。



重要

- 本機の電源が切れてから入れ直すときは、電源を切った後で10秒以上待ってから電源を入れてください。
- 長時間で使用にならないときは安全のため、必ず電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。



ヒント

出荷時は、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に電源が切れる設定がオンになっています。

この設定を無効にするには、「[設定メニューの機能](#)」(→ P.42) または「[電源管理設定](#)」(→ P.94) をご覧ください。

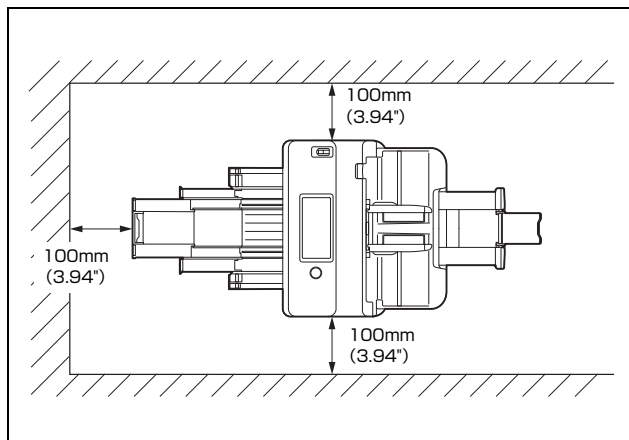
安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置する場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 本機前方に読み取った原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。
- 直射日光が当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。

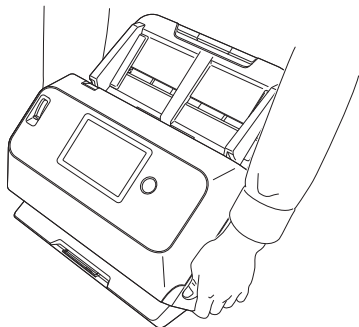
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると、品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。
室温 10℃～32.5℃
湿度 20% (RH) ～80% (RH)
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。
- 排気口はふさがらないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

AC アダプターについて

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- AC アダプターの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- AC アダプターおよび電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。
- 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。また、付属の AC アダプターを他の製品に使用しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

本機の移動について

- 本機を移動する場合は、本機を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。
- 本機を移動する場合は、インターフェイスクーブルや AC アダプターを、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクターが損傷することがあります。



日常の取り扱いについて

⚠ 警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- AC アダプターの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本機が破損した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステイプルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず AC アダプターのプラグを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源を切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄する場合について

本機を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品を修理のために送付するときは

本製品の修理を依頼するときは、指定された送付先に本製品をお送りいただく必要があります。本製品の送付には、製品が入っていた梱包箱をご利用ください。また、梱包箱に入れるときに、本製品を梱包材でしっかりと固定していただくようお願いいたします。

電波法に関する記載

本機は日本国内仕様です。日本国外では使用できません。

日本国外では、その国や地域の法律または規制により、本機を使用した結果罰せられることがあります。その場合、当社としては責任を負いかねますのでご了承ください。

無線通信機能について

DR-S150 : 6130150 (無線モジュールモデル : ES202)

DR-S130 : 6130220 (無線モジュールモデル : ES202)

- ・ 次の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。「本製品を分解、改造すること」、「本製品上の証明ラベルをはがすこと」。
- ・ DR-S150 および DR-S130 には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。

本機には無線通信機能が内蔵されています。無線通信機能で使用する電波により医療機器や各機器に影響を及ぼし重大な事故の原因となる恐れがあります。以下の場所では無線通信機能を使用しないでください。

- ・ 心臓ペースメーカーをお使いの方は、無線通信機能を使用しないでください。無線通信に使用する電波が心臓ペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

- ・ 心臓ペースメーカー等の医療機器を使用されている人の近くでは無線通信機能を使用しないでください。無線通信に使用する電波が心臓ペースメーカー等の動作に影響を与える恐れがあります。ご利用に関しては各医療機関へお問い合わせください。
- ・ 病院などの医療機関内や医療用電気機器の近くでは無線通信機能を使用しないでください。無線通信に使用する電波が医療用電気機器の動作に影響を与える恐れがあります。医療機関内でのご使用に関しては各医療機関へお問い合わせください。
- ・ 航空機内では無線通信機能を使用しないでください。無線通信に使用する電波が航空機内の精密機器へ影響を及ぼし、誤動作による重大事故の原因となる恐れがあります。
- ・ 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは無線通信機能を使用しないでください。無線通信に使用する電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- ・ 無線通信機能を使用するときは、本機を身体から 20cm 以上離してください。

電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 - ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。
- ・ 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。



この表示は、2.4GHz 帯を使用している無線機器であることを意味します。

使用可能な地域と制限事項

世界各地域の無線に関する法律に準拠するため、数種類の本製品が販売されています。製品ごとの使用可能地域は下記のとおりです。使用可能地域以外での使用はできませんので、ご注意ください。また、下記に記載されていない地域については、お客様相談窓口にお問い合わせください。

製品名称	商品コード	使用可能地域	無線 LAN 規格	対応チャンネル	最大無線出力値			
DR-S150 100V	4044C001	日本	IEEE 802.11b/g/n	2.412 ～ 2.462 GHz、 1 ～ 11 ch	EIRP 11.48 dBm			
DR-S150 100V + Feeder Tray w/ NFC reader	4044C013							
DR-S150 120V	4044C002	アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、コロンビア、 パナマ、チリ						
DR-S150 120V + Feeder Tray w/ NFC reader	4044C014							
DR-S150 220-240V	4044C003	オーストリア、ベルギー、ブルガリア、キプロス、 チェコ共和国、デンマーク、エストニア、 フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、 ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イ タリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブル ク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーラ ンド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、ス ロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、 リヒテンシュタイン、イギリス、ロシア、トル コ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、 タイ、ペルー、アルゼンチン、香港						
DR-S150 220-240V + Feeder Tray w/ NFC reader	4044C015							
DR-S130 220-240V	4812C001							
DR-S150 CA	4044C004	オーストラリア、ニュージーランド						
DR-S150 CN	4044C005	中国						
DR-S150 KR	4044C006	韓国						
DR-S150 INDIA	4044C007	インド						
DR-S150 TW	4044C008	台湾						

本機の特長

本機の主な特長は以下のとおりです。

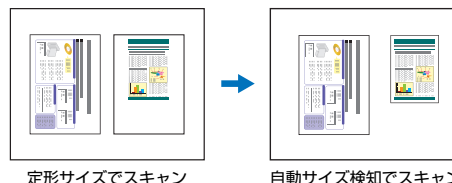
スキャナー本体の特長

- **タッチパネル**
直感的な操作が可能なタッチパネルを搭載しています。
- **多彩な接続モード**
お使いの環境に合わせ、USB、有線 LAN (DR-S150 のみ)、無線 LAN による接続が可能です。USB は、USB 3.2 Gen1x1/USB2.0 に対応します。
- **コンパクトデザイン**
使用時最大サイズ幅 291 (11.5") × 奥行き 600 (23.7") × 高さ 378 (14.9") mm のコンパクトなサイズです。
- **フルオートモード**
CaptureOnTouch およびスキャナードライバーに、スキャン条件を自動的に決定する「フルオートモード」が用意されています。カラーモードや用紙サイズなどのスキャン条件が原稿に合わせて自動的に設定されます。
- **解像度の自動検知**
CaptureOnTouch およびスキャナードライバーの設定により、原稿の内容から解像度を自動的に決定することができます。
- **カードスキャン**
ISO/JIS 規格に準拠したサイズのカードをスキャンできます。
- **本体へのスキャン設定登録**
よく使うスキャン・送信先設定をスキャナー本体に登録することが可能です。
- **多様な読み取りモード**
読み取りモードとして、以下のモードが用意されています。
「白黒」、「グレースケール」、「カラー」、「誤差拡散」、「アドバンスドテキストエンハンスメント」、「アドバンスドテキストエンハンスメント II」、「アクティブスレッシュホールド」
* アドバンスドテキストエンハンスメントやアクティブスレッシュホールドは、原稿の背景や地色を処理して文字を読みやすくするモードです。
- **高速原稿給紙**
最大 45 枚 / 分 (DR-S150)、30 枚 / 分 (DR-S130) で原稿をスキャンします (A4 サイズの片面または両面原稿を 200dpi でスキャンした場合)。

- **長尺モード**
ユーザーモードの設定により、最大 3,000mm までの長さの原稿をスキャンすることができます。

検知機能

- **カラー原稿自動検知**
スキャンした原稿がカラー原稿か、グレーまたは白黒原稿かを自動検知します。
- **自動原稿サイズ検知**
スキャンした原稿のサイズを検知してスキャンします。



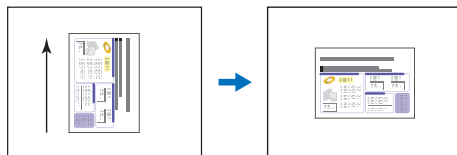
- **文字強調モード**
背景が濃い原稿や、背景が均一でない原稿を読みやすくするアドバンスドテキストエンハンスメントモードと、背景が均一で文字、背景ともに薄い原稿の文字を読みやすくするアドバンスドテキストエンハンスメント II モード、薄い文字の原稿や汚れのある原稿など、様々な種類の原稿を一度にパッチ処理するのに適したアクティブスレッシュホールドモードを備えています。
* 原稿によっては、有効に機能しない場合があります。
- **超音波重送検知**
超音波センサーによって原稿の重なりを検知して搬送を停止します。
「[原稿の重送を検知する](#)」(→ P.36)
- **長さによる重送検知**
原稿の長さの比較によって原稿の重なりを検知し、搬送を停止します。
「[原稿の重送を検知する](#)」(→ P.36)
* 1 枚目の原稿の長さを基準とし、長さの異なる原稿が搬送されたときに重送を検知します。

- **プレスキャン**

スキャンを開始したときに原稿を 1 枚スキャンして中断し、1 枚目の画像で明るさとコントラストを調整してからスキャンを行います。

- **文字向き検知**

原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を 90 度単位で回転します。



原稿の向き

文字の向きを検知して
回転した画像

画像処理

- **裏写り / 地色除去**

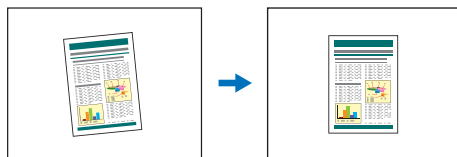
薄い原稿をスキャンしたときに起きる原稿の裏写りや原稿の地色を除去します。

- **画像回転**

スキャンした画像を 90 度単位で回転または、原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を 90 度単位で回転します。

- **斜行補正**

スキャンした画像から原稿が斜めに搬送されたと判断したときに、画像をまっすぐに補正します。

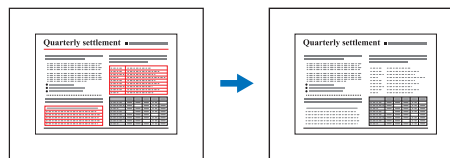


斜行した画像

斜行補正した画像

- **ドロップアウト**

モノクロまたはグレースケールでのスキャン時に、原稿の中の特定の色を読み取らないようにする（ドロップアウト）機能を備えています。

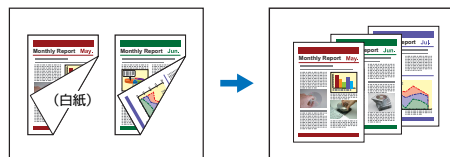


多色原稿

赤色をドロップアウト

- **白紙スキップ**

原稿の両面をスキャンして、白紙として判断した面の画像の保存をスキップします。

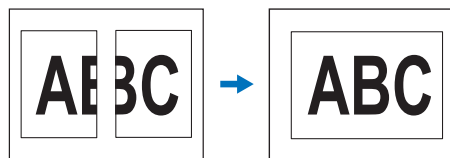


白紙のある両面原稿

白紙をスキップした画像

- **半折りスキャン**

給紙口にセットできない原稿を半折りにして両面をスキャンし、スキャンした表裏の画像を 1 枚の画像に合成します。

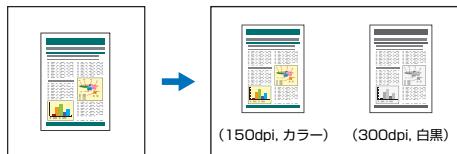


表裏の画像

合成した画像

- マルチストリーム **Windows**

用途に合わせて読み取り条件の異なる 3 つの画像を 1 回のスキャンで同時に出力することのできるマルチストリーム機能に対応しています。ただし、この機能はお使いのアプリケーションがマルチストリーム機能に対応している場合にのみ使用できます。



スキャンする原稿

2 種類の画像を出力

- 文字・線を太くする

スキャンした画像の文字や絵が判別しにくい場合に、文字や絵の太さを補正してスキャンする機能を備えています。

- 背景スムージング

スキャンした画像の背景部分が滑らかに処理されます。[基本] タブの [カラーモード] で [自動で検知する] または [グレースケール]、[カラー] を選択している場合に使用できます。

- バーコード検知 **Windows**

原稿内のバーコードを検知することができます。

- パッチコード検知 **Windows**

原稿内に挿入されたパッチコードシートを検知してパッチ区切りを行うことができます。[「より高度なスキャン方法 \(パッチ区切り\)」](#) (→ P.84)

その他

- 自動スタート

原稿を給紙口にセットすると、原稿を検知して自動的にスキャンを開始する自動スタート機能を備えています。

- スリープモード

スキャンなどの操作をしないまま 10 分経過すると自動的にスリープモードに移行する省エネ設計です。

- A4 キャリアシート

別売りのキャリアシート (A4) を使用して、原稿を傷つけずにスキャンできます。

- パスポートスキャン

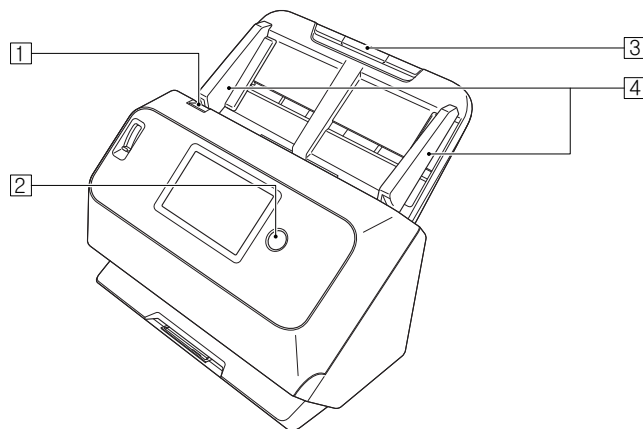
別売りのキャリアシート (パスポート用) を使用して、パスポートをスキャンできます。

- COT Admin (DR-S150 のみ) **Windows**

ジョブ／スキャナー／ユーザーの情報を集中管理するサーバーソフトウェアです。スキャナー本体のタッチパネルで、ユーザー認証機能や NFC を使ったログオン機能が使えるようになります。

各部の名称と機能

前面（排紙トレイを収納した状態）



① OPEN レバー

前ユニットを開くときに手前に引きます。

② 電源ボタン

押すとスキャナーの電源が入ります。このとき、電源ボタンは点灯します。スキャナーの電源を切るときは、再度このボタンを押します。

電源ボタンは、スキャナーの状態に応じて次のように点灯または点滅します。

電源ボタンの表示	説明
点灯	電源オン
点滅（ゆっくり）	スリープモード
点滅（高速）	エラー（紙詰まり、前ユニット開、重送など）が発生

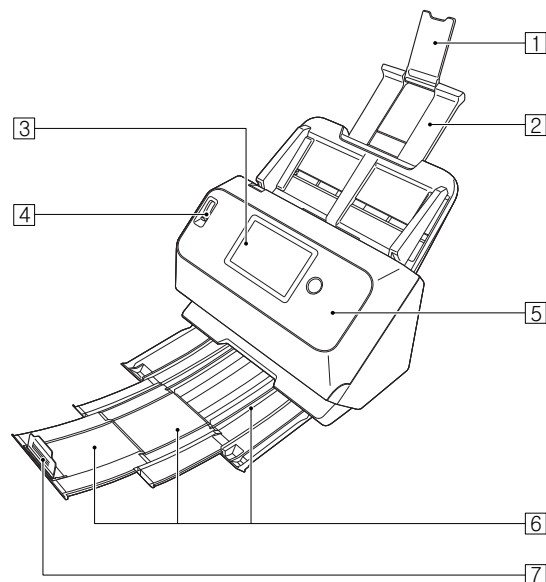
③ 給紙トレイ

原稿をセットします。

④ 原稿ガイド

セットした原稿の両端に合わせることで、原稿がまっすぐ給紙されるようにします。

前面（排紙トレイを引き出した状態）



① 給紙補助サポート

長い紙をスキャナーにセットするときに開きます。

② 給紙サポート

セットした原稿を支えるために、引き出して使用します。

③ タッチパネル

画面をタッチしてスキャナーの各種操作をします。

④ 給紙切替レバー

原稿の給紙方法を設定します。

複数枚の原稿を 1 枚ずつ分離させて給紙する場合は下側（通常給紙）にします。（→ P.25）

複数枚綴りの伝票などを分離しないで給紙する場合は上側（非分離給紙）にします。（→ P.27）

⑤ 前ユニット

本体内部の清掃時やローラーの交換時に開きます。

⑥ 排紙トレイ

スキャンするときに引き出します。スキャンされた原稿がここに排紙されます。

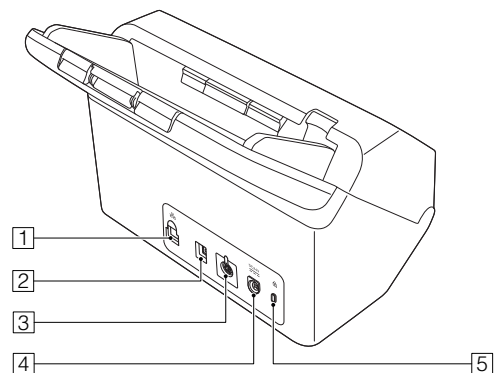
サイズが異なる原稿を一度にまとめてスキャンする場合、引き出したトレイを上方に持ち上げた状態で引き出すと、トレイの角度が固定され、排紙された原稿をトレイ上にそろえることができます。

⑦ 排紙ストッパー

排紙トレイから飛び出すのを防ぎ、排紙された原稿の先端を揃えます。原稿の長さに合わせて、排紙トレイ上の任意の位置に動かすことができます。

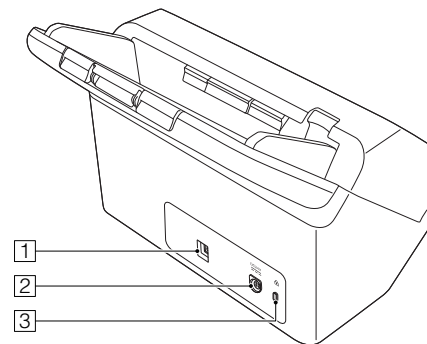
背面

DR-S150



- ① **LAN コネクター**
RJ-45 (10Base-T/100Base-TX/1000Base-T) に対応したネットワークケーブルを接続します。
- ② **USB コネクター**
同梱の USB ケーブルを接続します。
- ③ **オプション用コネクター**
オプション品 (NFC リーダーなど) を購入した際に使用します。
- ④ **電源コネクター**
同梱の AC アダプターを接続します。
- ⑤ **盗難防止用の穴 (セキュリティスロット)**
盗難防止用のキーチェーンなどを接続します。

DR-S130



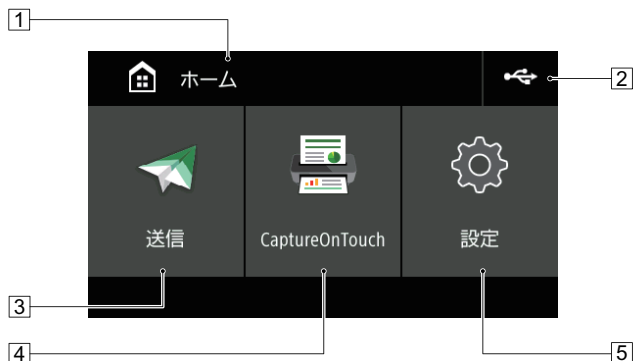
- ① **USB コネクター**
同梱の USB ケーブルを接続します。
- ② **電源コネクター**
同梱の AC アダプターを接続します。
- ③ **盗難防止用の穴 (セキュリティスロット)**
盗難防止用のキーチェーンなどを接続します。

タッチパネル

タッチパネルに表示される内容は、スキャナーの状態によって異なります。各画面の操作や詳細は「[設定メニューの操作手順](#)」(→ P.40)を参照してください。

代表的な表示例は以下のとおりです。

ホーム画面



1 タイトル部

操作画面のタイトルを表示します。

2 接続切替ボタン

接続切替画面を表示します。

本機とコンピューターの接続方法によって、表示されるアイコンが以下のように切替わります。



USB 接続時



有線 LAN 接続時 (DR-S150 のみ)



Wi-Fi 接続時

3 送信ボタン

スキャナー本体のジョブを使ってスキャンします。(→ P.59)

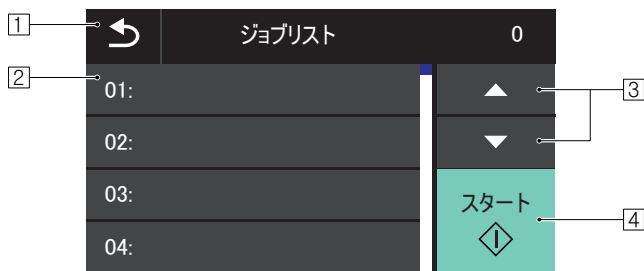
4 CaptureOnTouch ボタン

CaptureOnTouch のジョブを使用してスキャンします。(→ P.57)

5 設定ボタン

設定メニュー画面を表示します。(→ P.40)

ジョブリスト画面



1 戻るボタン

1 つ前の画面に戻ります。

2 リスト部

選択可能なメニュー項目やジョブ項目などを表示します。

3 ▲▼ボタン

リストを上下にスクロールします。

4 スタートボタン

スキャンを開始します。

画面の状態によっては他にも以下のアイコンが表示されます。



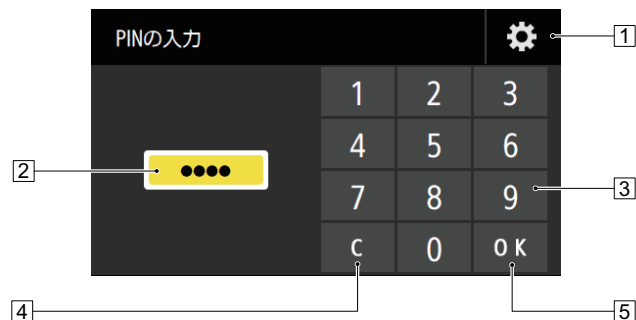
リストを更新します。



ホーム画面を表示します。

PIN の入力画面

PIN コード機能が有効になっていると、本機を起動したときに PIN コードの入力が必要です。PIN コード機能の有効／無効は Web メニューで設定できます。[「PIN 設定」](#) (→ P.94)



① 管理者ログイン画面ボタン

管理者ログイン画面を表示します。

② PIN コード

入力した PIN コードを表示します。

③ 数字ボタン

数字を入力します。

④ クリアボタン

入力された PIN コードを 1 文字削除します。

⑤ OK ボタン

PIN コードの認証をします。

認証画面 (DR-S150 のみ)

COT Admin モードが有効な場合に表示されることがあります。この機能を使用するためには、オプションの NFC リーダー付給紙トレイが必要です。

NFC 認証画面



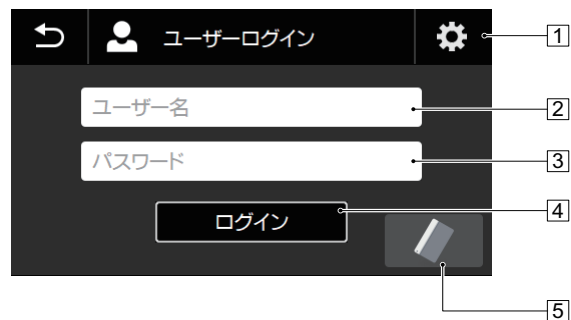
① 管理者ログイン画面ボタン

管理者ログイン画面を表示します。

② ユーザーログイン画面ボタン

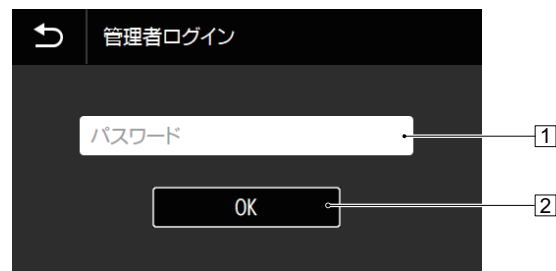
ユーザーログイン画面を表示します。

ユーザーログイン画面



- ① 管理者ログイン画面ボタン
管理者ログイン画面を表示します。
- ② ユーザー名
ユーザー名を入力します。
- ③ パスワード
パスワードを入力します。
- ④ ログインボタン
本機にログインします。
- ⑤ NFC 認証画面ボタン
NFC 認証画面を表示します。

管理者ログイン画面



- ① パスワード
パスワードを入力します。
- ② OK ボタン
本機に管理者としてログインします。管理者のパスワードは、Web メニューの管理者パスワードと同じです。(→ P.87)

本機の使いかた

原稿について

本機は、名刺などの大きさから A4 サイズまでの原稿を読み取ることができます。読み取ることができる原稿の大きさは以下のとおりです。

普通紙

サイズ

幅 : 50.8 ~ 216mm (2" ~ 8.5")

長さ : 54 ~ 356mm (2.1" ~ 14") (長尺モード時は最大 3000 mm (118.1"))

紙厚

通常給紙 : 27 ~ 209g/m² (0.04 ~ 0.25mm)

非分離給紙 : 27 ~ 255g/m² (0.04 ~ 0.3mm)

最大積載枚数

A4 サイズ以下の原稿 : 60 枚 (80g/m²)

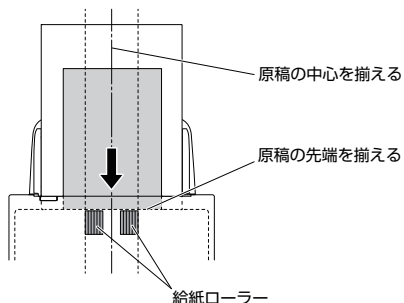
A4 サイズを超える原稿 : 40 枚 (80g/m²)

上記どちらの場合も高さ 6mm を超えないこと

重要

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数のサイズの異なる原稿を一度に読み取るときは、原稿が給紙ローラーの全幅にかかるように、原稿の先端と中心を揃えてセットしてください。



- 356mm (14") を超える原稿は、1 枚給紙を推奨します。
- インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。

- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナーの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整してから実行してください。
- ラミネート加工された原稿は、原稿の状態によっては適切な画像が得られない場合があります。
- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙づまりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから読み取ってください。



しわや折り目が入っている。



カール（巻き付け）がある。



破れている。



クリップやステイプルの針が付いている。



カーボン紙。



表面がコーティングされている。



半透明の薄紙など極端に薄い。



紙粉が出やすい紙

名刺

サイズ

幅 50mm (2") × 長さ 85mm (3.35") 以上

紙厚

380g/m² (0.45mm) 以下

重要

名刺の束をセットして正常に搬送できない場合は、セットする名刺の枚数を減らしてください。

カード（プラスチック製）

サイズ 54mm (2.12") × 86mm (3.37") (ISO/JIS 規格準拠)
カード厚 1.4mm (0.055") 以下
挿入方向 横送りのみ
エンボス付き 可能
最大積載枚数 3 枚（エンボスなし）、1 枚（エンボス付き）



注意

- カードは横向きにセットしてスキャンしてください。縦向きにセットすると搬送時にカードに負荷がかかり、正常に排出されない場合があります。また、エラーになったカードを取り除くときに、カードが損傷することがあります。
- エンボス付きのカードは、エンボスの状態によっては適切な画像が得られない場合があります。
- カードをスキャンするときは、スキャナードライバーの設定画面で [エラー検知] タブの [超音波で検知] チェックボックスをオフにしてください。 (→ [P.36](#))

パスポート

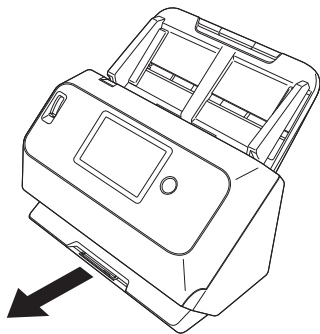
サイズ 88mm (3.464") × 125mm (4.921") (ISO 規格準拠)
スキャン時はパスポートを開き、別売りのキャリアシート（パスポート用）に入れて搬送のこと
紙厚 4mm (0.157") 以下（キャリアシート込み）

原稿のセットのしかた

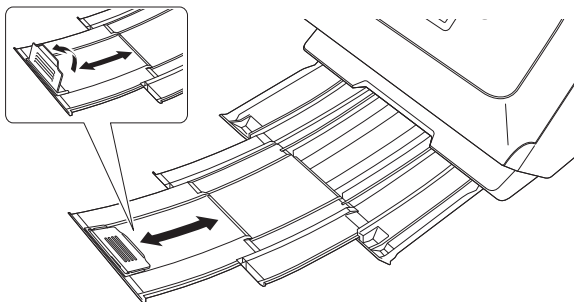
複数枚の原稿を連続してスキャンする

複数枚の普通紙の原稿をまとめてスキャンするときは、通常給紙でスキャンします。通常給紙では、複数枚の原稿を1枚ずつ分離しながら給紙します。

1 排紙トレイを引き出します。



排紙トレイは3段階の長さ調節が可能です。原稿の長さに合わせて排紙トレイを引き出してください。また、必要に応じて先端の排紙ストッパーを立ててください。

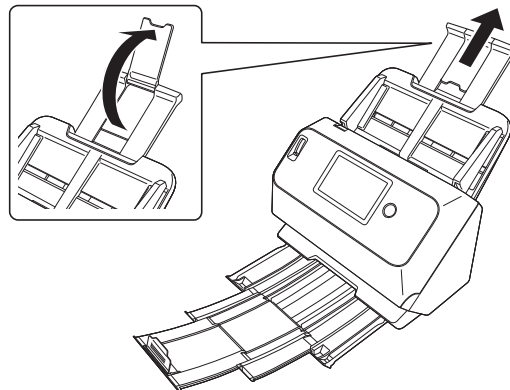


重要

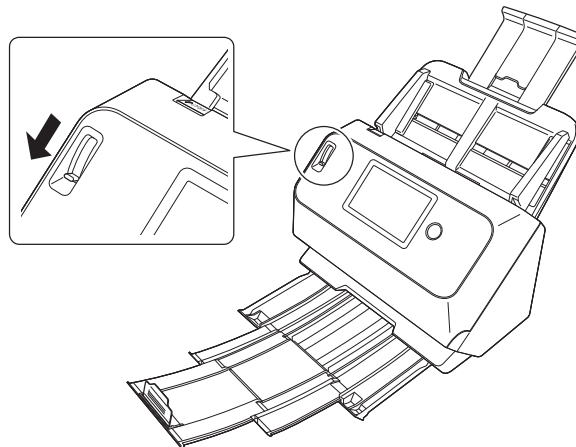
排紙トレイはそれぞれの段階に応じて手前まで引き出してください。

2 給紙サポートを引き出します。

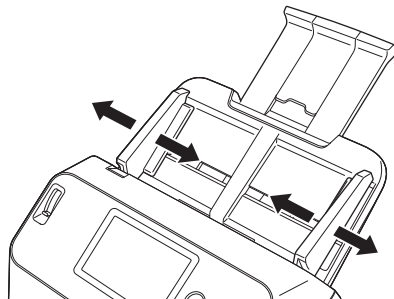
長い原稿をセットするときは、給紙補助サポートを開いてください。



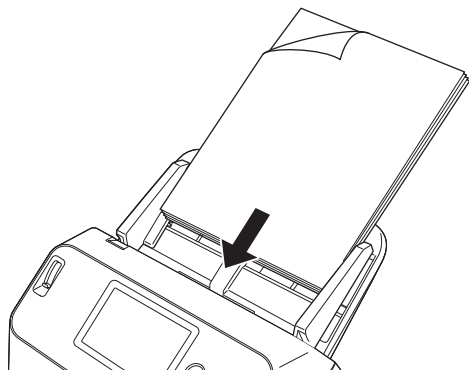
3 給紙切替レバーを通常給紙に切り替えます。



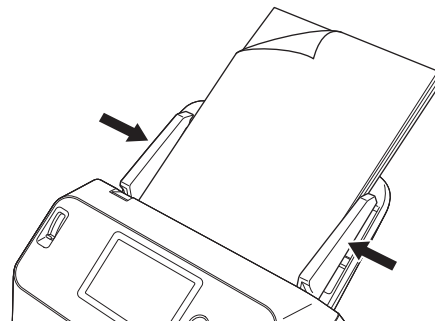
4 読み取る原稿の幅に原稿ガイドを合わせます。



5 原稿をセットします。



6 原稿ガイドを原稿の両端に合わせます。



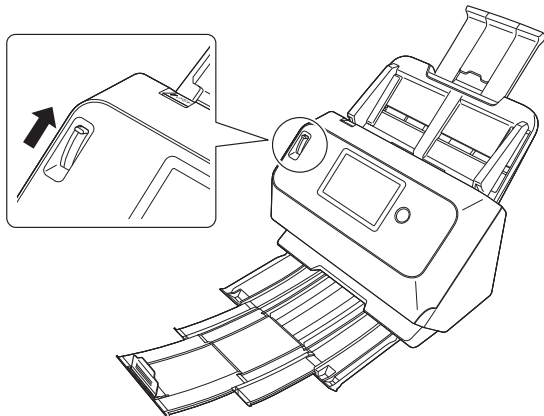
重要

- 原稿をセットするときは慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。
- 原稿をセットする前に、クリップやステイプルの針などが紛れ込んでいないか、必ず確認してください。万一、これらが紛れ込んでいると、大事な原稿が破れたり、紙づまりが発生するなど、本機の故障の原因になります。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれて、けがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などにご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源ケーブルを本体から抜いて本機を停止してください。
- 原稿の先端がカールしていると原稿が折れたり、紙づまりの原因になります。カールが大きい場合は、カールを矯正してから本機にセットしてください。
- 読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み取り作業を続けてください。
- 読み取りが終了し、スキャナーを使用しないときは、本機の損傷を防ぐために排紙トレイを収納してください。

原稿を 1 枚ずつセットしてスキャンする（非分離給紙）

厚い原稿を 1 枚ずつスキャンするときや、複数枚綴りの原稿を綴じたままスキャンするときは、給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。非分離給紙では、枚数にかかわらずセットされた原稿が分離されずにスキャンされます。

1 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。



2 「複数枚の原稿を連続してスキャンする」(→ P.25) の手順に従って原稿をセットします。

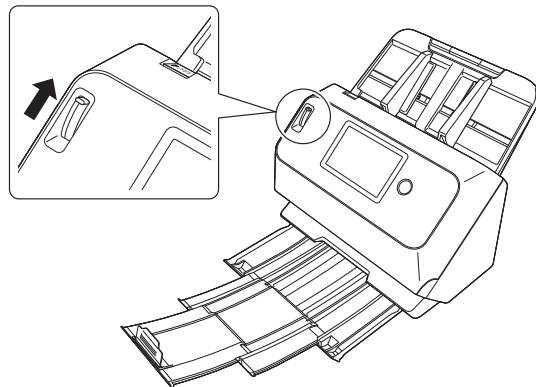
❗ 重要

- 複数枚綴りの伝票などをセットするときは、綴じしろを下に向けて給紙口に挿入してください。
- 重送するときは、スキャナー本体のタッチパネルで「重送検知を無効にする」をオンにしてください。(→ P.45) または、スキャナードライバーの設定画面で「エラー検知」タブの「超音波で検知」チェックボックスをオフにしてください。(→ P.65) または、スキャナードライバーの設定画面で「その他」タブの「継続モード」チェックボックスをオンにしてください。(→ P.36)

カードをセットする

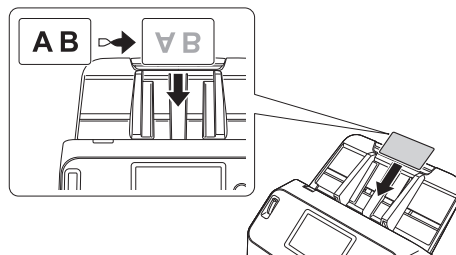
カードをスキャンするときは、給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えてから、カードを横向きにして 1 枚ずつスキャナーにセットします。

1 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。



2 スキャンするカードの幅に原稿ガイドを合わせます。

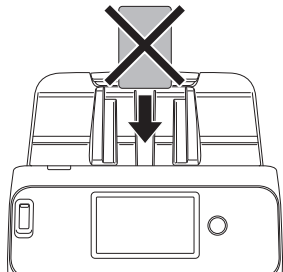
3 カードを横向きにして裏返し、上端を下にしてセットします。





注意

- カードは 1 枚ずつセットしてください。
- カードは横向きにセットしてスキャンしてください。縦方向にセットすると搬送時にカードに負荷がかかり、正常に排出されない場合があります。また、エラーになったカードを取り除くときに、カードが損傷することがあります。



- カードをスキャンするときは、スキャナードライバーの設定画面で [エラー検知] タブの [超音波で検知] チェックボックスをオフにしてください。(→ P.36)



ヒント

エンボスがないカードは、一度に 3 枚までスキャナーにセットできます。この場合は、給紙切替レバーを通常給紙にしてスキャンしてください。

半折り原稿をセットする

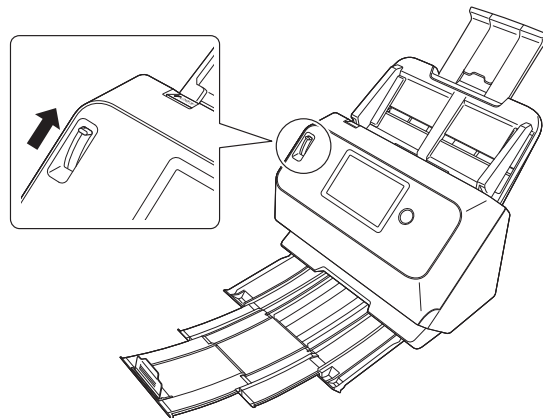
給紙口にセットすることができない A4 サイズより大きい原稿を読み取る方法として「半折りスキャン」があります。半折りスキャンでは、原稿を半折りにしてセットし、半折り原稿の両面を読み取ってできた表裏の画像を 1 つの画像に合成します。

1 スキャン条件を設定します。

→ **Windows**

→ **Mac**

2 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。



3 原稿を 2 つに折ります。

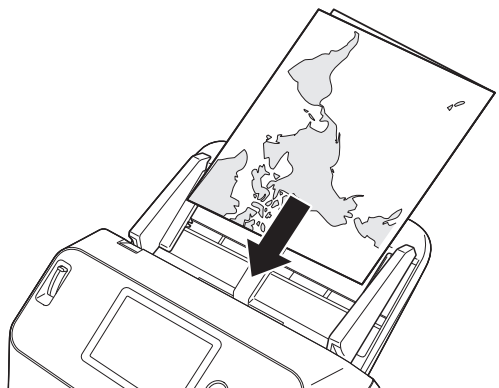
原稿の中心に折り目をしっかりつけて 2 つに折ります。折った原稿の端がきれいに揃うように折ってください。原稿の折り方によっては、紙詰まりが発生したり、合成後のスキャン画像にずれが生じることがあります。



重要

折り目の部分は、スキャン画像の一部が欠落します。

4 原稿を、折り目を右に向け、上端を下にしてセットします。



重要

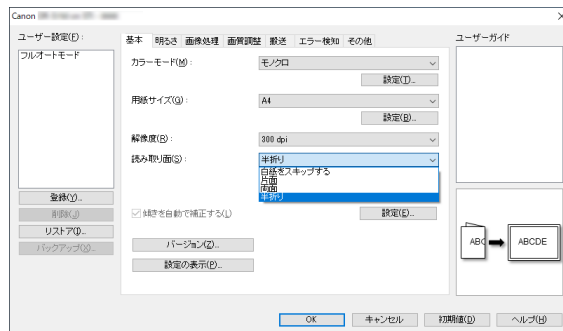
原稿ガイドは原稿の幅に合わせてください。原稿ガイドの位置が広がっていると斜行、画像のズレの原因になります。

ヒント

- 半折り原稿の手前になる面の画像が、合成された画像の右半分になりません。
- 合成される画像は最大A2サイズの画像です。この方法でA2サイズの原稿がスキャンできます。非定形サイズの原稿を半折りスキャンする場合は、スキャナードライバーの設定画面で「用紙サイズ」の設定を「原稿のサイズに合わせる」にしてください。(→P.67)

Windows

- 1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→P.63)
- 2 [基本] タブの「用紙サイズ」を実際にスキャンする用紙サイズの半分のサイズに設定し、「読み取り面」を「半折り」にします。たとえば、A3 サイズの原稿を半折りでスキャンするときは、「用紙サイズ」を「A4」にします。

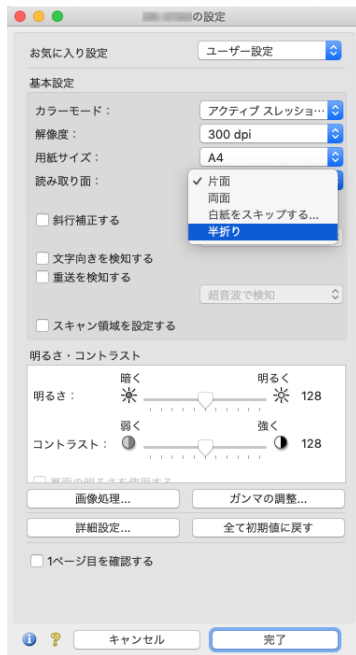


- 3 [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

Mac

- 1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→P.66)
- 2 「用紙サイズ」を原稿の半分のサイズ（非定型の原稿をスキャンするときは「自動で検知する」）にします。

3 [読み取り面] を [半折り] にします。



4 [OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

キャリアシートを使用してスキャンする

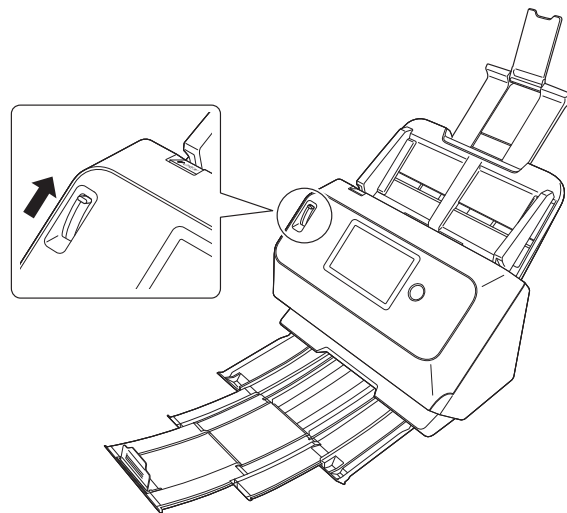
原稿を傷付けずにスキャンするときは、別売りのキャリアシートに原稿を入れてスキャナーにセットします。

1 スキャン条件を設定します。

→ Windows

→ Mac

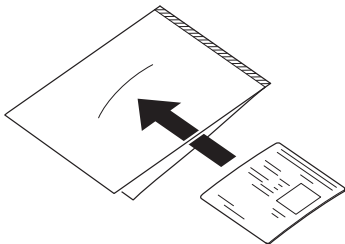
2 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。



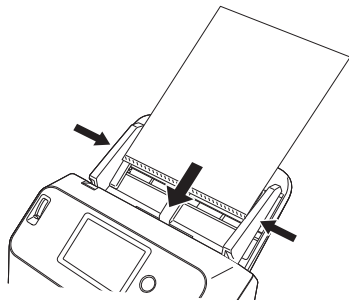
⚠ 注意

キャリアシートを使用してスキャンするときは必ず給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えてください。

3 原稿をキャリアシートに入れます。



4 キャリアシートの綴じしろを先端にして原稿をセットします。



原稿をセットしたら、原稿ガイドを原稿の両端に合わせてください。



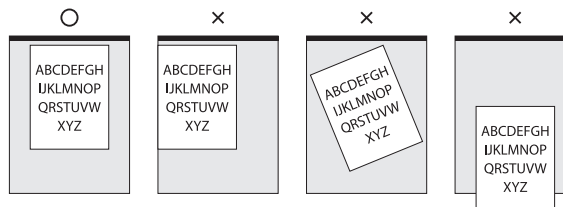
注意

キャリアシートや中の原稿が正しくセットされていないと、原稿が詰まったり、きれいにスキャンされない場合があります。



重要

- キャリアシートには、原稿をまっすぐ中央に入れてください。原稿が端に寄っていたり、傾いていたり、キャリアシートからはみ出していると、正常にスキャンできません。

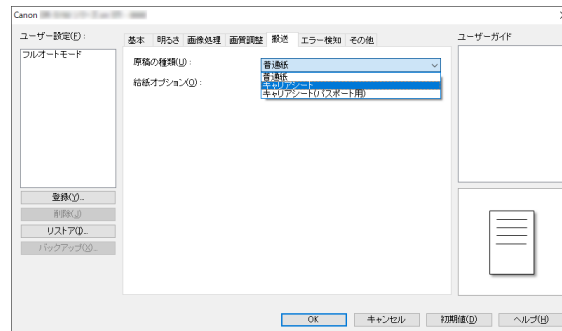


- スキャンが可能な紙厚は 127g/m^2 以下です。
 127g/m^2 を超える原稿は、紙詰まりが発生するなど、本機の故障の原因になります。
- キャリアシートの交換目安は、 80g/m^2 紙 1 枚を入れてスキャンした場合で 1,000 枚です。キャリアシートは消耗品です。傷や汚れが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

Windows

1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.63)

2 [搬送] タブを開き、[原稿の種類] で [キャリアシート] を選択します。



3 [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

Mac

1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.66)

2 [詳細設定] ボタンをクリックします。
スキャナードライバーの詳細設定画面が開きます。

3 [搬送] で [キャリアシート] を選択します。



4 [閉じる] ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

パスポートをセットする

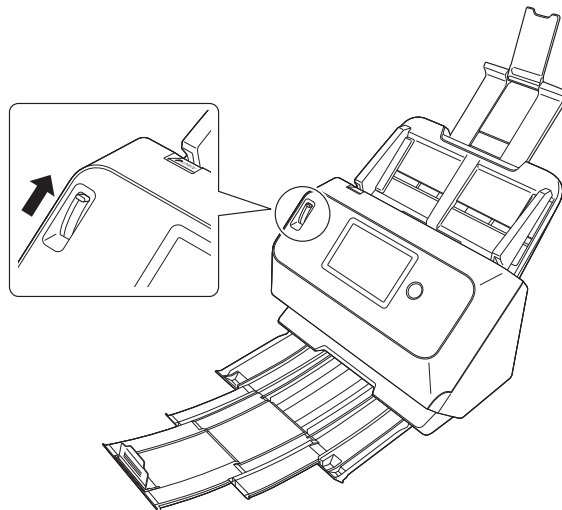
パスポートをスキャンするときは、別売りのキャリアシート (パスポート用) にパスポートを入れてから、スキャナーにセットします。

1 スキャン条件を設定します。

→ Windows

→ Mac

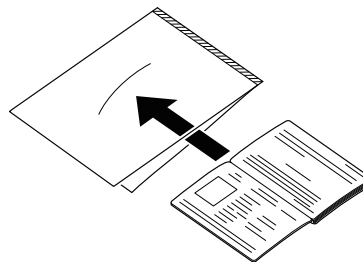
2 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えます。



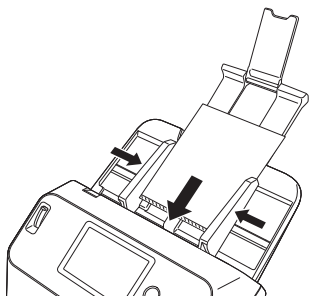
⚠ 注意

パスポートをスキャンするときは必ず給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えてください。

3 パスポートのスキャンする面を開きます。パスポートの厚い側をキャリアシートの縦じろにできるだけ寄せて、キャリアシートにパスポートを入れます。



4 キャリアシートの綴じしろを先端に、スキャンする面を裏にして原稿をセットします。



原稿をセットしたら、原稿ガイドを原稿の両端に合わせてください。

⚠ 注意

- キャリアシートやパスポートが正しくセットされていないと、原稿が詰まったり、きれいにスキャンされない場合があります。
- パスポートをスキャンするときは、スキャナードライバーの設定画面で「[エラー検知]」タブの「[超音波で検知]」チェックボックスをオフにしてください。(→ P.36)

❗ 重要

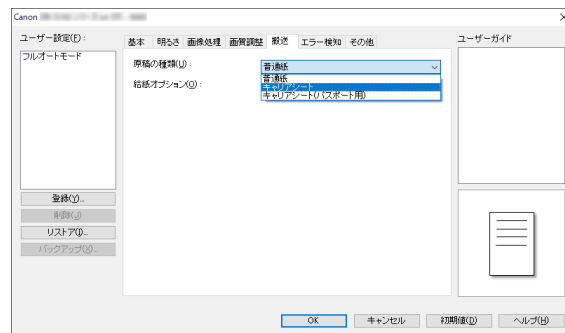
- キャリアシートやパスポートの状態によっては、画像が欠けたり、スキャナーの補正機能が正しく動作しない可能性があります。その場合は、スキャナードライバーの設定画面で「[用紙サイズ]」の設定を大きな用紙サイズ (A4 など) に指定してスキャンしてください。(→ P.67)
- パスポートのサイズがキャリアシートのサイズと大きく異なる場合は、原稿が詰まったり、スキャナーの補正機能が正しく動作しない可能性があります。
- パスポートをスキャンするときは、スキャナードライバーの設定画面で「[解像度]」を 300dpi 以下に設定してください。(→ P.67)
- スキャンが可能な紙厚は、パスポートをキャリアシートに入れた状態で 4mm 以下です。
4mm を超える原稿は、紙詰まりが発生するなど、本機の故障の原因になります。
- パスポート以外の原稿はキャリアシートに入れてスキャンしないでください。本機の故障の原因になります。

- キャリアシートは消耗品です。傷や汚れが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

Windows

1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.63)

2 「[搬送]」タブを開き、「[原稿の種類]」で「キャリアシート (パスポート用)」を選択します。



3 「[OK]」ボタンをクリックして設定画面を閉じます。


Mac

1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.66)

2 [詳細設定] ボタンをクリックします。
スキャナードライバーの詳細設定画面が開きます。

3 [搬送] で [キャリアシート (パスポート用)] を選択します。



4  をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

長尺モードの設定

本機でスキャンすることができる原稿の長さは、標準で 356mm までですが、長尺モードに設定すると最大 3,000mm までの原稿をスキャンすることができます。

重要

長尺モードに設定し、スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] の設定を自動検知にすると、3,000mm までの長さの原稿を検知してスキャンできます。長尺モードに設定したときは、以下の項目に注意してください。

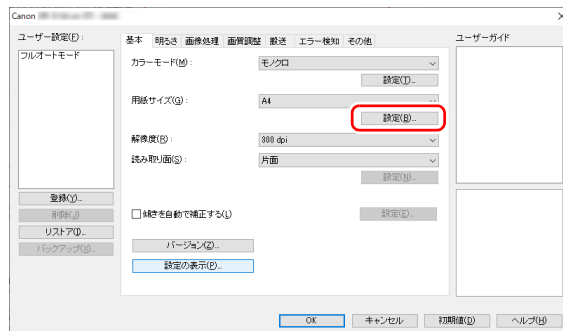
- 長尺原稿をスキャンするときに原稿が傾いてセットされると、本機の給紙部の両端に当たり、原稿が破損することがあります。原稿の傾きには十分注意してください。
- 長尺原稿をスキャンすると、紙ぶまりの検知が遅れて原稿が破損することがあります。紙ぶまりには十分注意してください。

- 長尺原稿をスキャンするときは、必ず給紙切替レバーを非分離給紙に切り替え、1 枚ずつスキャンしてください。
- 長尺モードでサイズの大きな原稿をスキャンすると、スキャンに時間がかかることがあります。また、メモリー不足によってエラーが発生し、スキャンできなくなることがあります。

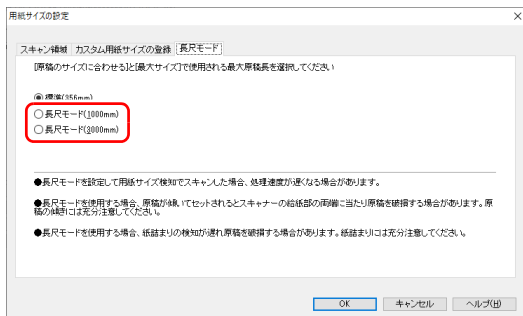
Windows

1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.63)

2 [基本] タブで [用紙サイズ] の [設定] ボタンをクリックします。
[用紙サイズの設定] ダイアログボックスが開きます。



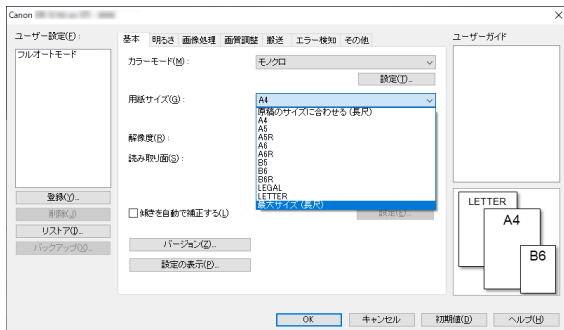
- 3** [長尺モード] タブをクリックし、長尺モードを指定します。
原稿の長さに応じて[長尺モード(1000mm)]または[長尺モード(3000mm)]を選択してください。



- 4** [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。



長尺モードの設定を行うと、[基本] タブの [用紙サイズ] に「(長尺)」が表示されます。



! 重要

[長尺モード] で [長尺モード(3,000mm)] に設定してスキャンする場合、400/600dpi でスキャンしたり、[カラーモード] を [カラー]、[読み取り面] を [両面] にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、解像度を低くしたり、[カラーモード] を [モノクロ] にしたり、[読み取り面] を [片面] にしてスキャンしてください。

Mac

- 1** スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.66)

- 2** ⓘ (情報ボタン) をクリックします。

[スキャナーの情報] ダイアログボックスが開きます。



- 3** [メンテナンス] をクリックします。
[メンテナンス] ダイアログボックスが開きます。

4 長尺モードを指定します。

原稿の長さに応じて「長尺（1000mm）」または「長尺（3000mm）」を選択してください。



5 [長尺モード] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

原稿の重送を検知する

本機には原稿の重送を検知する機能があります。この機能を使用すると、複数枚の原稿が同時に給紙されたことが検知された場合に、スキャン動作が自動的に停止します。また、スキャンし終わった原稿のスキャン画像を保存してスキャンを継続するかどうかを指定できます（重送検知無視機能）。

原稿の重送を検知するときは、あらかじめスキャナードライバーの設定画面を開き、重送検知を有効にする必要があります。また、重送検知無視機能を使用するときは継続モードの設定も必要です。

設定方法

1 スキャン条件を設定します。

→ Windows

→ Mac

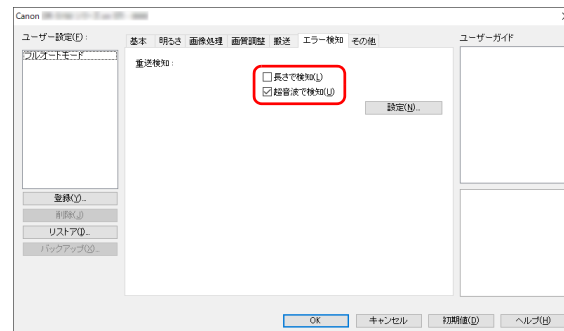
2 「複数枚の原稿を連続してスキャンする」(→ P.25) の手順に従って原稿をセットします。

Windows

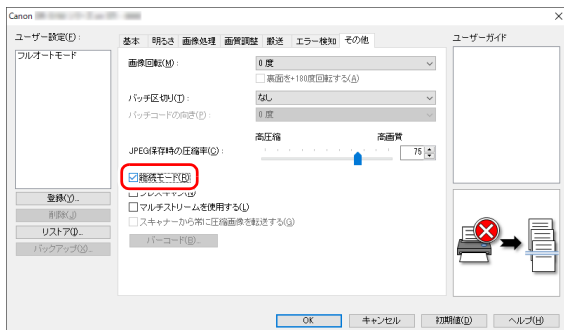
1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.63)

2 「エラー検知」タブを開きます。

3 「長さで検知」または「超音波で検知」チェックボックスのどちらか(または両方)をオンにします。



- 4 重送検知無視機能も使用するときは、[その他] タブを開き、[継続モード] チェックボックスをオンにします。



- 5 [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

Mac

- 1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.66)
- 2 [重送を検知する] チェックボックスをオンにしてから、[超音波で検知]、[長さで検知]、[超音波と長さで検知] のいずれかを選択します。
- 3 重送検知無視機能も使用するときは、[詳細設定] ボタンをクリックします。
スキャナードライバーの詳細設定画面が開きます。
- 4 [継続モードを使用する] チェックボックスをオンにします。

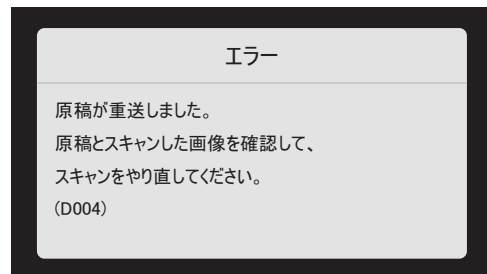


- 5 [閉じる] ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

重送が検知されたときの操作

重送検知無視機能を使用しない場合

スキャン時に原稿の重送が検知された場合、重送された原稿が排紙されたところで原稿の給紙が停止します。このとき、タッチパネルに次のエラーが表示されます。



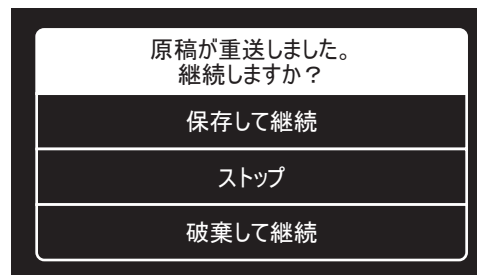
また、重送が検知されたことを知らせるメッセージ画面が表示されます。



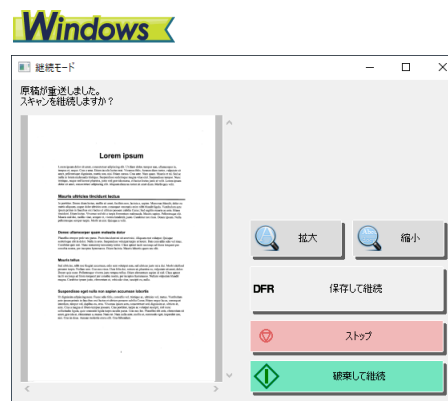
この場合は、アプリケーションでスキャンを中止してから、原稿をスキャンし直してください。

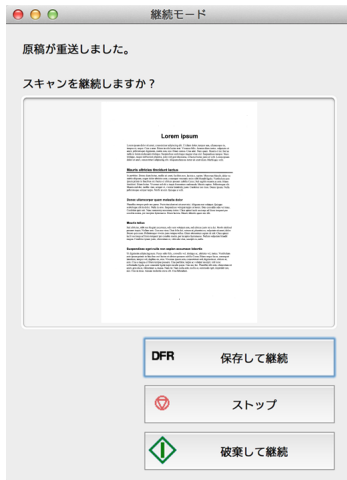
重送検知無視機能を使用する場合

スキャン時に原稿の重送が検知された場合、重送された原稿が排紙されたところで原稿の給紙が停止します。タッチパネルに次のメッセージが表示され、スキャンを継続するかどうかを指定できます。



また、[継続モード] 画面が表示され、スキャンを継続するかどうかを指定できます。





【継続モード】 画面のボタン	説明
【保存して継続】	プレビュー表示されている画像をスキャン画像として保存し、残りの原稿をスキャンします。
【ストップ】	プレビュー表示されている画像を破棄してスキャンを中止します。
【破棄して継続】	プレビュー表示されている画像を破棄してスキャンを継続します。このボタンをクリックする前に、重送した原稿をセットし直してください。

設定メニューの操作

設定メニューについて

設定メニューは、本機の機能の一部をユーザーが任意に変更できる機能です。

設定メニューの操作手順

設定メニューは以下の手順で操作します。

- 1 タッチパネルのホーム画面で  (設定) ボタンをタップします。
設定メニュー画面が表示されます。

	設定	
本体設定	>	
メンテナンス	>	
接続設定	>	
スキャン設定	>	

- 2 変更したい設定メニューをタップします。
メニューの階層と選択できるメニューは次のとおりです。

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層
本体設定	明るさ	—	—	—
	言語	—	—	—
	電源管理	—	—	—
	初期化	—	—	—

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層
メンテナンス	トータルスキャンカウント	—	—	—
	ローラー使用枚数	—	—	—
	現在のスキャンカウント	—	—	—
	システム情報	—	—	—

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層
接続設定	接続切り替え	—	—	—
	ネットワーク情報	—	—	—
	ネットワーク設定	IP アドレス設定	自動設定	—
			手動設定	IP アドレス
				サブネットマスク
				デフォルトゲートウェイ
		Wi-Fi 設定	利用可能なネットワーク	—
			WPS	—
			手動設定	—
			Wireless Connection Tool	—
	COT Admin 接続設定 *	有効化 *	—	—
		IP アドレス *	—	—
		SSL *	—	—
スキャン設定	重送検知	—	—	—

* DR-S150 のみ

3 各項目をタップして設定内容を確認／変更します。



ヒント

▲▼ボタンが表示されている画面では、タップすることで画面をスクロールすることができます。

設定メニューの機能

設定メニューには以下の機能があります。

本体設定

	本体設定	
明るさ	>	
言語	>	
電源管理	>	
初期化	>	

以下のメニューを選択して、本機の動作に関する設定を行います。

明るさ

[-]、[+] ボタン、またはスライドバー上をタップして明るさを調整します。

言語

パネルに表示させる言語（英語／ドイツ語／フランス語／イタリア語／スペイン語／日本語／オランダ語／中国語（簡体）／ロシア語／韓国語／トルコ語）を設定します。

電源管理

自動電源オフ機能を設定します。

[4 時間後に自動的に電源を切る] に設定すると、自動電源オフ機能が有効になり、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に電源がオフになります。

初期化

各設定（言語／接続モード／IP アドレス／Wi-Fi／明るさ／電源管理／本体に登録したジョブ／SNMP）を初期化します。

メンテナンス

	メンテナンス	
トータルスキャンカウント	>	
ローラー使用枚数	>	
現在のスキャンカウント	>	
システム情報	>	

以下のメニューを選択して、本機のメンテナンスを行います。

トータルスキャンカウント

本機に記録されているトータルのスキャン枚数を表示します。

ローラー使用枚数

交換したローラーの搬送枚数のカウントを表示します。
[リセット] をタップするとカウントをリセットします。

現在のスキャンカウント

本機の電源をオンにしてからのスキャン枚数を表示します。
[リセット] をタップすると現在のスキャン枚数をリセットします。

システム情報

本機の以下のシステム情報を表示します。

- OS バージョン
- ファームウェアバージョン
- カーネルバージョン
- スキャナー名
- シリアル番号
- 有線 MAC アドレス（DR-S150 のみ）
- 無線 MAC アドレス
- SSID
- セキュリティキー


「スキャナー名」は Web メニューで設定したものが表示されます。（→ P.89）

接続設定

DR-S150

	接続設定	
	接続切り替え	>
	ネットワーク情報	>
	ネットワーク設定	>
	COT Admin接続設定	>

DR-S130

	接続設定	
	接続切り替え	>
	ネットワーク情報	>
	ネットワーク設定	>

以下のメニューを設定して、本機とコンピューターとの接続方法に関する設定を行います。

接続切り替え

本機とコンピューターとの接続方法を切り替えます。

USB ケーブルで接続する： 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

LAN ケーブルで接続する（DR-S150 のみ）：

本機とコンピューターを LAN ケーブルで接続します。

Wi-Fi で接続する： 本機とコンピューターを Wi-Fi で接続します。
接続モードを設定すると、それぞれの接続方法でのみ接続が可能となります。
本機とコンピューター複数の接続方法を同時に使用することはできません。

ネットワーク情報



本機の以下のネットワーク情報を表示します。

- IP アドレス

- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- SSID

[SSID] は、接続モードが Wi-Fi モードの時のみ表示されます。表示される SSID は現在接続しているアクセスポイントまたは過去に設定したことがあるアクセスポイントの SSID です。一度も設定したことがない場合は空欄で表示されます。

ネットワーク設定

	ネットワーク設定	
	IP アドレス設定	>
	Wi-Fi 設定	>

以下のメニューを選択して、ネットワーク情報を設定します。

IP アドレス設定

自動または手動で IP アドレスの設定を行います。

自動設定： DHCP を有効にして、IP アドレスを自動取得します。


手動設定： 手動で以下のネットワーク情報を設定します。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ

重要

- 入力した IP アドレスが「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.***.***.***」、「169.254.***.***」の場合は、警告画面が表示され値が反映されません。
- 入力したサブネットマスクが左寄りの連続した値でない場合は、警告画面が表示され値が反映されません。
- 入力したデフォルトゲートウェイが「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.***.***.***」、「169.254.***.***」の場合は、警告画面が表示され値が反映されません。

ヒント

- [手動設定] 画面で設定を変更したあとは、[OK] ボタンをタップしてください。 (戻る) ボタンを押すと、設定の変更がキャンセルされます。

- ネットワーク情報は Web メニューでも設定できます。「ネットワーク設定」
(→ P.89)

Wi-Fi 設定

	Wi-Fi 設定	
利用可能なネットワーク	>	
WPS	>	
手動設定	>	
Wireless Connection Tool	>	

以下のメニューを選択して、Wi-Fi 設定を行います。



ヒント

Wi-Fi 設定を行うと、接続モードが自動的に Wi-Fi モードに切り替わります。

利用可能なネットワーク

利用可能なネットワークが一覧で表示されます。

接続したいネットワーク名をタップするとセキュリティキー設定画面が表示されます。セキュリティキー入力後にネットワークへの接続を開始します。接続に成功すると [Wi-Fi 設定] 画面が表示されます。

WPS

パネルの案内に従い [OK] ボタンをタップすると WPS 接続を開始します。接続に成功すると [Wi-Fi 設定] 画面が表示されます。

手動設定

接続したいネットワークの SSID とセキュリティキーを手動で入力します。[OK] ボタンをタップするとアクセスポイントへの接続を開始します。接続に成功すると [Wi-Fi 設定] 画面が表示されます。

Wireless Connection Tool

パネルの案内に従い [OK] ボタンをタップすると Wireless Connection Tool の接続を開始します。接続に成功すると [Wi-Fi 設定] 画面が表示されます。

COT Admin 接続設定 (DR-S150 のみ)

	COT Admin 接続設定
有効化	>
IP アドレス	>
SSL	>
接続テスト	<input type="button" value="OK"/>

以下のメニューを選択して、COT Admin の設定を行います。

有効化

COT Admin の有効／無効を設定します。

トグルスイッチをタップすると有効／無効が切り替わります。



重要

[有効化] を有効にして OK ボタンをタップすると、自動で再起動し、接続モードが COT Admin モードに切り替わります。

IP アドレス

IP アドレスまたはホスト名を設定します。

SSL

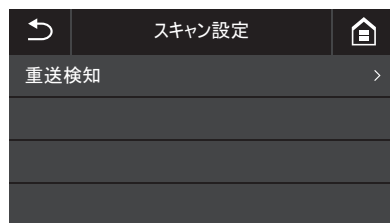
SSL の有効／無効を設定します。

トグルスイッチをタップすると有効／無効が切り替わります。

接続テストボタン

COT Admin との接続をテストします。

スキャン設定



以下のメニューを選択して、スキャンに関する設定を行います。

重送検知

重送検知機能の有効／無効を設定します。

タップすると有効／無効が切り替わります。

重送検知には、原稿の長さの比較と、超音波による原稿の隙間の検知による2つの検知方法があり、スキャナードライバーによって設定することができます。

ここでの設定は、スキャナードライバーで重送検知機能が有効の場合に、次回スキャンする時だけ無効にできる機能です。一度スキャンしたら元に戻ります。

また、スキャナードライバーで無効に設定されている場合に、有効に変えることはできません。

「原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい」(→ P.75)

スキャンする

本機ではコンピューターのアプリケーションからだけでなく、タッチパネルからスキャンしたり、スマートデバイスのアプリからスキャンすることができます。

！ 重要

COT Admin モード時は、使用できません。

基本編：コンピューターを使ってスキャンをする (CaptureOnTouch)

CaptureOnTouch は、画面のパネルを選択するだけの簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャニングアプリケーションです。目的や用途に応じて使い分けることが可能な複数のスキャン方法が用意されています。



3 ステップスキャン

スキャンしたい原稿の種類と、スキャン画像の用途に応じた出力先のパネルを選んでスキャンします。

お気に入りスキャン

よく使う原稿の種類と出力先を組み合わせしてお気に入り追加しておくと、パネルをクリックするだけでスキャンから出力までが完了します。同じ設定を繰り返し使用する場合に便利です。

お気に入りのジョブに割り当てて、スキャナーのタッチパネルからスキャン

登録したお気に入りのジョブ番号を割り当てると、スキャナーのタッチパネルからジョブを呼び出してスキャンできます。

* CaptureOnTouch で使用するスキャナーを選択している必要があります。

応用編：コンピューターを使わずにスキャンして保存する (CaptureOnTouch Job Tool)

CaptureOnTouch Job Tool は、スキャナー本体にスキャン・出力先設定を登録したい場合に使用するアプリケーションです。コンピューターを使用せずにスキャナー単体でスキャンから保存までを完了することができます。

！ 重要

- スキャンデータは共有フォルダー、FTP サーバー、SFTP サーバー、メールサーバーに送信できます。

※FTP、SFTP、メールは Windows のみ対応です。本機能を使用する場合には、スキャナーのファームウェアバージョンが 2.41 以降、CaptureOnTouch Job Tool のバージョンが 3.0 以降である必要があります。

- 共有フォルダーのパス名は以下のように設定してください。

例：
○ NETWORKPC/folder
× NETWORKPC¥folder
× ¥¥NETWORKPC¥folder

パス名の区切りには ¥ ではなく / (スラッシュ) を使います。パス名の先頭には ¥ や / (スラッシュ) は不要です。

- Windows 用の CaptureOnTouch Job Tool を使用するには、.NET Framework 4.5.2 以上がインストールされている必要があります。


基本編：コンピューターを使ってスキャンをする（CaptureOnTouch）

CaptureOnTouch の起動と終了

デフォルトでは、コンピューターを起動したときに CaptureOnTouch がシステムに常駐します。

Windows




タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [CaptureOnTouch を開く] をクリックすると、CaptureOnTouch が起動し、メインウィンドウが表示されます。

ヒント

スタートメニューからも起動できます。[スタート] - [CaptureOnTouch] - [CaptureOnTouch V4 Pro] の順にクリックしてください。

Mac




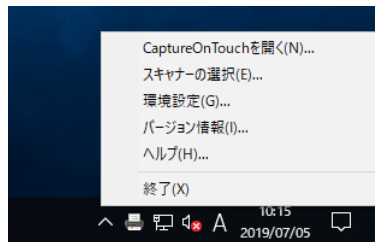
メニューバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [CaptureOnTouch を起動する] をクリックすると、CaptureOnTouch が起動し、メインウィンドウが表示されます。

終了するには

Windows

CaptureOnTouch のメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部の × をクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。


CaptureOnTouch の常駐を終了するには、タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [終了] をクリックします。



システムへの常駐が終了し、タスクバーのアイコンがなくなります。

Mac

CaptureOnTouchのメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部の ● をクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

CaptureOnTouch の常駐を終了するには、メニューバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [終了] をクリックします。



再起動するには

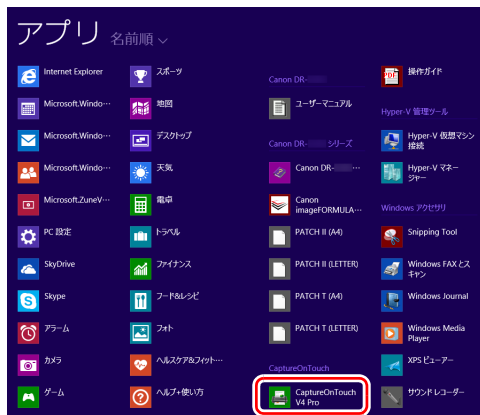
システムへの常駐の終了後に CaptureOnTouch を使用するときは、次のいずれかの手順で再起動してください。CaptureOnTouch が起動してシステムに再度常駐します。

Windows

[スタート] - [CaptureOnTouch] - [CaptureOnTouch V4 Pro] の順にクリックする

ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。



Mac

Finder で [移動] - [アプリケーション] - [CaptureOnTouch] をダブルクリックする

スキャナーの選択

CaptureOnTouch のスキャナー選択方法について説明します。

→ Windows

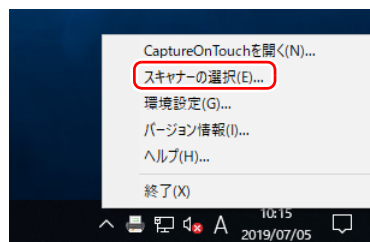
→ Mac

Windows

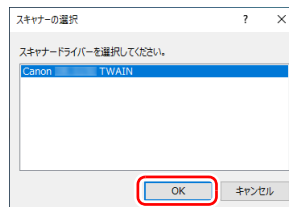
1 タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックします。



2 メニューの [スキャナーの選択] をクリックします。




3 ご利用のスキャナーを選択し、[OK] をクリックします。

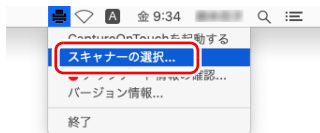


ヒント

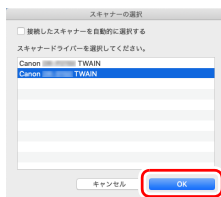
ご利用のスキャナーが表示されないときは、スキャナードライバーを再インストールしてください。

Mac

- 1 メニューバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの「スキャナーの選択」をクリックしてください。



- 2 ご利用のスキャナーを選択し、[OK] をクリックします。



画面の説明

CaptureOnTouch のメイン画面には、3 ステップスキャンとお気に入りの2つの領域があります。

各領域は、メイン画面の右上の   で切り替えることができます。



それぞれの領域には、スキャンの種類や出力先に応じたさまざまなパネルが用意されています。

【新規作成】ボタンをクリックすると、新しいパネルが作成されます。

 ヒント

 をクリックすると、ヘルプが表示されます。 **Windows**

3 ステップスキャン

操作の流れ：

スキャンモードパネルを選択⇒ 出力先パネルを選択 ⇒ 原稿をスキャン

1 原稿をスキャナーにセットします。

2 [1 スキャンモード]から、スキャンしたい原稿に応じたスキャンモードパネルをクリックします。

選択したスキャンモードパネルがオレンジ色になります。



3 [2 出力先]から、スキャン画像の用途に応じた出力先パネルをクリックします。

選択した出力先パネルがオレンジ色になります。



4 [スキャン] ボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

スキャンが終わると、スキャン画像編集画面が表示されます。

ヒント

次回もこのスキャンモードと出力先の組み合わせを使用する場合は、[お気に入りへ追加] ボタンをクリックします。

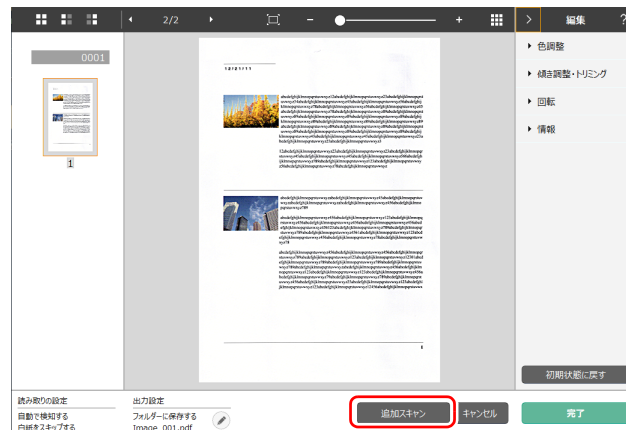
選択したスキャンモードと出力先が、お気に入りパネルとして追加されます。

注意

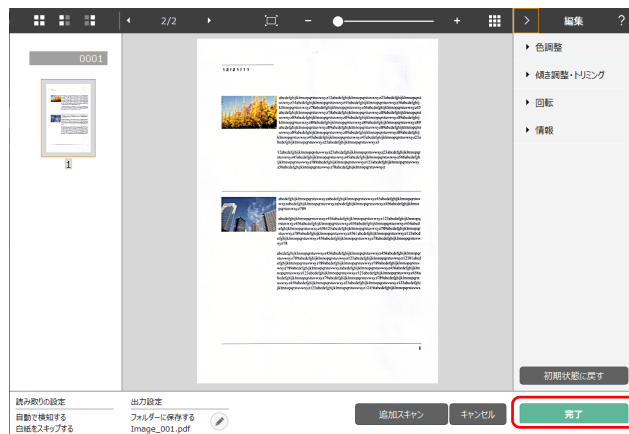
- コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- 複数ページのスキャンを行った場合、ファイルサイズが2GBに達するとファイルの保存ができなくなります。エラーメッセージが表示された場合は、保存の設定を変更してください。

ヒント

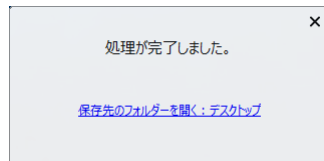
継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから [追加スキャン] ボタンをクリックします。原稿のスキャンが開始されます。



5 スキャン画像を確認したら、[完了] ボタンをクリックします。



ボタンをクリックすると、出力先の設定を編集することができます。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄してメイン画面に戻ります。
出力が終わると、ポップアップ画面が表示されます。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。
これで 3 ステップスキャンは完了です。



ヒント

[保存先のフォルダーを開く] リンクをクリックすると、スキャン画像が保存されたフォルダーを開くことができます。出力先の設定によっては、[保存先のフォルダーを開く] リンクが表示されない場合があります。

お気に入りスキャン

操作の流れ：

お気に入りを登録⇒ 原稿をスキャン⇒ 画像出力
よく使うスキャンモードと出力先を組み合わせるお気に入りに追加すると、お気に入りパネルをクリックするだけでスキャンができます。

ヒント

登録したお気に入りにジョブを割り当てると、スキャナーのスタートボタンから、その設定でのお気に入りスキャンを実行できます。

お気に入りの登録と編集

CaptureOnTouch には、お気に入りを複数登録できます。

1 【お気に入り】の【新規作成】ボタンをクリックするか、[3 ステップスキャン] でスキャンモードと出力先を選択して【お気に入りへ追加】ボタンをクリックします。
お気に入りパネルが作成されます。



ヒント

【新規作成】ボタンの ▾ をクリックして表示されるメニューから、お気に入りの種類を選択して新規作成することもできます。

2 編集ボタンをクリックすると、お気に入りパネル編集ダイアログが表示されます。



3 [スキャンモード] タブをクリックして、スキャンモードの設定を行います。




4 [バッチ区切り] タブをクリックして、バッチ区切りの設定を行います。Windows



5 【出力先】タブをクリックして、出力先の設定を行います。

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
出力設定					
出力方法の選択(B):	フォルダーに保存する 詳細設定(I)...				
ファイル名 / フォルダー名(G):	Image_ 詳細設定(A)...				
ファイル形式(Y):	PDF (*.pdf) 詳細設定(W)...				
保存場所(Y):	ピクチャ 詳細設定(E)...				
全般					
アイコン	 <input type="checkbox"/> アイコンを変更する(C) 設定(E)...				
?	閉じる				

6 【インデックス】タブをクリックして、インデックスファイルの設定を行います。Windows

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
インデックス設定					
ページインデックス:	<input type="checkbox"/> 出力する(E) 出力設定(P)...				
ドキュメントインデックス:	<input type="checkbox"/> 出力する(Q) 出力設定(S)...				
バーコード / OCR設定:	領域の設定(Z)...				
?	閉じる				

7 【オプション】タブをクリックすると、オプション設定が行えます。

The screenshot shows the 'オプション' (Options) tab selected. It contains several settings:

- スキャンモード: パッチ区切り
- 出力先 1: インデックス 1
- オプション: 全般
- スキャン後に編集を行う: ☒ 有効(I)
- 追加スキャンを有効にする: ☒ 有効(Q)
- ジョブの割り当て(D): No. 99
- 出力の順番(U): A list of icons (plus, minus, up, down) and a text box containing 'フォルダーに保存する'.

At the bottom, there is a question mark icon in a box, a '閉じる' (Close) button, and a trash icon.

【スキャン後に編集を行う】

チェックを付けると、スキャン後にスキャン編集画面で画像の編集ができます。チェックを外すと、スキャン編集画面で編集ウィンドウが表示されません。

【追加スキャンを有効にする】

チェックを付けると、スキャン編集画面に「追加スキャン」ボタンが表示され、継続してスキャンを行うことができます。

【ジョブの割り当て】

お気に入りをジョブに割り当てることができます。

ジョブの割り当てを行うと、お気に入りパネルに割り当てたジョブ番号のアイコンが表示されます。



【出力の順番】

出力先の追加と削除、順番の変更ができます。

8 【全般】タブをクリックすると、その他の設定が行えます。

The screenshot shows the '全般' (General) tab selected. It contains the following settings:

- スキャンモード: パッチ区切り
- 出力先 1: インデックス 1
- オプション: 全般
- 名前(N): フォルダーに保存する

At the bottom, there is a question mark icon in a box, a '閉じる' (Close) button, and a trash icon.

【名前】

お気に入りパネルの名前を入力できます。

お気に入りを選択してスキャンする

- 1 原稿をスキャナーにセットします。
「本機の使いかた」(→ P.23)
- 2 お気に入りパネルをクリックします。



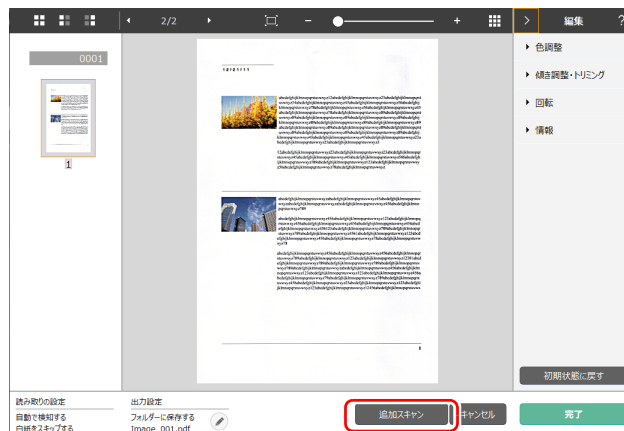
原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。
スキャンが終わると、スキャン画像編集画面が表示されます。

⚠ 注意

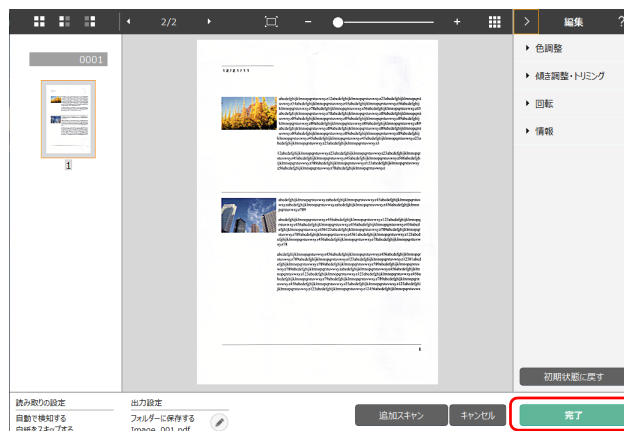
- コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- 複数ページのスキャンを行った場合、ファイルサイズが2GBに達するとファイルの保存ができなくなります。エラーメッセージが表示された場合は、保存の設定を変更してください。

💡 ヒント

継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから「追加スキャン」ボタンをクリックします。原稿のスキャンが開始されます。
お気に入りスキャンの設定で、「追加スキャンを有効にする」のチェックを外した場合は、「追加スキャン」ボタンは表示されません。



- 3 スキャン画像を確認したら、「完了」ボタンをクリックします。



ヒント

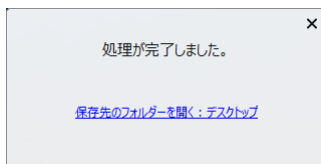
お気に入りスキャンの設定で、「スキャン後に編集を行う」を無効にした場合は、編集ウィンドウは表示されません。

🔗 ボタンをクリックすると、出力先の設定を編集することができます。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄してメイン画面に戻ります。

出力が終わると、ポップアップ画面が表示されます。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。

これでお気に入りスキャンは完了です。



ヒント

[保存先のフォルダーを開く] リンクをクリックすると、スキャン画像が保存されたフォルダーを開くことができます。出力先の設定によっては、[保存先のフォルダーを開く] リンクが表示されない場合があります。


スキャナーのタッチパネルでスキャン

よく使うスキャン方法をお気に入りに登録し、ジョブを割り当てると、本機のタッチパネルからジョブを選んでスキャンを実行できます。

ヒント

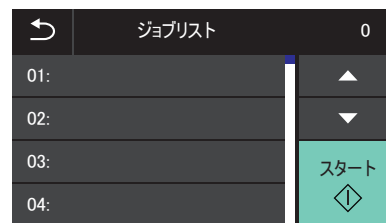
- 環境設定で、「本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない」チェックボックスをオンにしている場合、タッチパネルからスキャンを開始したときに CaptureOnTouch のメイン画面は表示されません。スキャン中のダイアログやエラーメッセージ、完了のポップアップ画面のみ表示されます。
- 環境設定で、「本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない」チェックボックスをオンにしている場合、タッチパネルからスキャンを開始したときに、「スキャン後に編集を行う」と「スキャンを有効にする」は無効になります。


USB 接続時

- 1 タッチパネルのホーム画面で  (CaptureOnTouchでスキャン) をタップします。

CaptureOnTouch に登録されているジョブが表示されます。


- 2 実行したいジョブを選んでタップします。



- 3  (スタート) をタップします。

スキャンが開始されます。

ネットワーク接続時

- 1 タッチパネルのホーム画面で  (CaptureOnTouchでスキャン) をタップします。

PC リスト画面が表示されます。

- 2 接続するコンピューターを選んでタップします。



コンピューターのCaptureOnTouchに登録されているジョブが表示されます。

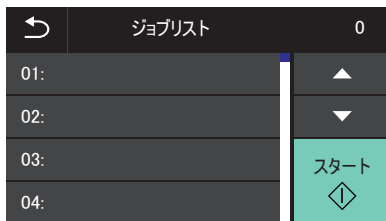
コンピューターと本機は同一ネットワーク上にあり、CaptureOnTouch の [スキャナーの選択] で本機が選択されている必要があります。



ヒント

コンピューターがネットワーク上に1台のみ存在する場合はこの画面は表示されません。手順3に進んでください。

3 実行したいジョブを選んでタップします。



4 (スタート) をタップします。

スキャンが開始されます。

応用編：コンピューターを使わずにスキャンして保存する（CaptureOnTouch Job Tool）


ジョブ編集の準備をする

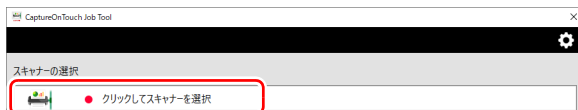
コンピューターに CaptureOnTouch Job Tool をインストールし、本機とコンピューターをネットワークに接続します。

- 1 コンピューターに CaptureOnTouch Job Tool をインストールします。
- 2 本機を有線 LAN（DR-S150 のみ）または Wi-Fi に接続します。
詳細は『セットアップガイド』を参照してください。

スキャナーのタッチパネルでスキャン

CaptureOnTouch Job Tool に登録したジョブをスキャナーにコピーすると、スキャナーのタッチパネルから、CaptureOnTouch Job Tool に登録したジョブのスキャン設定に従ってスキャンできます。
このスキャン方法では、スキャンを実行する際にコンピューターは必要ありません。

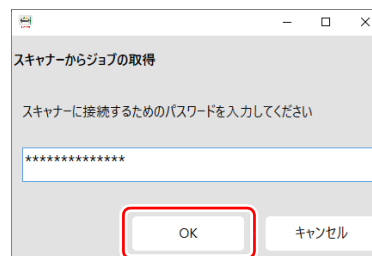
- 1 CaptureOnTouch Job Tool を起動します。
- 2 スキャナーを選択します。
 - ① [] をクリックします。



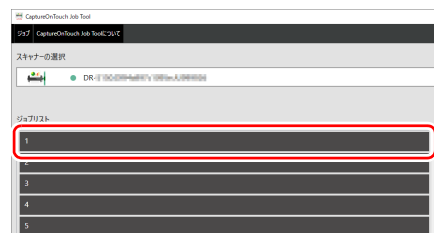
- ② [スキャナーの選択] 画面でスキャナーを選択します。



- 3 管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。
Web メニューと同じパスワードを入力します。詳細は「[本機の Web メニューを表示する](#)」（→ P.87）を参照してください。



- 4 ジョブを登録するジョブ番号をクリックします。



5 [ジョブ名] と [スキャン設定]、[出力設定] で設定を変更し、[登録] をクリックします。

CaptureOnTouch Job Tool とスキャナーに設定が登録されます。

※「外部システム連携」について

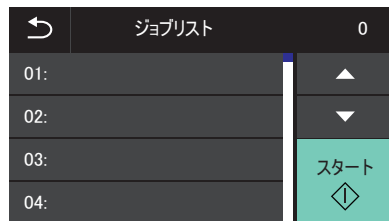
スキャナーがジョブを実行した後、登録したシステムにあらかじめ設定した内容を送信できます。Webhook に対応しているシステムのみ連携可能です。



6 スキャナーのタッチパネルのホーム画面で [送信] (送信) をタップします。

スキャナーに登録されているジョブが表示されます。

7 実行したいジョブを選んでタップします。



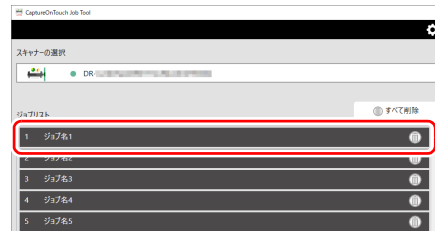
8 [スタート] (スタート) をタップします。

スキャンが開始されます。

ジョブを編集するには

登録したジョブを編集できます。

1 編集するジョブ番号をクリックします。




2 [ジョブ名] と [スキャン設定]、[出力設定] で設定を変更し、[登録] をクリックします。

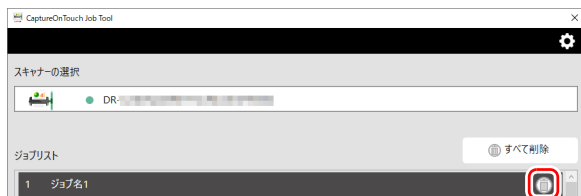
変更内容がジョブに反映されます。



ジョブを削除するには

登録したジョブを削除できます。

- 1 削除するジョブ番号の【】をクリックします。
確認メッセージが表示されます。

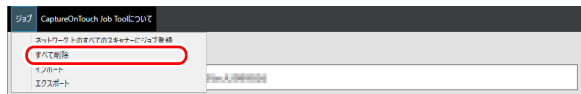


- 2 [OK] をクリックします。
選択したジョブが削除されます。

すべてのジョブを削除するには

登録したすべてのジョブを一度に削除できます。

- 1 [ジョブ] をクリックし、メニューから [すべて削除] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。




- 2 [OK] をクリックします。
すべてのジョブが削除されます。

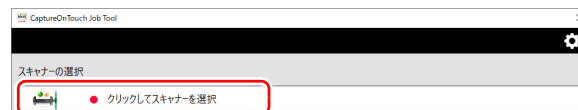
ネットワーク上のスキャナーにジョブをコピーする

CaptureOnTouch Job Tool で編集したジョブを、ネットワーク上の他のスキャナーにコピーできます。

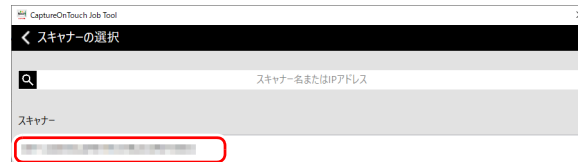
- 1 CaptureOnTouch Job Tool を起動します。

- 2 スキャナーを選択します。

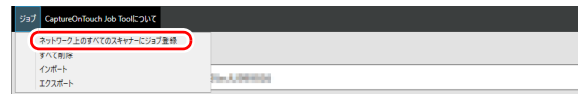
①  をクリックします。



② [スキャナーの選択] 画面でスキャナーを選択します。



- 3 [ジョブ] をクリックし、メニューから [ネットワーク上のすべてのスキャナーにジョブ登録] をクリックします。



4 ジョブをコピーするスキャナーを選択し、[登録] をクリックします。



5 管理者パスワードを入力します。

Web メニューと同じパスワードを入力します。詳細は「[本機の Web メニューを表示する](#)」(→ P.87) を参照してください。

6 [OK] をクリックします。

登録されているすべてのジョブがスキャナーに一括登録されます。



注意

コピーできるジョブの数はスキャナーによって異なります。

スキャナードライバーの設定

ドライバーを最初にロードした際、選択したスキャナーと用紙の初期値選択ダイアログが表示されます。**Windows**

ヒント

ISIS ドライバーを最初にロードした際、選択したスキャナーと用紙の初期値選択ダイアログが表示されます。ISIS ドライバーの設定ダイアログボックスで [初期値] をクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。

ISIS 互換アプリケーションまたは TWAIN 互換アプリケーション (CaptureOnTouch など) で原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーを開いてスキャン条件などを設定します。

ここでは、スキャナードライバーの構成と機能について説明します。

スキャナードライバーの構成と機能

Windows

Mac

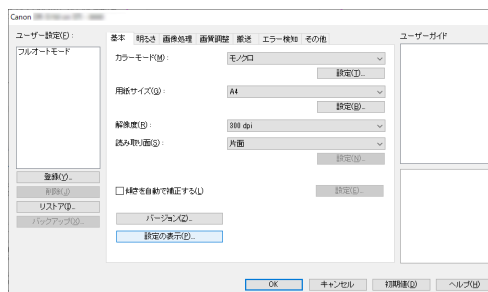
Windows

スキャナードライバーは次のタブで構成されています。

ヒント

設定画面についての詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。ドライバーの [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのタブやダイアログボックスに関するヘルプが表示されます。

【基本】タブ



モードや用紙サイズ、解像度、読み取り面などの基本的なスキャン条件を設定します。

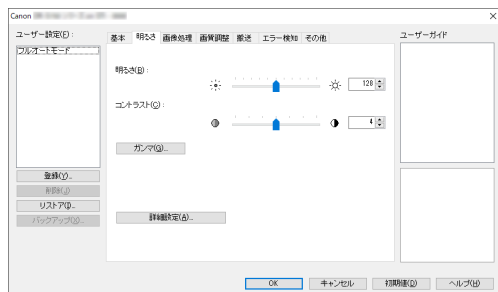
[用紙サイズ] の [設定] ボタンをクリックして、スキャンする領域やカスタム用紙サイズの登録、長尺モードの設定を行うこともできます。

ヒント

ISIS 互換アプリケーションによっては、スキャン条件をアプリケーション独自の画面で設定することがあります。このようなアプリケーションでスキャナードライバーを開いた場合、[基本] タブにはスキャン条件以外のスキャナードライバーが提供する機能に関する設定項目が表示されます。

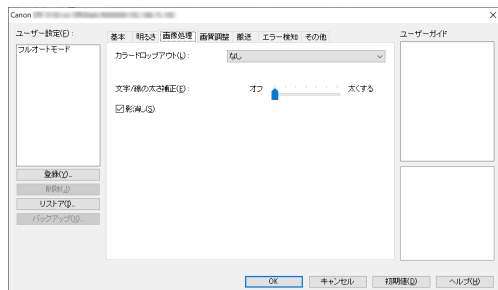


【明るさ】 タブ



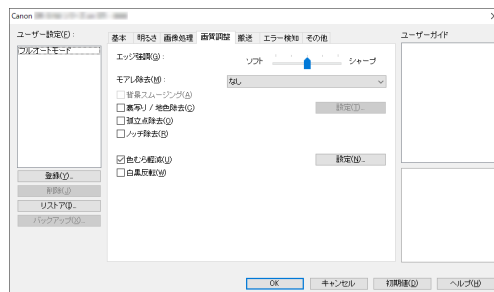
スキャン画像の明るさとコントラストを調整します。
【ガンマ】 をクリックして、スキャン画像のガンマ補正値を設定することもできます。

【画像処理】 タブ



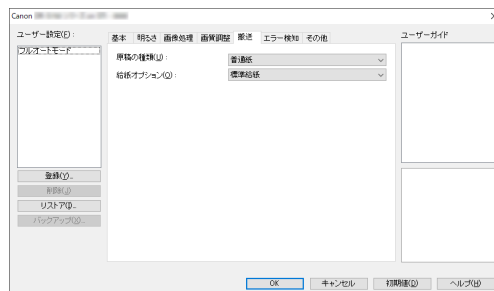
スキャン画像の処理方法を設定します。

【画質調整】 タブ



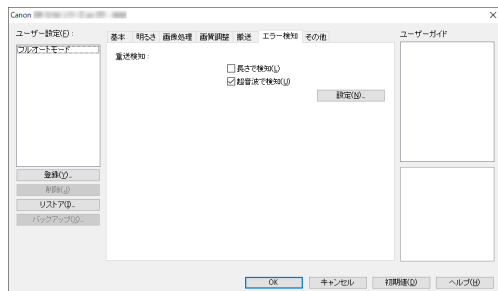
スキャン画像の画質調整方法を設定します。

【搬送】 タブ



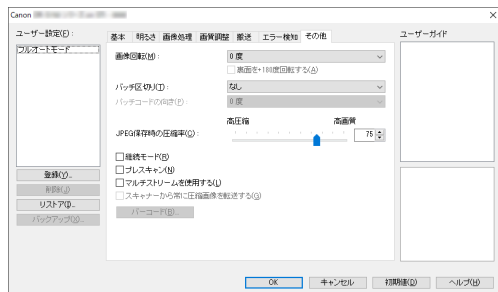
原稿の給紙に関するスキャナーの動作を指定します。

【エラー検知】 タブ



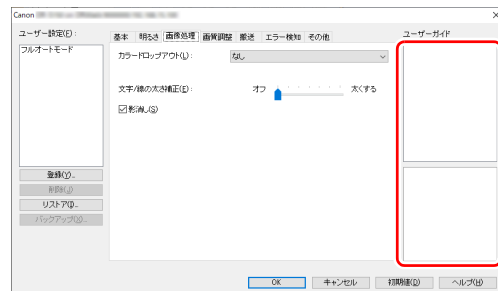
スキャン中にエラーとして検知する項目を設定します。

【その他】 タブ



特殊なスキャン方法や画像処理に関する設定をします。

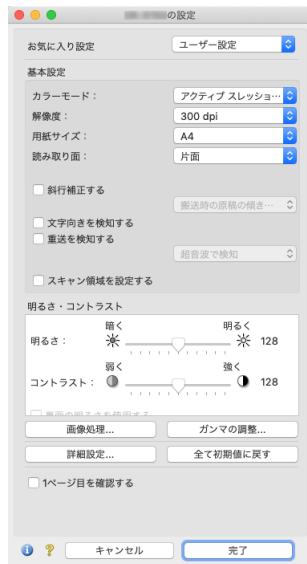
ユーザーガイド



ドライバーが自動で変更した設定をお知らせします。
また、現在の設定を行ったイメージをイラストで表示します。



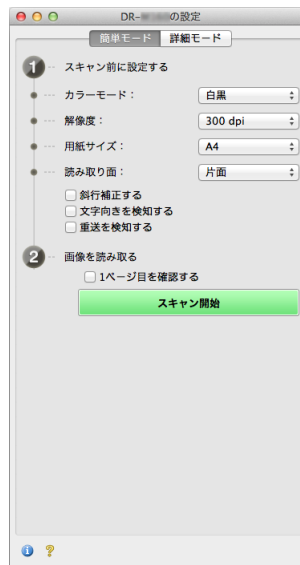
CaptureOnTouch からスキャナードライバーを開いたときは、次のようなスキャナードライバーの設定画面が表示されます。



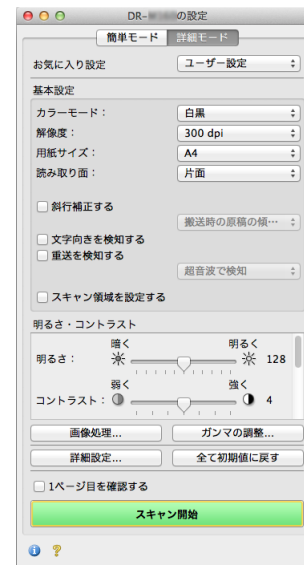
ヒント

一部アプリケーションから設定画面を呼び出した場合、次のように簡単モードと詳細モードを切り替えて設定する設定画面が表示される場合もあります。

簡単モード



詳細モード



基本的なスキャン条件の設定

読み取りの設定を行う際に最低限必要となる基本設定の項目の概略について説明します。

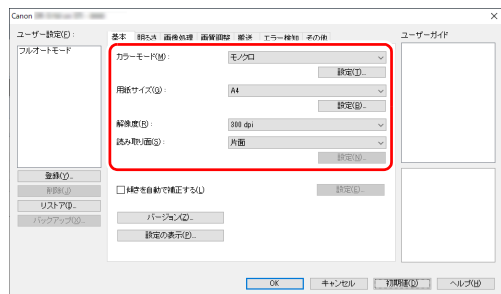
→ Windows

→ Mac

Windows

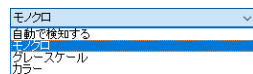
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、基本設定ダイアログボックスで「カラーモード」、「用紙サイズ」、「解像度」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



カラーモード

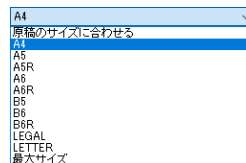
スキャンするモードを選択します。



「自動で検知する」は原稿の内容からカラー、グレーまたは白黒のいずれかを検知します。「設定」をクリックすると、検知方法に関する詳細な設定ができます。(→ P.74)

用紙サイズ

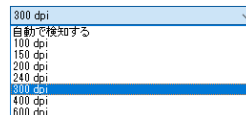
スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。



「[原稿のサイズに合わせる]」を選択すると、原稿の端を検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

解像度

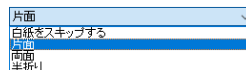
スキャンする解像度を選択します。



- 解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなり、スキャン速度も遅くなります。
- 「自動で検知する」を選択すると、原稿に印刷されている内容から自動的に解像度が検知されます。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。

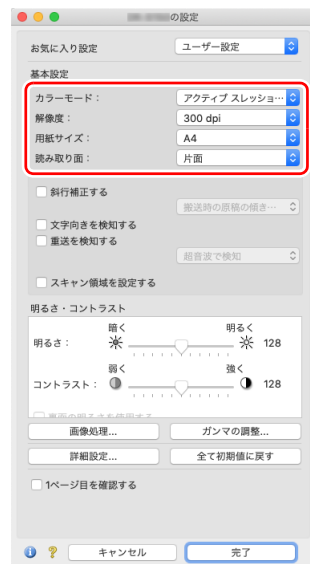


読み取り面を「白紙をスキップする」にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。



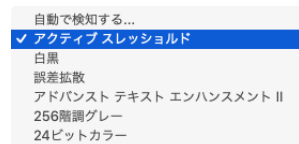
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーの設定画面で「カラーモード」、「解像度」、「用紙サイズ」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



カラーモード

スキャンするモードを選択します。



- [アクティブスレッシュホールド] は、薄い文字の原稿や汚れのある原稿など、様々な種類の原稿を一度にバッチ処理するのに適しています。例えば複写伝票のような原稿も一度にバッチ処理することができます。画像全体の文字や背景をもとに明るさを自動で調整することで、薄い文字を再現し、背景の汚れを除去できます。
- [アドバンスドテキストエンハンスメントII] は、文字の周りの地色や背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。
- [自動で検知する] は原稿の内容からカラー、グレーまたは白黒のいずれかを検知します。この項目を選択したときは、検知方法に関する詳細な設定ができます。詳細はヘルプを参照してください。

解像度

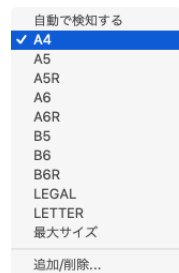
スキャンする解像度を選択します。



- 解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなり、スキャン速度も遅くなります。
- [自動で検知する] を選択すると、原稿に印刷されている内容から自動的に解像度が検知されます。

用紙サイズ

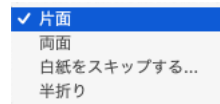
スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。



[自動で検知する] を選択すると、原稿のエッジを検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



読み取り面を「白紙をスキップする」にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

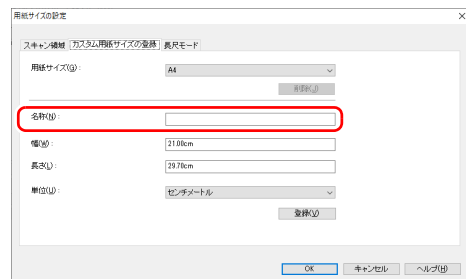
用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り

Windows

用紙サイズの登録されていない非定形サイズの用紙を、カスタム用紙サイズとして名前を付けて登録することができます。

[基本] タブで [用紙サイズ] の [設定] ボタンをクリックし、[用紙サイズの設定] ダイアログボックスを表示します。

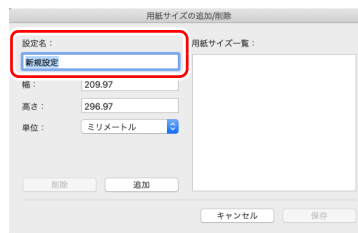
[カスタム用紙サイズの登録] タブで、非定形サイズの用紙を登録してください。



Mac

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。

非定形サイズの原稿をスキャンするときは、[用紙サイズ] で [追加 / 削除] を選択して [用紙サイズの追加 / 削除] ダイアログボックスを表示させます。[用紙サイズ] に登録されていない用紙サイズを、名前を付けて登録できます。



スキャン領域の指定

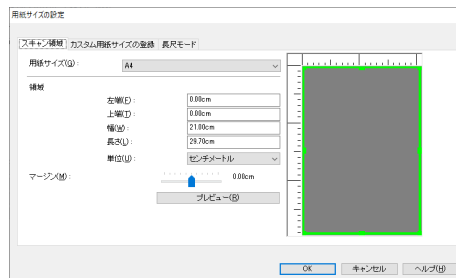
原稿の一部の領域を指定するときは以下の設定を行います。

領域指定

Windows

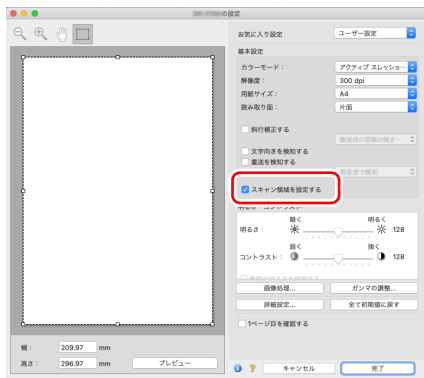
原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、[基本] タブで [用紙サイズ] の [設定] ボタンをクリックし、[用紙サイズの設定] ダイアログボックスを表示します。

[スキャン領域] タブで領域を指定してください。



Mac

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、[スキャン領域を設定する] をオンにして、領域を指定します。



また、[1 ページ目を確認する] をオンにしてスキャンすると、原稿が 1 枚だけスキャンされ、そのスキャン画像がプレビューウィンドウに表示されます。

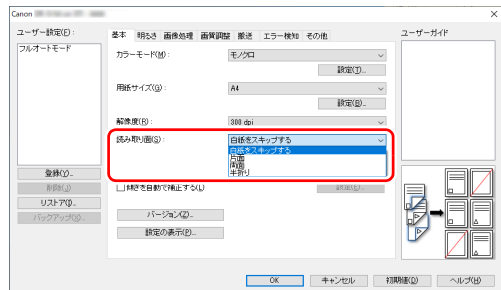
目的に合わせたスキャナー設定

スキャンする目的に合わせてスキャン条件を設定します。

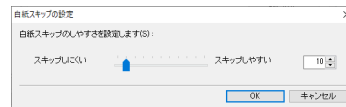
両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい

Windows

[基本] タブにある読み取り面の設定を「白紙をスキップする」にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。

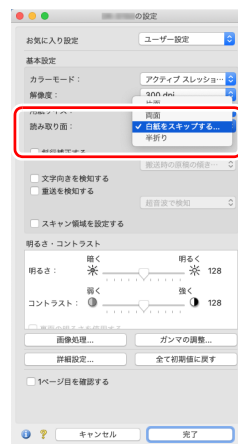


白紙スキップを選択すると「設定」ボタンが有効になり、白紙と判断するレベルを調整できます。



Mac

読み取り面の設定を「白紙をスキップする」にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。



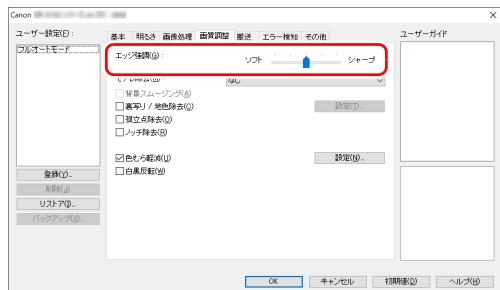
「白紙をスキップする」を選択すると、白紙と判断するレベルが調整できます。



画像の輪郭をはっきりさせたい



【画質調整】タブでエッジ強調の設定を調整します。



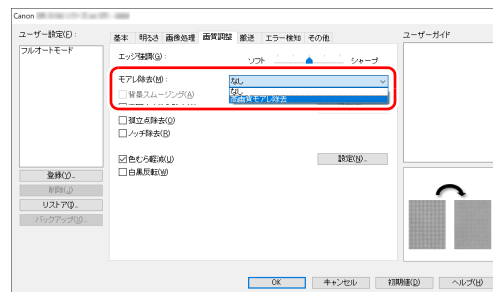
【画像処理】をクリックし、表示されるダイアログボックスでエッジ強調の設定を調整します。



雑誌などのカラー写真を低解像度でスキャンしたときにできるモアレを低減したい



【画質調整】タブの【モアレ除去】を設定すると、カラー写真を低解像度でスキャンしたときに発生するモアレを抑えることができます。



【画像処理】をクリックし、表示されるダイアログボックスでモアレ除去の設定を調整します。





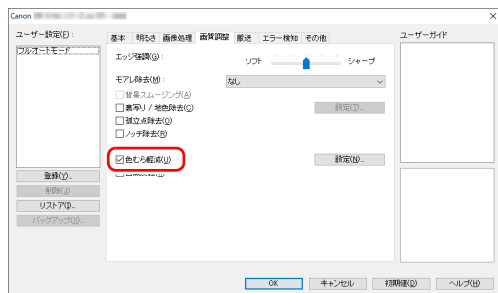
ヒント

モアレ除去は解像度が 300dpi 以下のときに有効になり、[高画質モアレ除去] は解像度が 240dpi 以下のときに表示されます。

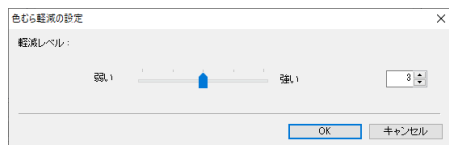
色むらを軽減したい



[画質調整] タブで [色むら軽減] のチェックボックスをオンにします。



[設定] ボタンが有効になり、色むらの軽減レベルを調整できます。



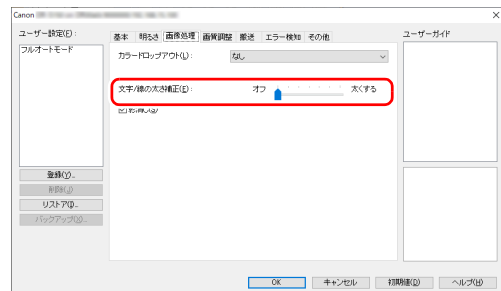
[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスの [色むら軽減] で [ON] を選択します。色むらの軽減レベルを調整できます。



スキャン画像の線や文字を太く（または細く）したい



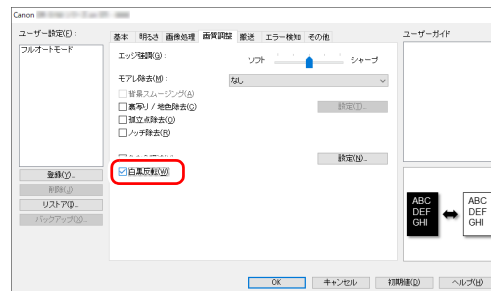
「画像処理」タブの「文字 / 線の太さ補正」にあるスライダーをドラッグして、スキャン画像の線や文字を太くしたり、細くすることができます。



スキャンした画像を白黒反転させたい



「画質調整」タブの「白黒反転」をチェックします。スキャンした画像を白黒反転して出力します。



「画像処理」をクリックし、表示されるダイアログボックスで文字 / 線の太さ補正の設定を調整します。



「画像処理」をクリックし、表示されるダイアログボックスの「白黒反転」で「ON」を選択します。



背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい

Windows

【基本】タブにあるカラーモードで【モノクロ】を選択し、【設定】ボタンをクリックします。

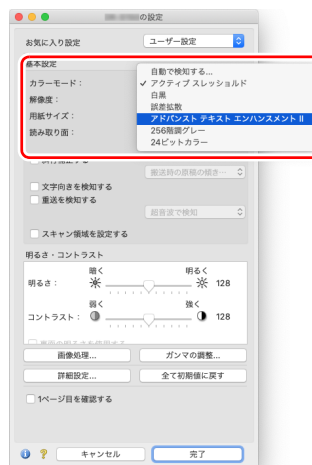
文字の背景を除去または処理するなどして、文字を強調して読みやすくします。以下の機能から選択できます。



- 「アクティブ スレッシュホールド」は白黒で連続スキャンする際に、ページ毎に明るさなどを自動調整して最適な画像を生成します。そのため、原稿に合わせて設定を変更する手間がなく、さまざまな原稿を一度に読み取ることができます。文字の薄い原稿や、複写原稿のようにシワや汚れが生じた原稿でも、きれいに再現します。
- 「アドバンスドテキストエンハンスメント」は、背景色が薄い原稿や、背景が（模様があるなど）均一でない原稿に適しています。背景が均一の場合は文字の周りの背景が除去され、背景が均一でない場合は文字が読みやすくなるように背景を処理します。
- 「アドバンスドテキストエンハンスメント II」は、背景色が均一で、文字や背景が薄い原稿の読み取りに適しています。背景が模様など均一でない原稿は、背景が完全に除去されず文字が読みにくくなる場合があります。必要に応じて「明るさ」タブでコントラストを調整することで、スキャン画像の文字を読みやすくなります。

Mac

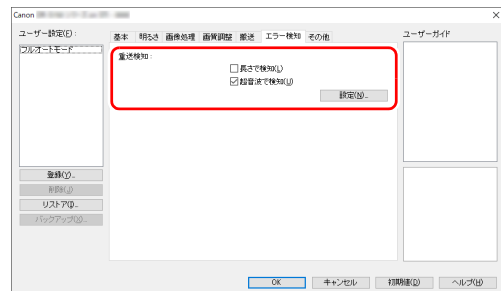
【カラーモード】の設定で【アクティブ スレッシュホールド】または【アドバンスドテキストエンハンスメント II】を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。



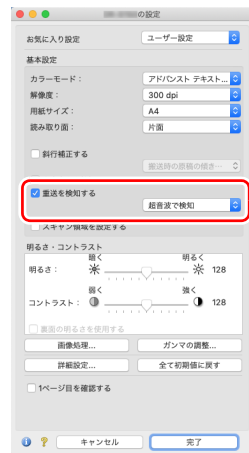
原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい



[エラー検知] タブの [重送検知] のチェックボックスをオンにします。[超音波で検知] と [長さで検知] のどちらか、または両方を有効にできます。



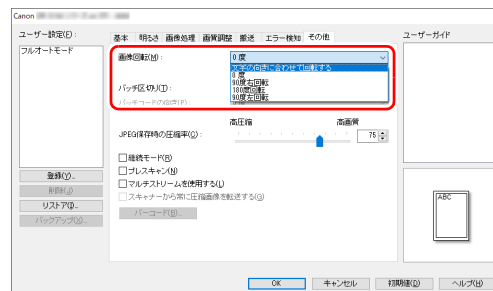
[重送を検知する] チェックボックスをオンにします。



文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい

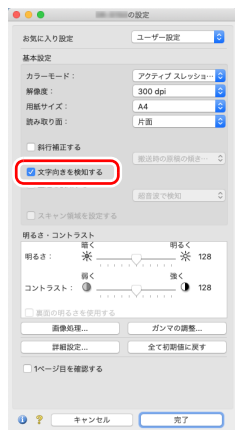


[その他] タブにある [画像回転] で [文字の向きに合わせて回転する] を選択します。原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が 90 度単位で回転されます。



Mac

【文字向きを検知する】をチェックします。原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が 90 度単位で回転されます。



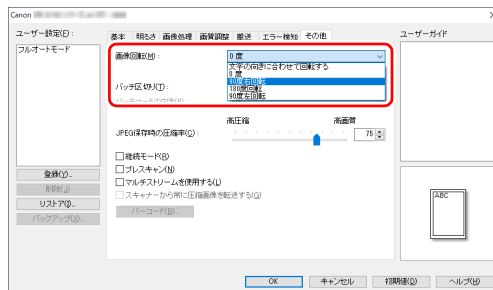
ヒント

【文字向きを検知する】をチェックしているときは、【画像回転】は使用できません。

横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい

Windows

【その他】タブにある【画像回転】で回転させる角度を指定します。



Mac

【画像処理】をクリックし、表示されるダイアログボックスの【画像回転】で回転させる角度を指定します。

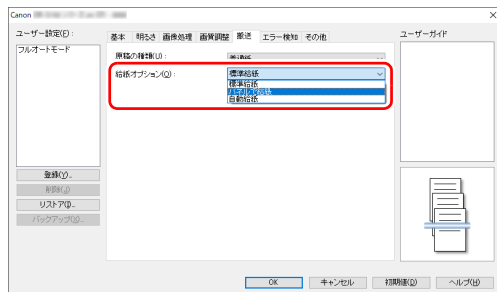


パッチ区切りでスキャンしたい

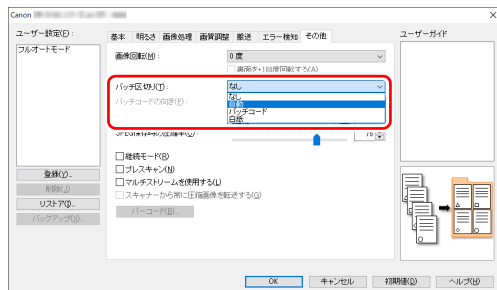
Windows

原稿を複数の束に分けてスキャンするときに、続きの原稿をセットしてスキャンするタイミングでパッチを区切ることができます。(パッチ区切りに対応したアプリケーションソフトでのみ有効です。)この場合はスキャナードライバーを次のように設定します。

- [搬送] タブの [給紙オプション] を [パネルで給紙] または [自動給紙] に設定します。



- [その他] タブの [パッチ区切り] を [自動] に設定します。



[パッチ区切り] を [自動] に設定したときは、続きの原稿をセットしてスキャンを継続したときにパッチが区切られます。

白紙やパッチコードシートを検知してパッチ区切りを行うこともできます。

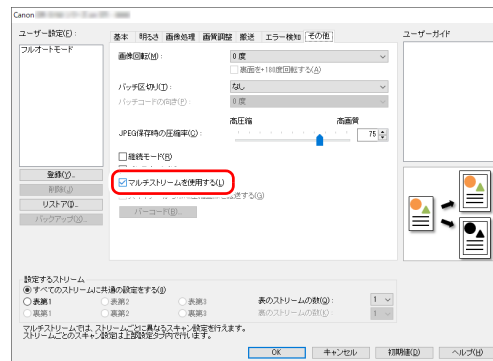
[「より高度なスキャン方法 \(パッチ区切り\)」](#) (→ P.84)

マルチストリーム設定でスキャンしたい

Windows

1 回のスキャン操作で複数の異なるスキャン画像を出力したり、表面と裏面ごとにスキャン条件が異なるスキャン画像を出力できます (マルチストリーム設定)。

マルチストリーム設定を使用してスキャンするときは、[その他] タブの [マルチストリームを使用する] チェックボックスをオンにし、マルチストリームに関する設定項目を表示させ、次の順に設定します。



- ① 原稿の表面と裏面ごとに異なるスキャン条件を指定するときは、あらかじめ [基本] タブの [読み取り面] で [両面] を選択します。
- ② [表のストリームの数] で、適用するスキャン条件の数を指定します。3 つまで指定できます。
- ③ [表第 1] を選択し、他のタブを開いてスキャン条件を設定します。[表のストリームの数] で指定した数に応じて、残りの [表第 2]、[表第 3] も同様に設定します。
- ④ 裏のスキャン条件を指定するときは、手順 ②～③と同様に設定します。この場合、[裏のストリームの数] を指定してから、[裏第 1] ～ [裏第 3] のそれぞれに対してスキャン条件を設定します。



ヒント

マルチストリーム設定での設定が可能なスキャン条件は次のとおりです。

タブ	設定が可能な項目
〔基本〕 タブ	〔カラーモード〕 および 〔解像度〕（どちらも〔自動で検知する〕を除く）
〔明るさ〕 タブ	〔明るさ〕 および 〔コントラスト〕
〔画像処理〕 タブ	〔カラードロップアウト〕 および 〔文字 / 線の太さ補正〕
〔画質調整〕 タブ	〔エッジ強調〕
〔搬送〕 タブ	なし（すべて無効）
〔エラー検知〕 タブ	なし（すべて無効）
〔その他〕 タブ	なし（〔マルチストリームを使用する〕のみ有効）

バーコードをスキャンしたい

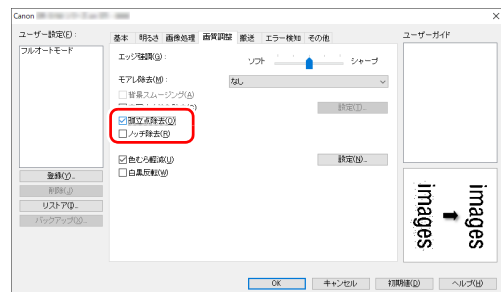


〔その他〕 タブの 〔バーコード〕 ボタンをクリックして、バーコードのスキャン条件を設定できます。
設定の詳細は、ヘルプを参照してください。

原稿上の孤立点や輪郭からはみ出た部分を取り除きたい

Windows

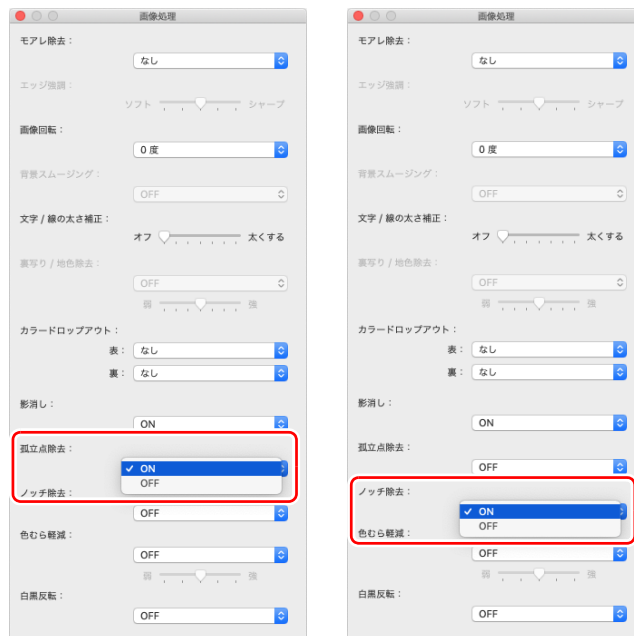
原稿上にある孤立点や、輪郭からはみ出た部分をスキャン画像から除去できます。



- [孤立点除去] チェックボックスをオンにすると、白地の中で孤立した 3×3 ドットの黒い点（または黒地の中で孤立した 3×3 ドットの白い点）を自動的に除去します。
- [ノッチ除去] チェックボックスをオンにすると、輪郭から飛び出している部分（ノッチ）がスキャン画像から除去されます。

Mac

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスの [孤立点除去] や [ノッチ除去] で [ON] を選択します。

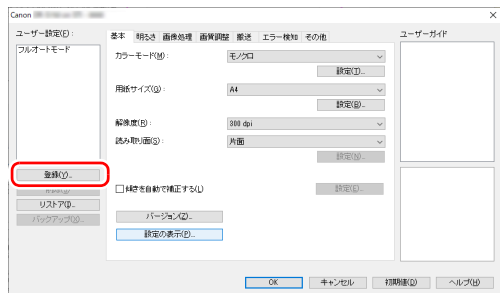


- [孤立点除去] を [ON] にすると、白地の中で孤立した 3 × 3 ドットの黒い点（または黒地の中で孤立した 3 × 3 ドットの白い点）を自動的に除去します。
- [ノッチ除去] を [ON] にすると、輪郭から飛び出している部分（ノッチ）がスキャン画像から除去されます。

スキャナードライバーの設定を保存したい



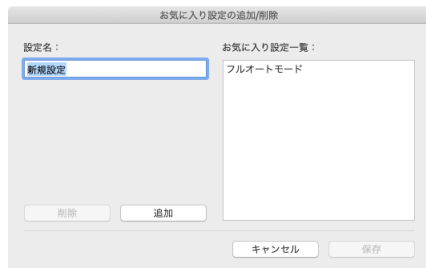
設定が終わったときに、[ユーザー設定] の [登録] ボタンをクリックして設定内容を保存できます。



保存した設定内容は、一覧に登録されます。[削除] ボタンで一覧から削除したり、[リストア] または [バックアップ] ボタンで設定内容をファイルに保存したり読み込むことができます。



設定が終わったときに、[お気に入り設定] の [追加 / 削除] を選択して設定内容を保存できます。



[追加] ボタンをクリックすると、現在の設定内容が [お気に入り設定一覧] に登録されます。[削除] ボタンで一覧から削除できます。

カラーモードの設定による機能制限



Windows

【基本】タブの【カラーモード】の設定に応じて、次のようにドライバーの各タブの設定項目の一部が無効になります。

【明るさ】タブ

設定値	コントラスト
自動で検知する	○
アクティブ スレッシュホルド	○
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	×
アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ	○
グレースケール	○
カラー	○

(○：設定可 ×：設定不可)

【画像処理】タブ

設定値	カラー ドロップアウト	文字 / 線の 太さ補正
自動で検知する	×	○ ³⁾
アクティブ スレッシュホルド	○	○
白黒	○	○
誤差拡散	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ	○	○
グレースケール	○	×
カラー	×	×

(○：設定可 ×：設定不可)

【その他】タブ

設定値	プレスキャン
自動で検知する	×
アクティブ スレッシュホルド	○
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	○
アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ	○
グレースケール	○
カラー	○

(○：設定可 ×：設定不可)

【画質調整】タブ

設定値	エッジ強調	背景 スムージング	文字 / 線の太さ補正	裏書き / 地色除去	カラードロップ アウト	孤立点除去	ノッチ除去
自動で検知する	○	○	○ ³⁾	○ ¹⁾	×	○ ²⁾	○ ³⁾
アクティブ スレッシュホールド	×	×	○	×	○	○	○
白黒	○	×	○	○	○	○	○
誤差拡散	○	×	○	○	○	×	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	○	×	○	×	○	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント II	×	×	○	×	○	○	○
グレースケール	○	○	×	○	○	×	×
カラー	○	○	×	○	×	×	×

(○：設定可 ×：設定不可)

1) [カラー白黒検知設定] ダイアログボックスの設定が下記の条件のすべてに合致する場合は設定不可

- ・ [検知モード] が [カラーまたはグレー] 以外
- ・ [白黒と判定された場合] タブの [白黒の場合のモード] が [アドバンスドテキストエンハンスメント]、[アドバンスドテキストエンハンスメント II] または [アクティブ スレッシュホールド]

2) 以下の二つのいずれかに合致する場合は設定不可

- ・ [カラー白黒検知設定] ダイアログボックスの [検知モード] が [カラーまたはグレー] の場合
- ・ [白黒と判定された場合] タブの [白黒の場合のモード] が [誤差拡散] の場合

3) [カラー白黒検知設定] ダイアログボックスの [検知モード] が [カラーまたはグレー] の場合は設定不可

Mac

スキャナードライバーの設定画面の [カラーモード] の設定に応じて、次のようにドライバーの各設定項目の一部が無効になります。

簡単モード

設定値	1 ページ目を確認する
自動で検知する	×
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンスドテキストエンハンスメント II	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可)

詳細モード

設定値	裏面の明るさを使用する	裏面のコントラストを使用する	1 ページ目を確認する
自動で検知する	○	○	×
白黒	○	○	○
誤差拡散	○	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ	×	×	○
256 階調グレー	○	○	○
24 ビットカラー	○	○	○

(○：設定可 ×：設定不可)

詳細モード（画像処理ダイアログ）

設定値	エッジ強調	背景 スムージング	文字 / 線の太 さ補正	裏書き / 地色除去	カラードロップ アウト	孤立点除去	ノッチ除去
自動で検知する	○	○ ¹⁾	×	×	×	×	×
アクティブ スレッシュホルド	×	×	○	×	○	○	○
白黒	○	×	○	○	○	○	○
誤差拡散	○	×	○	○	○	×	○
アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ	×	×	○	×	○	○	○
256 階調グレー	○	○	×	○	○	×	×
24 ビットカラー	○	○	×	○	○	×	×

(○：設定可 ×：設定不可)

1) [自動で検知する] の設定が下記条件に合致する場合は設定不可

- [検知モード] が [カラーまたはグレー] 以外

原稿の種類の設定による機能制限

[搬送] タブの [原稿の種類] の設定に応じて、次のようにドライバーの各タブの設定項目の一部が無効になります。

原稿の種類	超音波重送検知
普通紙	○
キャリアシート	×
キャリアシート（パスポート用）	×

(○：設定可 ×：設定不可)

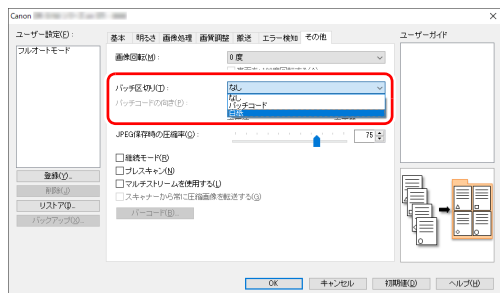
より高度なスキャン方法（パッチ区切り）



白紙を用いたパッチ区切り

白紙の原稿をスキャンした場合に、その原稿をパッチ区切り用紙と判定してパッチ区切り（自動ファイル区切り）を行います。

ドライバーの「その他」タブにあるパッチ区切りの設定を「白紙」にします。



重要

- [読み取り面] で [片面] が選択されているときは、読み取った面が白紙だった場合にパッチ区切り用紙と判定します。[読み取り面] で [両面]、[白紙をスキップする]、[半折り] が選択されているときは、原稿の表裏両面とも白紙だった場合にパッチ区切り用紙と判定します。
- パッチ区切り用紙と判定された原稿の画像は保存されません。

パッチコードシートを用いたパッチ区切り

DR-S150/DR-S130 は、パッチコードによるパッチ区切り（自動ファイル区切り）機能に対応しています。

同梱のパッチコードシートを原稿に挟んでスキャンすることにより、パッチコードシートが含まれる原稿（またはパッチコードシートの次の原稿）の画像でファイルを自動的に区切ることができます。

ヒント

パッチコードは、PDF 形式で本製品に同梱されています。利用するには、PDF 形式のファイルの閲覧に対応したアプリケーションが必要です。

次のパッチコードシートが、pdf 形式のファイルとして、スキャナードライバーと一緒にインストールされます。

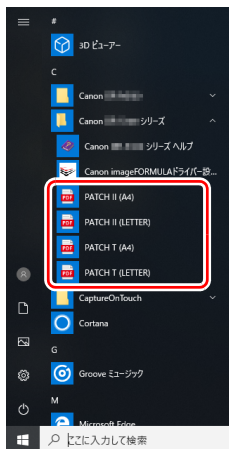
パッチコードの種類	パターン	説明
PATCH T (FILE A)		このパッチコードが印刷されたページの次のページからファイルを区切ります。パッチコードが印刷されたページをスキャン画像に含めるかどうかは、アプリケーションで設定します。
PATCH II (FILE B)		このパッチコードが印刷されたページからファイルを区切ります。パッチコードが印刷されたページは常にスキャン画像に含まれます。

パッチコードを利用してスキャンするときは、次のように操作します。

1 パッチコードシートをプリンターで印刷します。

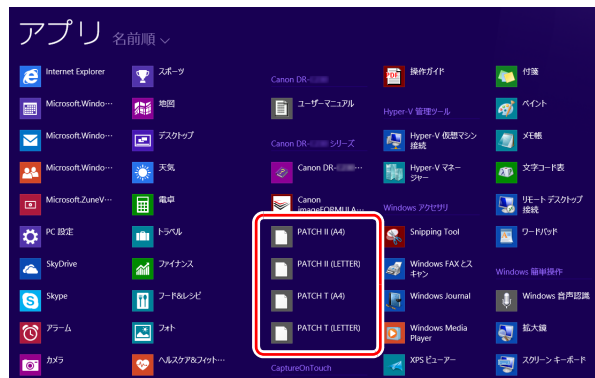
スタートボタンをクリックし、[Canon DR-S100 シリーズ] をクリックすると、メニューからパッチコードを選択できます。

パッチコードは A4 サイズとレター (LTR) サイズが用意されています。スキャンする原稿と同じサイズのパッチコードを選択してアプリケーションで開き、プリンターで印刷してください。



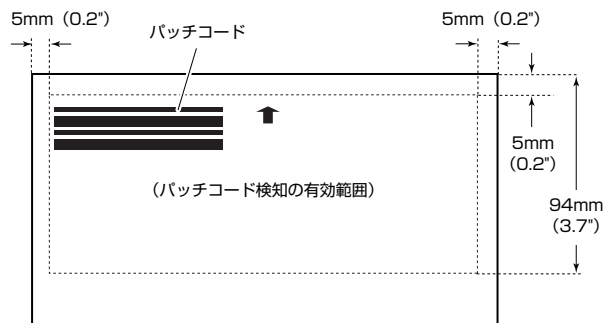
ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。



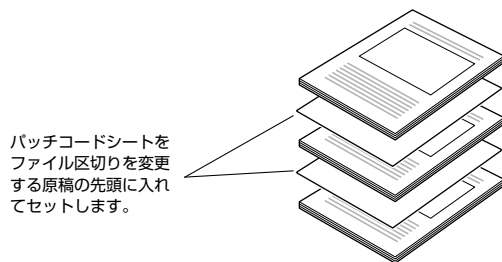
重要

- パッチコードは等倍で印刷する必要があります。拡大または縮小して印刷すると、正常に認識できないことがあります。
- 用意されているパッチコードをコピーして、別のサイズのパッチコードを作成するときは、次の図の有効範囲にパッチコードが入るようにしてください。また、コピー元のパッチコードが同じサイズと濃度でコピーされるようにしてください。



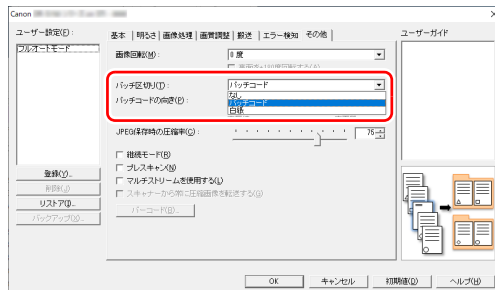
- パッチコードシートは汚さないようにしてください。特に、パッチコード検知の有効範囲を汚さないように注意してください。また、折り曲げたり、しわにならないようにしてください。

2 パッチコードシートを、ファイルを区切るページの前に挿入してから、スキャナーにセットします。



3 アプリケーションで、パッチ区切りの種類としてパッチコードを指定します。

スキャナードライバーの設定画面を開き、[その他] タブの [パッチ区切り] で [パッチコード] を選択します。



Web メニューについて

Web メニューは、本機の情報表示やネットワーク接続時のネットワーク設定、各種 Web サービスの設定を行うためのツールです。Web ブラウザーを利用して本機の詳細な設定および設定内容の変更を行うことができます。

重要

- 推奨する Web ブラウザーは下記のとおりです。

Windows	Microsoft Internet Explorer 11 以降
	Microsoft Edge 42 以降
	Firefox 61.0.1 以降
	Chrome 75.0 以降
macOS	Safari 4.0.0 以降

- 以下の説明では、Windows 10 環境で Internet Explorer 11 を使用した場合の画面を例にしています。ご利用になる環境や Web ブラウザーによって多少表示が異なる場合があります。

本機の Web メニューを表示する

- 接続されているスキャナーの一覧を表示します。

→ Windows

→ Mac

- 一覧からスキャナーを選択してから、[プロパティ] をクリックします。

本機の Web ページが開き、[ログイン] 画面が表示されます。



- [言語] リストボックスで、Web ページの表示言語を指定します。

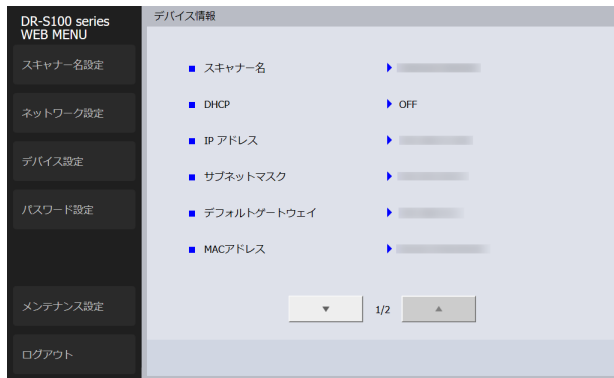
- 管理者パスワードを [パスワード] に入力します。

本機の工場出荷時の設定では管理者パスワードが設定されていないので、初めて Web メニューを開くときは何も入力せず次の手順に進みます。Web メニューで管理者パスワードを変更したときは、そのパスワードを入力します。

重要

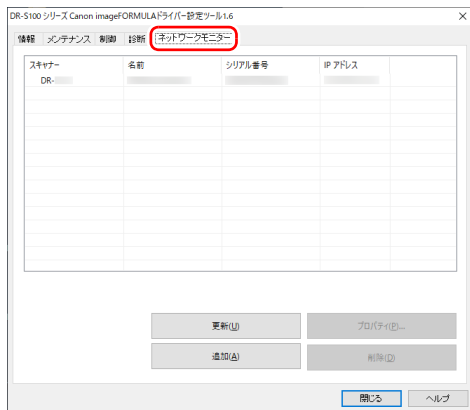
セキュリティを確保するために、管理者パスワードは工場出荷時のままにせず変更することをお勧めします。Web メニューの [パスワード設定] 画面で変更することができます。「パスワード設定」(→ P.95)

- 5 [ログイン] をクリックします。
[デバイス情報] 画面が表示されます。



Windows

- 1 Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールを開きます。(→ P.104)
- 2 [ネットワークモニター] タブをクリックします。



Mac

- 1 Finder で [移動] – [アプリケーション] – [WebScanSettingTool] をダブルクリックします。
WebScanSettingTool が起動します。

Web メニューの各ページについて

Web ページ左側のメニューの各項目をクリックすると、以下のページが表示されます。

スキャナー名設定 → スキャナー名を表示します。

ネットワーク設定 → 本機のネットワーク設定を行います。

デバイス設定 → mDNS、SNMP、PIN コード、電源管理および COT Admin 接続の設定を行います。

パスワード設定 → Web メニューにログインするための管理者パスワードの設定を行います。

メンテナンス設定 → 本機の初期化、およびファームウェアのアップデートを行います。

ヒント

[デバイス情報] 画面から各設定画面に移動した後で、[デバイス情報] 画面に戻るには、左側のメニュー上部に表示されている本機の機種名をクリックしてください。

Web メニューの設定

Web メニューの各ページの設定について説明します。

スキャナー名設定

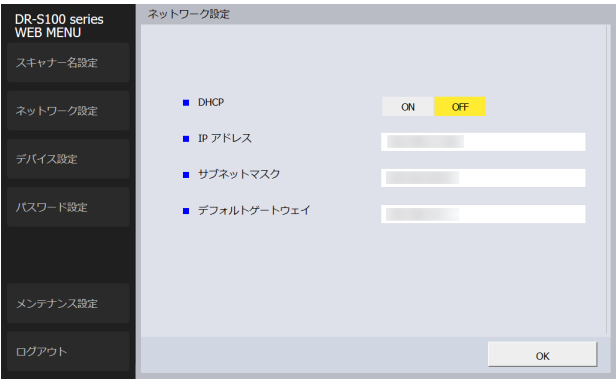
Web ページ左側のメニューで [スキャナー名設定] をクリックすると、下図のページを表示します。



項目	内容
スキャナー名	スキャナー名を設定します。

ネットワーク設定

Web ページ左側のメニューで [ネットワーク設定] をクリックすると、下図のページを表示します。

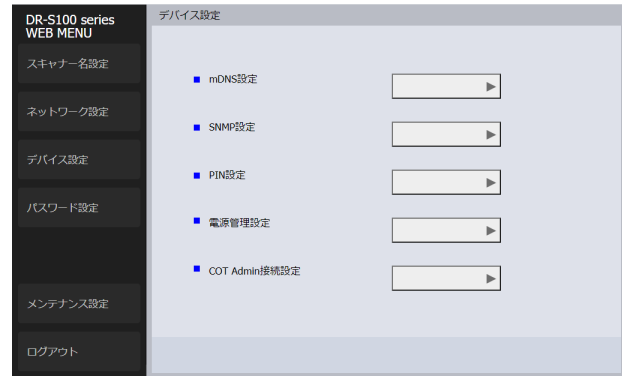


項目	内容	工場出荷設定
DHCP	DHCP プロトコルの有効 ([ON]) / 無効 ([OFF]) を設定します。 IP アドレスを DHCP によって設定するためには、サブネットワーク内に DHCP サーバーが稼動していなければなりません。	ON
IP アドレス	本機の IP アドレスを設定します。DHCP が有効の場合は、DHCP で取得した IP アドレスが優先されます。 設定値は、ピリオド (ドット) で区切られた 4 つの 10 進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	なし

項目	内容	工場出荷設定
サブネットマスク	本機のサブネットマスクを設定します。DHCP が有効の場合、DHCP で取得したサブネットマスクが優先されます。設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた 4 つの 10 進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	なし
デフォルトゲートウェイ	本機のゲートウェイの IP アドレスを設定します。DHCP が有効の場合、DHCP で取得したデフォルトゲートウェイが優先されます。設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた 4 つの 10 進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。ゲートウェイは本機と同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になります。	なし

デバイス設定

Web ページ左側のメニューで [デバイス設定] をクリックすると、下図のページを表示します。

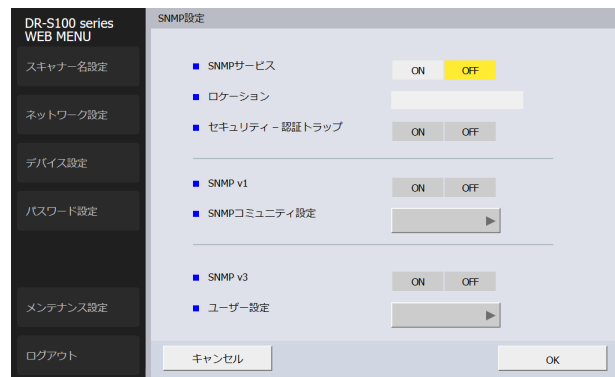
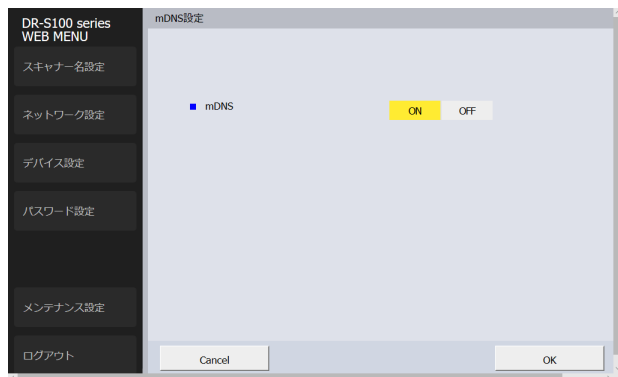


項目	内容
mDNS 設定	mDNS 設定画面に移動します。
SNMP 設定	SNMP 設定画面に移動します。
PIN 設定	PIN 設定画面に移動します。
電源管理設定	電源管理設定画面に移動します。
COT Admin 接続設定 *	COT Admin 接続設定画面に移動します。

* DR-S150 のみ

mDNS 設定

デバイス設定のメニューで [mDNS 設定] をクリックすると、下図のページを表示します。



項目	内容	工場出荷設定
mDNS	<p>マルチキャスト DNS の有効／無効を設定します。</p> <p>この設定は、スキャンを実行するアプリケーションから本機を検索して自動接続するために使用されます。通常はオンにします。</p> <p>この設定を無効にしたときは、スキャンを実行するアプリケーションからスキャンするときに、本機に割り当てられている IP アドレスを用いて手動でスキャナーを指定する必要があります。</p>	ON

SNMP 設定

デバイス設定のメニューで [SNMP 設定] をクリックすると、下図のページを表示します。

項目	内容	工場出荷設定
SNMP サービス	SNMP 機能の有効／無効を設定します。	OFF
ロケーション	本機の設置場所を入力します。	なし
セキュリティ - 認証トラップ	<p>SNMP の認証トラップ機能の有効／無効を設定します。</p> <p>[ON] に設定すると、[SNMP コミュニティ設定] に登録されていないコミュニティから SNMP 要求を受けた場合、トラップ送信先にメッセージを送信します。</p>	OFF
SNMP v1	SNMP v1 対応機能の有効／無効を設定します。	OFF
SNMP コミュニティ設定	SNMP コミュニティ設定画面に移動します。	—
SNMP v3	SNMP v3 対応機能の有効／無効を設定します。	OFF
ユーザー設定	ユーザー設定画面に移動します。	—

コミュニティ設定

SNMP 設定画面で SNMP v1 を有効にし、[SNMP コミュニティ設定] をクリックすると、下図のページを表示します。

コミュニティ名	MIBアクセス権限	トラップ設定	ホスト制限
public	読取のみ	OFF	全てのホスト

項目	内容
新規登録	新規のコミュニティを登録します。クリックすると、コミュニティの各設定を編集するためのダイアログボックスが表示されます。コミュニティは最大3つまで登録できます。
変更	選択したコミュニティの設定内容を変更します。クリックすると、コミュニティの各設定を編集するためのダイアログボックスが表示されます。
削除	選択したコミュニティを削除します。
詳細情報	選択したコミュニティの設定内容を表示します。クリックすると、コミュニティの各設定を参照するためのダイアログボックスが表示されます。

コミュニティの編集ダイアログボックス

コミュニティ設定画面で [新規登録] または [変更] をクリックすると、下図のページを表示します。

項目	内容	工場出荷設定
コミュニティ名	コミュニティ名を32文字以内で設定します。 半角アルファベット、数字、ハイフンとアンダーバーが使用可能です。すでに登録されている名称や使用できない文字を入力すると [適用] ボタンを押した際にエラーが表示されます。	なし
MIBアクセス権限	[読取 / 書込] または [読取のみ] いずれかの権限を設定します。	読取のみ
ホスト制限	ホストのアクセス許可を設定します。 全てのホスト: すべてのホストをアクセス許可する リストを利用: [許可ホストのリスト] で指定したホストのみを許可する。	全てのホスト
許可ホストのリスト	許可するホストをIPアドレスまたは、コンピュータ名を入力して、指定します。 指定できる数は最大5個。各行は64文字まで入力できます。	なし
トラップ設定	トラップ設定のON/OFFを選択します。	ON

項目	内容	工場出荷設定
トラップ送信先	トラップ設定の対象となるホストを、IP アドレスまたは、コンピュータ名を入力して、指定します。指定できる数は最大 5 個。各行は 64 文字まで入力できます。	なし

ユーザー設定

SNMP 設定画面で SNMP v3 対応機能を有効にし、[ユーザー設定] をクリックすると、下図のページを表示します。

項目	内容
新規登録	新規のユーザーを登録します。クリックすると、ユーザーの各設定を編集するためのダイアログボックスが表示されます。ユーザーは最大 5 つまで登録できます。
変更	選択したユーザーの設定内容を変更します。クリックすると、ユーザーの各設定を編集するためのダイアログボックスが表示されます。
削除	選択したユーザーを削除します。
詳細情報	選択したユーザーの設定内容を表示します。クリックすると、ユーザーの各設定を参照するためのダイアログボックスが表示されます。

ユーザーの編集ダイアログボックス

ユーザー設定画面で、[新規登録] または [変更] をクリックすると、下図のページを表示します。

項目	内容	工場出荷設定
ユーザー名	ユーザー名を 32 文字以内で設定します。半角アルファベット、数字、ハイフンとアンダーバーが使用可能です。すでに登録されている名称や使用できない文字を入力すると [適用] ボタンを押した際にエラーが表示されます。	なし
MIB アクセス権限	[読取 / 書込] または [読取のみ] いずれかの権限を設定します。	読取のみ
認証方式アルゴリズム	MD5 または、SHA1 から認証方式を指定します。	MD5
認証パスワード	認証のパスワードを、8 ～ 16 文字で設定します。半角アルファベット、数字、ハイフンとアンダーバーが使用可能です。使用できない文字を入力すると [適用] ボタンを押した際にエラーが表示されます。	なし
暗号方式アルゴリズム	DES または AES から暗号化方式を指定します。	DES

項目	内容	工場出荷設定
暗号パスワード	暗号化のパスワードを、8～16文字で設定します。半角アルファベット、数字、ハイフンとアンダーバーが使用可能です。使用できない文字を入力すると「適用」ボタンを押した際にエラーが表示されます。	なし
トラップ設定	トラップ設定のON/OFFを選択します。	ON
トラップ送信先	トラップ設定の対象となるホストを、IPアドレスまたは、コンピュータ名を入力して、指定します。指定できる数は最大5個。各行は64文字まで入力できます。	なし

PIN 設定

デバイス設定のメニューで「PIN 設定」をクリックすると、下図のページを表示します。

DR-S100 series WEB MENU

- スキャナー名設定
- ネットワーク設定
- デバイス設定
- パスワード設定
- メンテナンス設定
- ログアウト

PIN設定

- PINの有効化 ☐ ON ☒ OFF
- 現在のPIN
- 新しいPIN
- 新しいPIN(確認)

戻る OK

項目	内容	工場出荷設定
PINの有効化	PINコード設定のON/OFFを選択します。	OFF
現在のPIN	現在設定されているPINコードを入力します。	0000
新しいPIN	新しいPINコードを入力します。	なし

項目	内容	工場出荷設定
新しいPIN (確認)	入力した新しいPINコードの確認に使用します。	なし

電源管理設定

デバイス設定のメニューで「電源管理設定」をクリックすると、下図のページを表示します。

DR-S100 series WEB MENU

- スキャナー名設定
- ネットワーク設定
- デバイス設定
- パスワード設定
- メンテナンス設定
- ログアウト

電源管理設定

- 4時間後に自動的に電源を切る ☒ ON ☐ OFF

戻る OK

項目	内容	工場出荷設定
4 時間後に自動的に電源を切る	自動電源オフ機能を設定します。[ON] に設定すると、自動電源オフ機能が有効になり、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に電源がオフになります。	ON

COT Admin 接続設定 (DR-S150 のみ)

デバイス設定のメニューで [COT Admin 接続設定] をクリックすると、下図のページを表示します。

項目	内容	工場出荷設定
COT Admin の有効化	COT Admin 機能の有効／無効を設定します。	OFF
SSL を使う	COT Admin との通信を暗号化する機能の有効／無効を設定します。	いいえ
IP アドレス : ポート番号	COT Admin サーバーを指定します。IP アドレスとポート番号を入力します。	なし ポート番号 : 80
接続テスト	COT Admin サーバーへの接続をテストします。	—
ルート証明書のインポート	COT Admin サーバーが通信する際に使用するサーバー証明書を変更できます。[インポート] をクリックすると、[証明書のインポート] ダイアログボックスが表示されます。証明書ファイル (pfx ファイル) を指定し、[送信] をクリックするとインポートされます。[表示] をクリックすると、インポートしたルート証明書が表示されます。	—

項目	内容	工場出荷設定
アカウント名	COT Admin のアカウント名が表示されます。 [変更] ボタンをクリックすると、COT Admin のアカウントを変更するダイアログボックスが表示されます。	なし

パスワード設定

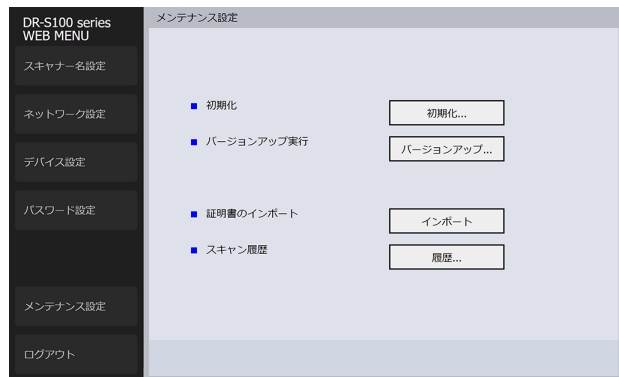
Web ページ左側のメニューで [パスワード設定] をクリックすると、下図のページが表示されます。

項目	内容	工場出荷設定
現在のパスワード	現在設定されているパスワードを入力します。	なし
新しいパスワード	本機の管理パスワードを32文字以内で設定します。このパスワードは Web ブラウザーで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。	なし
新しいパスワード(確認)	入力パスワードの確認に使用します。	なし

メンテナンス設定

Web ページ左側のメニューで「メンテナンス設定」をクリックすると、下図のページを表示します。

このページでは、本機の初期化や、ファームウェアのアップデートを行います。



項目	内容
スキャン履歴	スキャンの履歴が確認できます。履歴には、「ジョブ番号」(スキャナーに割り当てたジョブ番号)、「出力方法」(Folder/SMTP/SMTPS/FTP/FTPS/SFTP)、「状態」(Done/Error)、「エラー情報」(エラーの説明が英語で表示)が表示されます。

項目	内容
初期化	本機の設定情報の初期化を行います。[初期化] をクリックし、表示される画面で [はい] をクリックすると、本機の設定を工場出荷時の状態に戻し、本機を再起動します。
バージョンアップ実行	本機のファームウェアのアップデートを行います。[バージョンアップ] をクリックし、表示される画面でファームウェアファイルを指定します。
証明書のインポート	Web メニュー用のサーバー証明書を読み込み、[https://]で Web メニューにアクセスした際のサーバー証明書を変更できます。[インポート] をクリックすると、[証明書インポート] ダイアログボックスが表示されます。証明書ファイル (pfx ファイル) を指定し、パスワードを入力した後、[送信] をクリックするとインポートが実行されます。

メンテナンス

日常のお手入れ

読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

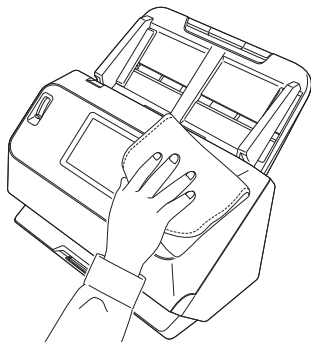


注意

- 本体および内部の清掃を行うときは、安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。光源などの精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤は決して使用しないでください。外装が変形、変色したり、溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

本体の清掃

本体表面は、水を含ませて固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



タッチパネルの清掃

タッチパネルの清掃は、柔らかい乾いた布でパネルの表面に圧力を加えないように軽く拭いてください。

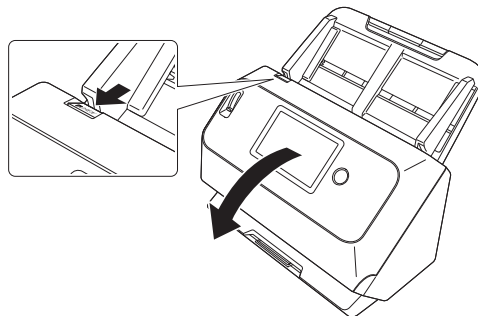
本体内部の清掃

本体内部にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。本体内部にたまったほこりや紙粉は、ブロアーなどを使って定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナーの電源を切った後に紙粉の除去を行ってください。

読み取りガラスとローラーの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスやローラーが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

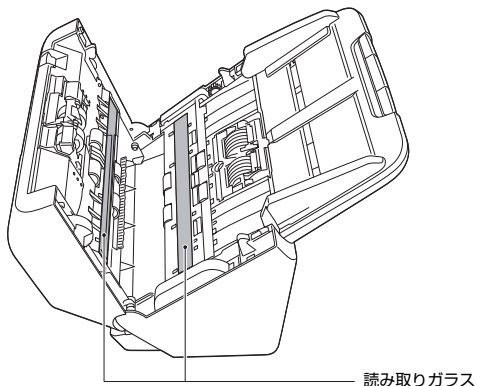
- 1 OPEN レバーを引いて、前ユニットを手前に開きます。



- 2 ブロアーなどを使って、本体内部にたまったほこりや紙粉を取り除きます。

3 読み取りガラスの汚れを拭き取ります。

読み取りガラスは、水を含ませて固くしぼった布で拭いて汚れを取り除いたあと、きれいな乾いたやわらかい布で拭いてください。

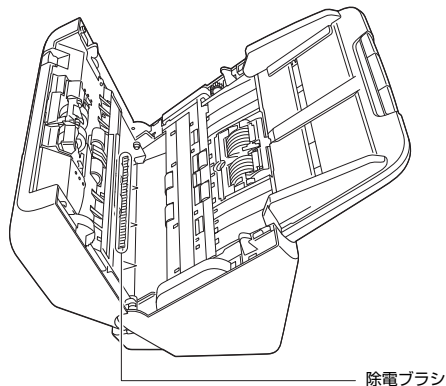


⚠ 注意

水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。

❗ 重要

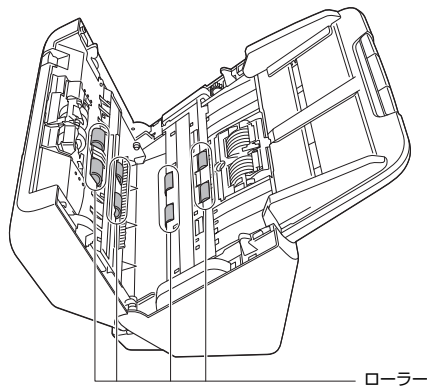
- 読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 前ユニットの内側にある除電ブラシを変形させないように注意してください。



4 ローラーを清掃します。

回転させながら清掃します。

ローラーは、水を含ませて固くしぼった布で拭いて汚れを取り除いたあと、きれいな乾いたやわらかい布で拭いてください。

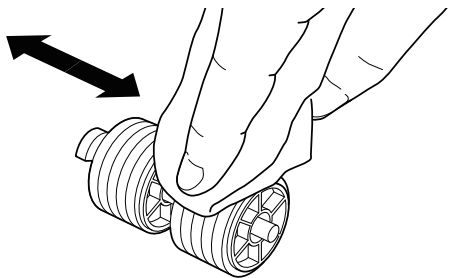


5 給紙ローラー と分離ローラーを取り外します。(→ P.101、P.102)

❗ 重要

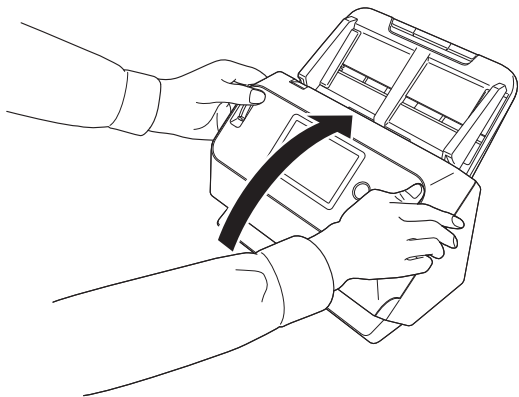
給紙ローラーと分離ローラーは、本体から取り外して清掃し、清掃が終わったら本体に戻してください。

- 6** 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラーの汚れを拭きとります。



- 7** 取り外したローラーを取り付けます。(→ P.101、P.102)

- 8** 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



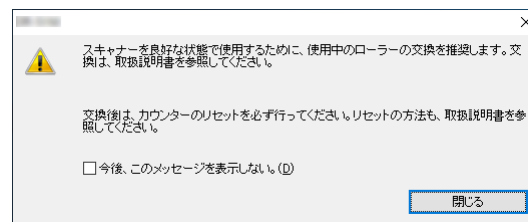
消耗品の交換

スキャナー内部に取り付けられている 2 つのローラー（給紙ローラーと分離ローラー）は消耗品です。スキャンを重ねるにつれて磨耗します。ローラーが磨耗すると、原稿を正常に給紙できなくなり、紙詰まりや重送の原因となります。

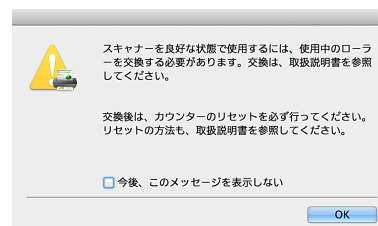
搬送枚数（スキャナーで給紙した原稿の総ページ数）が耐用枚数を超えると、コンピューターやスキャナーの起動時にローラーの交換を求めるメッセージ画面が表示されます。

コンピューターに表示されるメッセージ

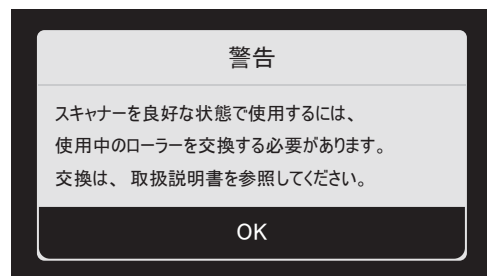
Windows



Mac



タッチパネルに表示されるメッセージ



[OK] をタップするとホーム画面に移動します。

パネルに表示されたメッセージは、ローラーカウンターをリセットすることでクリアできます。ただし、ローラーカウンターをリセットするまではスキャナーの電源をオンにしたときに必ず表示されます。

このメッセージ画面が表示されるようになったら、交換ローラーキットをお買い求めのうえ、キットに含まれる消耗品（給紙ローラーと分離ローラー）に交換してください。交換ローラーキットについては [121 ページ](#) を参照してください。

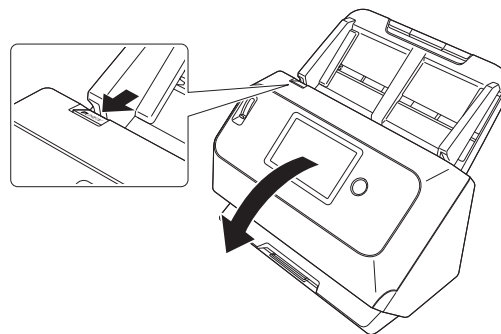
また、ローラーを交換したときは、スキャナー内部に記録されているカウンターもリセットする必要があります。（→ [P.103](#)）

ヒント

ローラーの交換時期に達していないときでも、ローラーの磨耗により、スキャン画像が縦方向に伸張されるようになります。この場合は縮率調整を行ってください。（→ [P.104](#)）

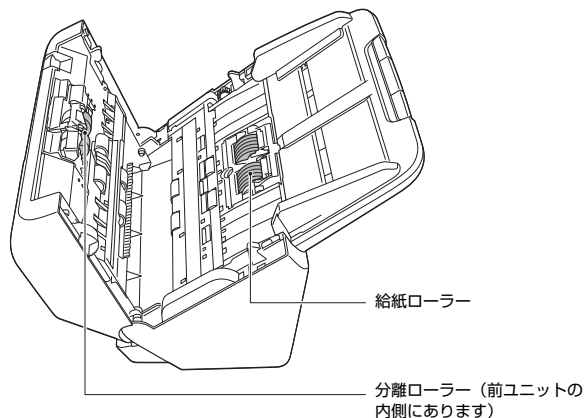
前ユニットの開閉

- 1 OPEN レバーを引いて、前ユニットを手前に開きます。

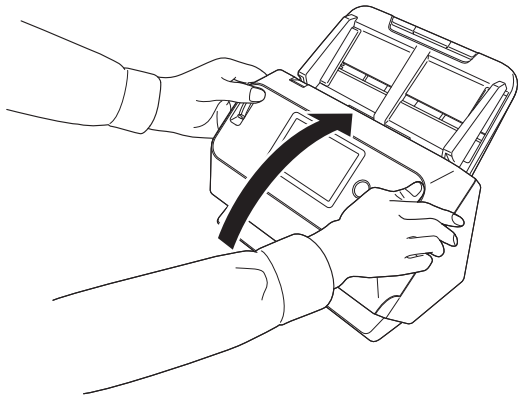


ヒント

交換する消耗品は、それぞれ下記の場所にあります。

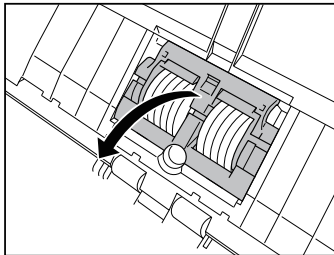


- 2** 前ユニットを閉じるときは、左右を静かに押しながら、カチッと音がするまで確実に閉じます。

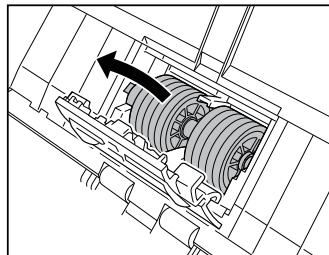


給紙ローラーの交換

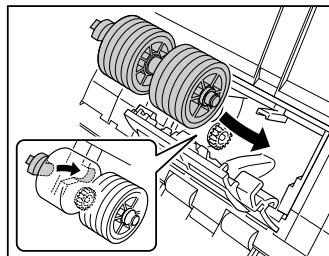
- 1** ローラーカバーを開きます。



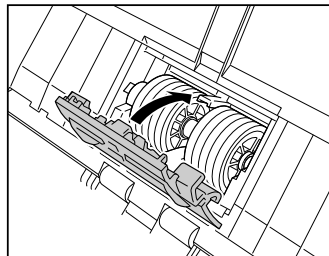
- 2** 給紙ローラーを取り出します。



- 3** 新しい給紙ローラーを取り付けます。

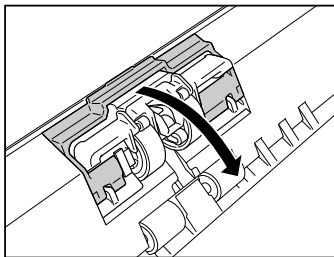


- 4** ローラーカバーを閉じます。

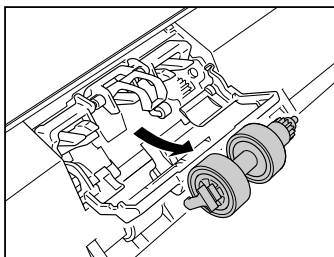
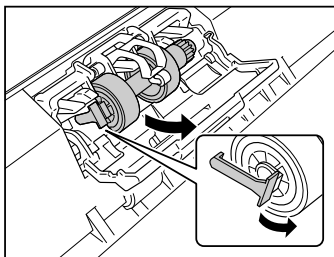


分離ローラーの交換

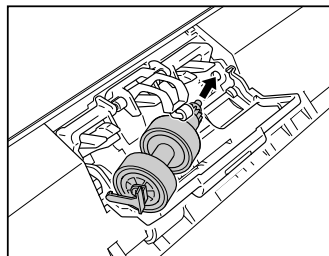
- 1** ローラーカバーを開きます。



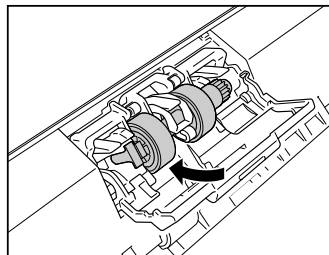
- 2** 分離ローラーをスキャナーに固定している左側のレバーを引いて分離ローラーを取り外します。



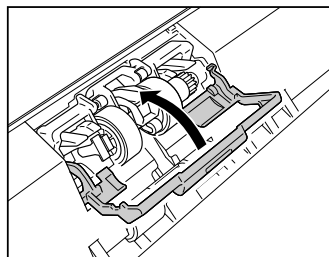
- 3** 新しい分離ローラーの右側を先にスキャナーに取り付けます。




- 4** 分離ローラーの左側を押して、スキャナーに固定します。

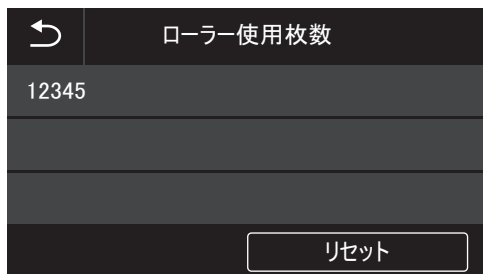


- 5** ローラーカバーを閉じます。

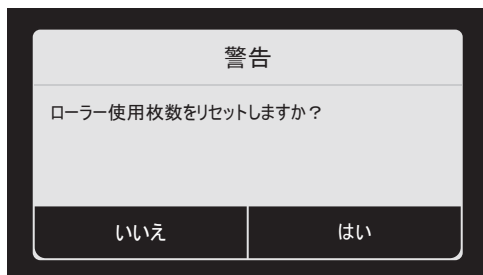



カウンターのリセット

- 1 タッチパネルの  (設定) をタップします。
設定メニュー画面が表示されます。
- 2 [メンテナンス]、[ローラー使用枚数] の順にタップします。



- 3 [リセット] をタップすると、以下のメッセージが表示されます。



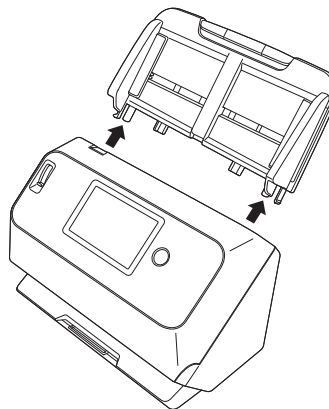
- 4 [はい] をタップします。
- 5 [ローラー使用枚数] の値がリセットされます。
- 6  (戻る) ボタンをタップして元の画面に戻ります。

ヒント

カウンターのリセットは Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールからも行えます。 (→ P.104)

給紙トレイの取り外し

本製品を保管するときなど、長期間使用しないときは、給紙トレイを取り外してください。



トラブル Q & A

ここでは、お問い合わせの多いトラブルについて、その対処方法を説明しています。

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口(→P.117)にご相談ください。

Q1. 電源が入らない。

A1. ACアダプターの電源プラグが確実にコンセントに接続されていることを確認してください。

Q2. スキャンできない。

A2. 同じスキャナーを複数台お持ちで、使用を意図していない機器をソフトウェア上で選択、もしくは本体操作している可能性があります。選択しているスキャナーを再度確認してください。

Q3. スキャナーが認識されない。

A3. USB 接続の場合：

- (1) スキャナーとコンピューターがUSBケーブルで正しく接続されていることを確認してください。
- (2) スキャナーの電源が入っていることを確認してください。この前の「Q1. 電源が入らない」も参照してください。
- (3) コンピューターのUSBインターフェイスがスキャナーに対応していない可能性があります。本製品は、すべてのUSBインターフェイスでの動作を保証していません。
- (4) 付属のUSBケーブルでスキャナーとコンピューターを接続していることを確認してください。市販のUSBケーブルによっては、スキャナーに対応していないことがあります。
- (5) USB HUB を経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。
- (6) 有線 LAN 接続時 (DR-S150 のみ)、また Wi-Fi 接続時は USB 接続は認識されません。タッチパネルを操作して、接続方法を切り替えてください。(→P.43)

有線 LAN (DR-S150 のみ) / Wi-Fi 接続の場合 (共通)：

- (1) IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。
- (2) DHCP サーバーがネットワーク上に存在しない場合は、固定 IP アドレスを使用する必要があります。タッチパネルの設定メニュー(→P.43) または Web メニューのネットワーク設定 (→P.89) から設定してください。
- (3) 接続しているセグメントが異なる場合は、特別な設定が必要です。Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールを使い、手動で IP を設定します。具体的な操作方法については、Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールのヘルプをご参照ください。
- (4) セキュリティソフトウェアの設定が原因で接続できないことがあります。詳細はネットワーク管理者に問い合わせてください。
- (5) 同じ機器が複数のネットワークに存在し、別の IP アドレスの機器を指定している場合は、接続できません。ご使用になる機器の IP アドレスを再度確認してください。
- (6) 以下の手順に従ってファイアウォールの設定をし、mDNS ポートを開放してください。
 1. [スタート] ボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックします。
 2. [システムとセキュリティ] をクリックします。
 3. [Windows Defender ファイアウォール] をクリックします。
 4. [詳細設定] をクリックし、[セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール] 画面を開きます。
 5. [受信の規則] をクリックします。
 6. [新しい規則] をクリックし、[新規の受信の規則ウィザード] を開きます。
 7. [カスタム] を選択し、[次へ] をクリックします。
 8. [このプログラムのパス] を選択し、下記のパスを指定して [次へ] をクリックします。
C:¥ProgramFiles(x86)¥Canon Electronics¥SharedFiles¥DriverNetworkMonitor.exe
 9. 各項目について下記の設定をして [次へ] をクリックします。
プロトコルの種類：UDP
ローカル ポート：特定のポート
ポート番号：5353
リモート ポート：特定のポート
ポート番号：5353

10. ローカル IP アドレス、リモート IP アドレスともに [任意の IP アドレス] を選択し、[次へ] をクリックします。
11. [接続を許可する] を選択し、[次へ] をクリックします。
12. 規則の適用範囲を指定し、[次へ] をクリックします。
13. 任意の名前を入力し、[完了] をクリックします。

有線 LAN 接続の場合 (DR-S150 のみ) :

- (1) LAN ケーブルの接続を確認してください。
- (2) 設定した IP アドレスがすでに他のデバイスで使用されている可能性があります。ネットワークのシステム管理者に連絡して IP アドレスの設定を変更してください。
- (3) 設定したデバイス名がすでに他のデバイスで使用されている可能性があります。ネットワークのシステム管理者に連絡してデバイス名の設定を変更してください。本機を 2 台以上導入したときはデバイス名を重複させないように注意してください。
- (4) ネットワークトラフィックの状況を確認してください。ネットワークに大きな負荷がかかると、処理に時間がかかり、タイムアウトになることがあります。一定時間待ってから、接続し直してください。状況が改善しない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- (5) USB 接続時、また Wi-Fi 接続時は有線 LAN 接続は認識されません。タッチパネルを操作して、接続方法を切り替えてください。(→ P.43)

Wi-Fi 接続の場合 :

- (1) アクセスポイントが正常に起動しているか確認してください。
- (2) 本機とアクセスポイントの電源を入れ直し、再度 Wi-Fi 接続をしてください。
- (3) アクセスポイントとスキャナーの位置が離れすぎている可能性があります。距離が離れていると接続できないことがあります。
- (4) アクセスポイントと本機の間に壁や家具といった接続を妨害するものが置かれている可能性があります。設置位置を変えるか、距離を近づけてください。
- (5) コードレス電話機や電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがあります。これらの機器から離れた場所で使用してください。
- (6) アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、Wi-Fi 接続の設定時にアクセスポイントを検出できません。ステルス機能を無効にするか、手動での設定時にアクセスポイントの SSID を手動で正確に入力してください。
- (7) アクセスポイントの MAC アドレスフィルタリングを有効にしているときは、本機の MAC アドレスを登録する必要があります。

- (8) 有線 LAN 接続時 (DR-S150 のみ)、また USB 接続時は Wi-Fi 接続は認識されません。タッチパネルを操作して、接続方法を切り替えてください。(→ P.43)

Q4. スキャナーの電源が自動的に切れた。

- A4. スキャナーの自動電源オフ機能が有効になっていると、接続中かどうかにかわらず 4 時間経過後にスキャナーの電源が自動的にオフになります。スキャナーの電源を入れ直し、必要に応じてスキャナーの自動電源オフ機能を無効にしてください。

Q5. 工場出荷時の設定に戻したい。

- A5. スキャナーの初期化はタッチパネルの設定メニュー (→ P.42) またはブラウザーの Web メニュー (→ P.96) で行います。

Q6. 「らくらく無線スタート」または「AOSS」で接続できない。

- A6. 本機は「らくらく無線スタート」と「AOSS」のどちらにも未対応です。無線親機 (アクセスポイント) に WPS 機能があれば、WPS 機能を使用して接続できます。WPS に対応していないときは手動で設定して接続してください。

Q7. ネットワークに自動接続できない。

- A7. ネットワーク環境が DHCP に対応している場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。DHCP に対応していない場合は、手動で IP アドレスを設定してください。

Q8. Wireless Connection Tool での設定後にスキャナーが使えない (または見つからない)。

- A8. Wireless Connection Tool で設定した直後は、コンピューターのネットワーク接続が安定しない場合があります。しばらく待つか、コンピューターを再起動してください。

Q9. 原稿が斜めに給紙される (スキャン画像が斜めになる)。

- A9. (1) 原稿ガイドをできるだけ原稿にぴったりと合わせて、まっすぐ給紙されるように原稿をセットしてください。
(2) 給紙補助サポートを開いて原稿をセットしてください。
(3) スキャナードライバーの設定で [傾きを自動で補正する] を有効にしてください。
(4)すでに大量の枚数をスキャンしている場合は、ローラーを清掃してください。それでも原稿が斜めに給紙される場合は、ローラー交換などのメンテナンスが必要です。ローラーの清掃および交換については「メンテナンス」(→ P.97) を参照してください。

Q10. スキャナードライバーで設定したとおりにスキャンされない。

A10. CaptureOnTouch で登録した [スキャンモード] パネルを使用してスキャンした場合、スキャナードライバーの設定よりも CaptureOnTouch の設定が優先されます。[スキャンモード] パネルの設定を変更するか、スキャン条件に合わせて新しい [スキャンモード] パネルを作成してください。

Q11. スキャン画像に白線 / すじが発生する。

A11. 読み取りガラス（表面と裏面の両方とも）やローラーを清掃してください。糊や修正液など粘着性のある汚れを清掃するときは、線の現れる場所をやや強めに拭いてみてください。清掃後も問題が解決しない場合は、内部ガラスにキズが付いている可能性があります。お買い上げの販売店または担当サービス窓口にお問い合わせください。

Q12. ページが抜ける（足りない）。


A12. スキャナードライバーの [読み取り面] の設定が [白紙をスキップする] に設定されていると、黒い部分が少ない原稿が意図せず削除（スキップ）されることがあります。白紙スキップのしやすさの値を小さくする（「[両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい](#)」（→P.70））もしくは、[読み取り面] を片面や両面など他の設定にしてください。原稿の重送が原因でページが抜ける場合の対処については、「Q13. 原稿が詰まる（または重送する）」を参照してください。

Q13. 原稿が詰まる（または重送する）。

A13. (1) ローラーが正しく取り付けられているかを確認し、必要に応じてローラーを清掃してください。
(2) 原稿が静電気などにより密着すると正常にスキャンできません。よくさばいてからセットしてください。
(3) 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えて、1 枚ずつ手差し給紙でスキャンしてください。

Q14. 複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できない。

A14. CaptureOnTouch で保存できる画像ファイルは、ファイル形式によって複数ページの画像を 1 つのファイルに保存できるものとできないものがあります。

ファイル形式	複数ページの原稿の処理
BMP、JPEG	常に 1 ページにつき 1 つの画像ファイルに保存
PPTX	常に複数ページを 1 つのファイルに保存
TIFF、PDF	 をクリックし、表示されるダイアログボックスで [全てのページを 1 つのファイルにする] を選択することで、複数ページを 1 つのファイルに保存可能

Q15. セットした原稿はすべてスキャンされたのに、スキャン画像がアプリケーションに表示されない

A15. スキャナードライバーの設定画面の [搬送] タブで、給紙方法を [パネルで給紙] または [自動給紙] に設定しているときは、すべての原稿の給紙が終わってもスキャン動作が終了せず、原稿の追加を待機する状態になります。タッチパネルの [ストップ] をタップすると、スキャン動作が終了し、スキャン画像がアプリケーションに送られます。

Q16. スキャン中にメモリー不足になり、スキャンできなくなった。

A16. コンピューターのメモリーを大量に使用するようなスキャン条件では、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。コンピューターに搭載されているメモリー容量によりますが、下記の条件が重なるに従ってメモリー不足になる可能性が高くなります。

- [カラーモード] を [カラー] にする
- [用紙サイズ] で大きな用紙サイズ（リーガルなど）を指定する。または [最大サイズ] にする
- [解像度] で高い解像度（600dpi など）を指定する

スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更（たとえば、解像度を低くする、用紙サイズを小さくするなど）してからスキャンをやり直してください。また、[モアレ除去] や [裏写り / 地色除去] をオンにしている場合は、これらの設定値をオフにすることでメモリーの使用量を抑えることができます。

Q17. 複数枚ページの原稿をスキャンするときに重送する

- A17. タッチパネルで[重送検知を無効にする]をオンにしてスキャンを継続する(→P.45)か、スキャナードライバーの設定画面で[超音波で検知]チェックボックスをオフに設定してください。(→P.36)
または、スキャナードライバーの設定画面の[その他]タブで、[継続モード]のチェックボックスをオンにしてください。

Q18. パスポートがうまくスキャンできない

- A18. キャリアシートやパスポートの状態によっては、画像が欠けたり、スキャナーの補正機能が正しく動作しない可能性があります。
その場合は以下の設定を行ってください。
- (1) スキャナードライバーの設定画面で[用紙サイズ]の設定を大きな用紙サイズ(A4など)に指定してスキャンしてください。(→P.67)
 - (2) スキャナードライバーの設定画面で[解像度]を300dpi以下に設定してください。(→P.67)
 - (3) ローラー清掃を行ってください。

Q19. サイズ検知や斜行補正に失敗する

- A19. スキャナードライバーの設定画面の[搬送]タブで[原稿の種類]を[キャリアシート]に設定していると、縁が黒い原稿をキャリアシートに入れずそのままセットしてスキャンした場合に、サイズ検知や斜行補正に失敗することがあります。サイズ検知や斜行補正をオフにするか、[搬送]タブの[原稿の種類]を[普通紙]に設定してください。

ソフトウェアの操作で困ったときは

ここでは、付属ソフトウェア（CaptureOnTouch）の操作時に起こりうるトラブルとその対処方法を説明します。

スキャンに時間がかかる

- (1) 他のアプリケーションソフトが起動しているときは、終了させてください。
- (2) システムに常駐するアプリケーション（ウィルス対策ソフトウェアなど）によってシステムのメモリーが不足すると、スキャン速度が遅くなります。このような常駐ソフトを終了してからスキャンしてください。
- (3) ハードディスクの空き容量が不足していると、スキャン時に作成される一時ファイル（一時的にスキャンデータを保存したファイル）が作成できません。ハードディスク上のデータを整理して空き容量を確保してください。
- (4) コンピューターの USB ポートが Hi-Speed USB 2.0 や USB3.2 Gen1x1 などの高速な規格に対応していない場合は、スキャン速度が低下します。
- (5) USB3.2 Gen1x1 に対応していない市販の USB ケーブルを使用している場合は、付属の USB ケーブル（USB3.2 Gen1x1 対応）に換えてください。
- (6) USB3.2 Gen1x1 に対応していない USB HUB を経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。
- (7) スキャン中、タッチパネルに長尺モードでスキャン中と表示されている場合は、長尺モードを解除してください。（→ P.34）

保存したスキャン画像が、アプリケーションソフトで開けない

- (1) スキャン画像をマルチページTIFFファイルに保存した場合は、マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションソフトが必要です。
- (2) マルチページ TIFF ではない TIFF ファイルに保存した場合でも、TIFF ファイルが圧縮されていると、アプリケーションによっては開けないことがあります。CaptureOnTouch の TIFF ファイルの圧縮方式に対応していないアプリケーションソフトを使用した場合に起こります。この場合は画像ファイルの圧縮形式を「なし」にしてスキャンしてください。

CaptureOnTouch の UI 画面が乱れることがある

登録しているスキャンモードパネルや、出力先パネル、お気に入りパネルの数が多いと、お使いのコンピューターによっては、UI 画面が乱れたりすることがあります。使用していないパネルを削除してください。

役立つヒント集

ここでは、原稿をスキャンするうえで知っておくと便利なヒントを挙げます。


スキャン画像はどこに保存されますか？ また、保存先を変更することはできますか？

ソフトウェアで指定された下記の場所に保存されます。

いずれについても任意のフォルダーに変更できます。

3 ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] で設定した出力先に保存されます。

スキャン設定をするにはどうすればよいですか？

[スキャンモードパネル] の編集ボタン  をクリックし、表示されるスキャンモード編集画面でスキャン設定ができます。

複数のページを 1 つのファイルに保存したり、複数のページを 1 ファイルずつ保存できますか？


スキャン画像のファイル形式が BMP (PICT) または JPEG の場合は、スキャン画像は常に 1 ページごとに 1 ファイルとなります。

スキャン画像のファイル形式が PDF または TIFF の場合は、マルチページとシングルページのどちらで保存するかを指定できます。「トラブル Q & A」の Q14 も参照してください。

スキャナー設定の内容のコピーやバックアップはできますか？

[環境設定] ダイアログボックスの [基本設定] タブの [バックアップ / リストア] で設定内容をバックアップしたり復元できます。

スキャン画像のファイル名はどのようなルールで付けられるのですか？

スキャン画像のファイル名は、3 ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] での設定に従います。この画面は出力先パネルの編集ボタン  をクリックすると表示されます。

この画面にある、[詳細設定] ボタンをクリックすると表示される次の 3 つの項目の一部またはすべてを設定することで、スキャン画像のファイル名が決まります。

設定項目	説明
ファイル名	ファイル名に付加する任意の文字列を指定できます。
日時を付加する	ファイル名に日時を付加します。リストボックスで日時の記述順を選択します。「YYYY」が年、「MM」が月、「DD」が日を表します。どの記述順を選択しても、末尾に時刻が付加されます。
ファイル名に連番を付ける	スキャン画像のページの保存順に連番を付けます。連番の桁数と開始番号を指定します。

[ファイル名の設定] ダイアログボックスの [ファイル名] には、ファイル名の設定の例が表示されます。

半折りスキャンをするにはどうすればよいですか？

原稿を 2 つに折り、折り目を右側にしてスキャナーにセットします。スキャナー設定で原稿の半分のサイズ (2 つ折りにしたときの大きさ) を指定してスキャンします。詳細は [28 ページ](#) を参照してください。

白紙のページを飛ばして、白紙でないページだけをスキャンすることはできますか？

スキャナードライバーの設定画面で [白紙をスキップする] を指定してスキャンします。

カードをスキャンするにはどうすればよいですか？

カードを横向きにしてスキャナーにセットします。スキャナー設定でカードのサイズと同じサイズ (または [原稿のサイズに合わせる]) を指定してスキャンします。詳細は [25 ページ](#) を参照してください。

サイズの違う原稿を混載してスキャンするにはどうすればよいですか？

スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] にしてスキャンします。詳細は [63 ページ](#) を参照してください。

名刺や写真を上手にスキャンする方法を教えてください。

スキャナードライバーの設定画面で「用紙サイズ」を「原稿のサイズに合わせる」にしてスキャンします。または、スキャンする名刺や写真と同じサイズを登録してスキャンします。詳細は [63 ページ](#) を参照してください。

スキャンしたデータを印刷したい。

- 3ステップスキャン、お気に入りスキャンともに「出力先パネル」で「印刷する」を選択します。
- 本機能を使用するには、プラグインをインストールする必要があります。
- プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。

フォルダー以外に保存したい。

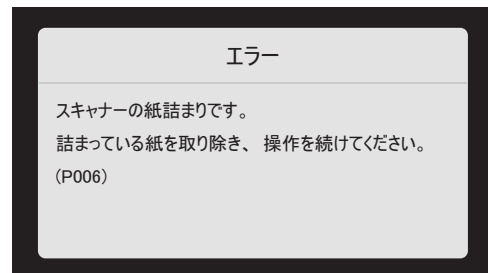
- CaptureOnTouch では、「フォルダーに保存する」以外の保存先は、プラグインとして提供しています。
- プラグインをインストールすることによって、スキャン画像を印刷したりメール添付したり、さまざまなクラウドサービスを利用して共有することができます。
- プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。
- インストールしているプラグインによって、選択できる出力先は異なります。

スキャンしたデータをメールに添付させたい（またはメール送信したい）。

- 3ステップスキャン、お気に入りスキャンともに「出力先パネル」で「メールに添付する」を選択します。
- 本機能を使用するには、プラグインをインストールする必要があります。
- プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。

紙詰まりの処理

原稿をスキャン中に紙詰まりを検知すると、タッチパネルに以下のエラーコードを表示してスキャン処理を中断します。



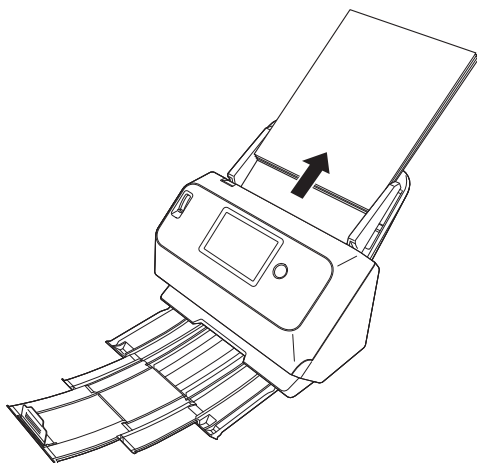
以下の手順に従って処理します。



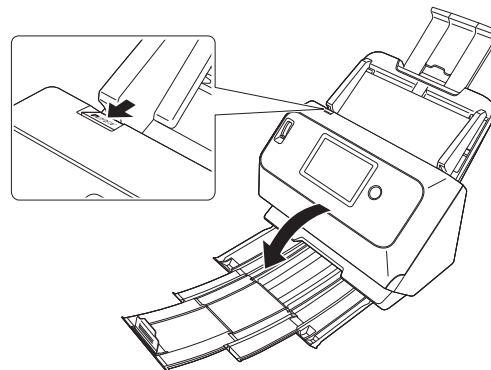
注意

詰まった紙を取り除くときは慎重に取り除いてください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

1 給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。

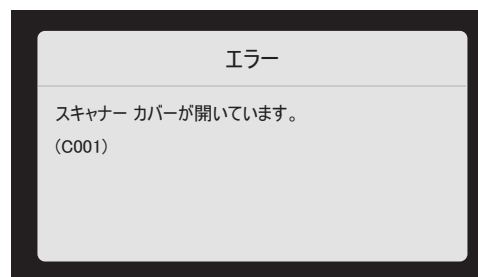


2 OPEN レバーを引いて、前ユニットを手前に開きます。

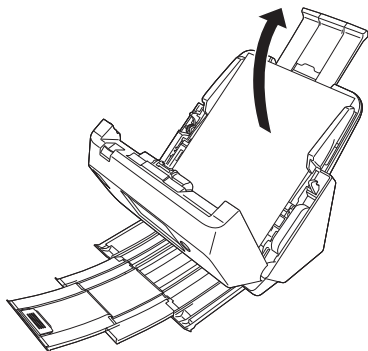


ヒント

前ユニットを開いているときは、タッチパネルに以下のメッセージ画面が表示されます。



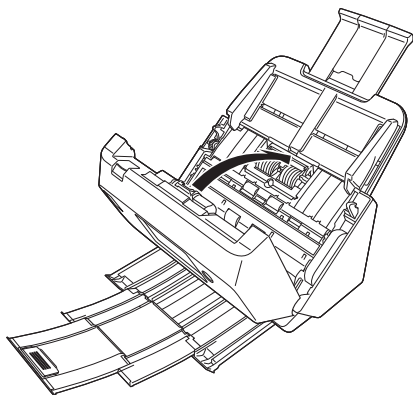
3 詰まった原稿を取り除きます。



! 重要

原稿は無理に引っ張らず、慎重に取り除いてください。万一、原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。

4 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



処理が終わったら、最後の原稿が記録されているかどうかを確認し、作業を続けてください。

💡 ヒント

スキャナードライバーの設定画面で「継続モード」(または「継続モードを使用する」)チェックボックスをオンにしておくと、紙詰まりで停止した場合でも、原稿を取り除いたあと、搬送中に停止した原稿からスキャンを継続することができます。

この場合、搬送中に停止した原稿の画像は保存されていないことがありますので、記録されている最後の原稿を確認してから継続してください。

エラーメッセージ

タッチパネルに以下のメッセージが表示された場合、本機にエラーが発生しています。対処方法に合わせて処理を行ってください。

エラーメッセージ	現象	対処
スキャナー カバーが開いています。	前ユニットが開いています。	前ユニットを閉じてください。
無効な値が設定されました。 操作をやり直してください。	IP アドレスを手動設定する際に、不正な値が入力されました。	有効な IP アドレスを入力してください。
接続に失敗しました。 もう一度、設定してください。	接続モードを切り替えた時に、Wi-Fi 接続に失敗しました。	トラブルシューティングの「Q3. スキャナーが認識されない」を参照し、Wi-Fi 接続の状態を確認してください。
	Wi-Fi 設定を行ったが、接続に失敗しました。	セットアップガイドを参照し、Wi-Fi の設定を確認してください。
接続がタイムアウトしました。 操作をやり直してください。	WPS (Wi-Fi Protected Setup) で設定時に、ルーターのボタンを押し忘れるなどして、タイムアウトしました。	接続操作を最初からやりなおしてください。
本機能は、LAN ケーブルまたは Wi-Fi で接続時のみ有効です。接続モードを切り替えて、操作をやり直してください。	USB 接続時に [送信] を利用しようとしてしました。	接続モードを有線 LAN 接続 (DR-S150 のみ) または Wi-Fi 接続に切り替えてから操作をやり直してください。
スキャナーを良好な状態で使用するには、使用中のローラーを交換する必要があります。 交換は、取扱説明書を参照してください。	スキャン枚数がローラーの耐用枚数を超えました。	ローラーを交換してください (→ P.99)
スキャナーの紙詰まりです。 詰まっている紙を取り除き、操作を続けてください。	スキャン時に紙が詰まりました。	前ユニットを開いて、詰まっている原稿を取り除いてください。
原稿が重送しました。 原稿とスキャンした画像を確認して、スキャンをやり直してください。	スキャン時に紙が重送しました。	前ユニットを開いて、詰まっている原稿を取り除いてください。原稿を確認し、スキャンをやり直してください。
給紙口に原稿がセットされていません。	原稿がセットされていません。	スキャナーの給紙口に原稿をセットしてください。
保存場所を確認できません。パスが正しいか、またはユーザー名、パスワードに誤りがないかを確認してください。	保存先が間違っています。	CaptureOnTouch Job Tool で保存先やユーザー名、パスワードを正しく設定してください。
ハードウェアエラー。	スキャナーの内部エラーです。	電源を入れ直してください。電源を入れ直してもエラーが表示されるときにはメッセージの内容を控えて、担当サービスに連絡してください。

ソフトウェアをアンインストールする

スキャナーが正常に動作しないようなときは、ソフトウェアを再インストールすることにより解決することがあります。ソフトウェアを再インストールするときは、以下の手順でソフトウェアをアンインストールしてから再インストールを行ってください。

ISIS/TWAIN ドライバーのアンインストール

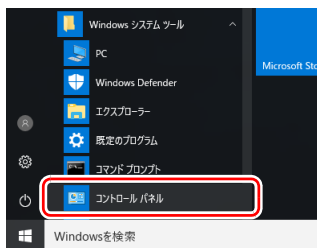
本項では ISIS/TWAIN ドライバーの手順を例に説明します。それぞれの手順に置き換えてお読みください。



重要

ソフトウェアをアンインストールするときは、必ず Administrator 権限のアカウントで Windows にログインしてください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[Windows システム ツール] - [コントロールパネル] をクリックします。

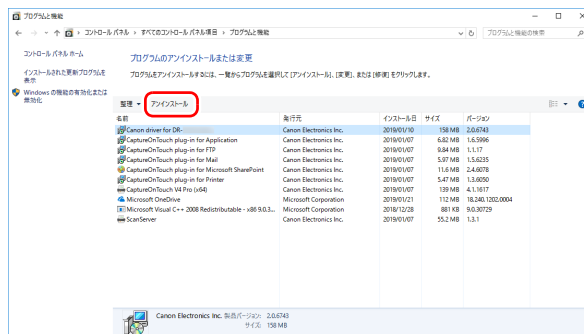


コントロールパネルが表示されます。

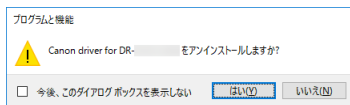
- 2 [プログラムのアンインストール] をクリックします。



- 3 プログラムの一覧から削除するアプリケーションを選択し、[アンインストール] をクリックします。



ファイル削除の確認画面が表示されます。



4 「はい」 ボタンをクリックしてアンインストールを実行します。

Mac

macOS 用ドライバーには、アンインストーラーはありません。アンインストールするには、下記のファイルを Finder などで削除してください。

/Library/Image Capture/TWAIN Data Sources/DRS150

または

/Library/Image Capture/TWAIN Data Sources/DRS130

/Applications/CaptureOnTouch

保証とアフターサービス

■ 保証登録について

保証登録サイト (<http://canon.jp/biz-regists>) にて保証登録ができます。保証登録をしていただくと、以下のようなサービス (情報) をお受け取りになることができます。

– お買い上げ日から 1 年間の無償保証および「保証書」電子発行 (ウェブサイト上での閲覧および印刷)

* 消耗品 (フィードローラー、リタードローラー、分離パッドなど) については、保証期間内であっても保証の対象とはなりません。

– 登録機器の「機器情報」の確認、および保証期間の確認

– キヤノンサービスパック (キヤノン製品パッケージ型保守サービス。以下、CSP) をご購入のお客さまの「お客さま登録」および更新
ご使用中の機器情報を一覧で閲覧できるほか、登録機器の保証期間の有無をご確認いただくことができます。また、お客さまがご使用中の製品、その他キヤノンからの最新情報をご提供いたします。

保証登録の際は、本製品に付属されている「保証登録のお願い」の内容を併せてご確認ください。

※ 保証登録のお願いページ URL
<<http://canon.jp/biz-regists>>

■ 修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または下記の修理受付窓口へご相談ください。

■ 修理を依頼される前に

『ユーザーマニュアル』(本書) の「トラブルシューティング」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■ 修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容 (できるだけ詳しく)

■ 本製品を修理のために送付するときのお願い

本製品の修理を依頼するときは、下記の修理受付窓口に送付の上、指定されたサービスセンターに本製品をお送りいただく必要があります。本製品の送付には、製品が入っていた梱包箱をご利用ください。また、梱包箱に入れるときに、本製品を梱包材でしっかり固定していただくようお願いいたします。

■ 補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理依頼

■ 持込修理窓口

保証内容や修理についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、下記のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。

* 修理のお問い合わせ・お申し込みについては下記 QR コードからもご確認いただけます。



お願い: 本機のお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

- サービスセンター銀座
東京都中央区銀座 3-9-7 トレランス銀座ビルディング 2F
03-3542-1815
- サービスセンター大阪
大阪市北区中之島 3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 1F
06-7739-2300

■ 送付修理窓口

以下の修理品受付センターでは、郵送・宅配による修理品のお取扱いを致しております。

郵送または宅配の際には、必要項目をご記入いただいた『修理依頼書』または、『修理依頼書』の必須項目と同じ内容をご記入いただいたメモを修理ご依頼品に添付いただき、無償保証期間内の場合は、保証書を同封してください。配達記録の残る書留か小包（ゆうパック）、または宅配でお送りいただくことをお勧めします。

- 関東 送付修理品受付センター
〒 300-4102 茨城県土浦市本郷 20-29
TEL 043-211-9582
- 近畿 送付修理品受付センター
〒 572-0075 大阪府寝屋川葛原 1-32-16
TEL 072-626-1313

2019 年 10 月 1 日 上記の内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

サービス&サポートのご案内

■ お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号



0570-08-0072

受付時間：＜平日＞ 9:00～17:00

（土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。）

- ・携帯電話・PHS をご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部の PHS からはご利用いただけませんのでご了承ください。
- ・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4531 におかけください。
- ・お客様相談センターの詳細につきましてはキャノンホームページ（<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>）をご参照ください。

■ 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキャノン製品取扱店およびキャノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

キャノンホームページ <http://canon.jp/>

- ・<http://canon.jp/support> では、製品情報、最新ドライバーのダウンロード、QA 検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
- ・ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ・通信料はお客様のご負担になります。

保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご利用いただくために

このたびはドキュメントスキャナーをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナーの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キャノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキャノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご利用いただけますように充実した内容となっており、キャノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キャノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キャノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キャノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

■ 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキャノンの保守契約制度です。

キャノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

- ・天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。
- ・消耗品およびキャノン指定の部品は対象外となります。

■ 購入時契約のおすすめ

ご愛用品を安心してお使いいただく為に、保守契約に加入をお勧めいたします。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キャノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキャノンマーケティングジャパン（株）までお願いします。

仕様

本体		読み取り速度	
形式	卓上型シートスルースキャナー	(条件：CPU Core i7 2.8GHz、実装メモリー 4GB、原稿サイズ A4)	
読み取り原稿サイズ		DR-S150	
普通紙		グレースケール	片面 200dpi 45 枚 / 分
サイズ	幅 : 50.8 ~ 216mm (2" to 8.5") 長さ : 54 ~ 356mm (2.1" to 14") (長尺モード時は最大 3,000mm (118.1"))		300dpi 45 枚 / 分
紙厚	分離給紙 : 27 ~ 209g/m ² (0.04 ~ 0.25mm) 非分離給紙 : 27 ~ 255g/m ² (0.04 ~ 0.3mm)		両面 200dpi 90 面 / 分
最大積載枚数	A4 サイズ以下の原稿 : 60 枚 (80g/m ²) A4 サイズを超える原稿 : 40 枚 (80g/m ²) 上記どちらの場合も高さ 6mm を超えないこと		300dpi 90 面 / 分
名刺		カラー	片面 200dpi 45 枚 / 分
サイズ	幅 50mm (2") × 長さ 85mm (3.35") 以上		300dpi 30 枚 / 分
紙厚	380g/m ² (0.45mm) 以下		両面 200dpi 90 面 / 分
カード			300dpi 60 面 / 分
サイズ	54mm (2.12") × 86mm (3.37") (ISO/JIS 規格準拠)	インターフェイス	片面 200dpi 30 枚 / 分
カード厚	1.4mm (0.055") 以下		300dpi 30 枚 / 分
挿入方向	横送りのみ		両面 200dpi 60 面 / 分
エンボス付き	可能		300dpi 60 面 / 分
最大積載枚数	3 枚 (エンボスなし)、1 枚 (エンボス付き)	USB 3.2 Gen1x1/USB2.0	
パスポート		DR-S150	
サイズ	88mm (3.464") × 125mm (4.921") (ISO 規格準拠) スキャン時はパスポートを開き、別売りのキャリアシート (パスポート用) に入れて搬送のこと	IEEE802.11b/g/n、10Base-T/100Base-TX/1000Base-T	
紙厚	4mm (0.157") 以下 (キャリアシート込み)	DR-S130	
読み取りセンサー	CIS	IEEE802.11b/g/n	
光源	LED	その他の機能	
読み取り面	片面 / 両面	外形寸法	
読み取りモード	白黒、誤差拡散、グレースケール、アドバンスドテキストエンハンスメント、アドバンスドテキストエンハンスメント II、アクティブスレッシュホールド、カラー	半折りスキャン、重送検知無視機能	
読み取り解像度 (主走査 × 副走査)	100×100dpi/150×150dpi/200×200dpi/ 240 × 240dpi/300×300dpi/ 400×400dpi/600×600dpi	幅 291 (11.5") × 奥行き 247 (9.8") × 高さ 242 (9.5") mm (給紙トレイを取り付け、排紙トレイを収納した状態)	
		幅 291 (11.5") × 奥行き 600 (23.7") × 高さ 378 (14.9") mm (給紙トレイを取り付け、排紙トレイを引き出した状態)	
		質量 (AC アダプターを除く) 約 3.3kg	
		電源 (AC アダプター使用) DC24V 0.9A	
		消費電力 動作時 : 22.5W 以下 スリープモード : 3.1W 以下	
		電源スイッチ OFF 時 : 0.1W 以下	
		使用環境 温度 : 10℃ ~ 32.5℃ 湿度 : 20% (RH) ~ 80% (RH)	

AC アダプター (100 ~ 240V 型)

型番	MG1-5039 (24V)
入力	AC100 ~ 240V 50/60Hz 1.06 ~ 0.6A
出力	DC24V 2.0A
質量	約 0.3kg

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

交換部品

交換ローラーキット (商品コード: 5595C001)

搬送ローラー (給紙ローラー、分離ローラー) の交換キットです。

- 交換方法については、「[消耗品の交換](#)」(→ P.99) を参照してください。
- 交換部品についての詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

オプション

キャリアシート (パスポート用) (商品コード: 0697C002)

パスポートのスキャン時に使用するキャリアシートです。

キャリアシート (A4) (商品コード: 0697C001)

フラットベッドスキャナーユニット 102 (商品コード: 2152Cxxx)
DR スキャナーに取り付けて使用するフラットベッドスキャナーユニットです。本機に取り付けることで、ADF 付きフラットベッドスキャナーとして本機を活用できます。

NFC リーダー付給紙トレイ (商品コード: 4911Cxxx) (DR-S150 のみ)
NFC リーダーの機能が付いた給紙トレイです。本機に取り付けて COT Admin と共に使用することで、NFC による認証機能を追加することができます。

フラットベッドスキャナーユニットについて

Windows

本機は、オプションのフラットベッドスキャナーユニットを接続して使用できます。

動作環境

フラットベッドスキャナーユニットの必要システム要件に準じます。
使用にあたり、フラットベッドスキャナーユニットのスキャナードライバーのインストールが必要です。

CaptureOnTouch での使用について

スタートボタンへの割り当て機能について

フラットベッドスキャナーユニットを接続しているときは、CaptureOnTouch の「お気に入りスキャン」を、フラットベッドスキャナーユニットのスタートボタンに割り当てることができます。

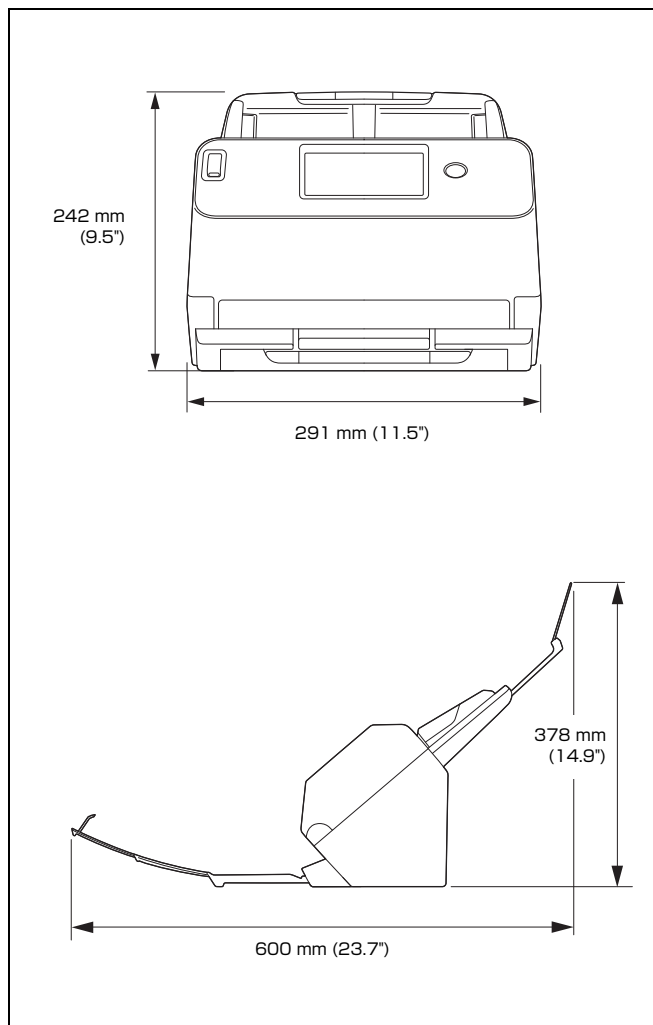
スタートボタンによる再起動の制限

CaptureOnTouch の常駐を無効に設定した場合、CaptureOnTouch を終了した状態でフラットベッドスキャナーユニットのスタートボタンを押して CaptureOnTouch を再起動することはできません。

スキャナードライバーの設定に関する留意事項

本機の機能がフラットベッドスキャナーユニットの設定ダイアログボックスで選択できないときは、ダイアログボックス上の「オプション」をクリックして本機のスキャナードライバーが開き、使用する機能を設定してください。

外形寸法図



索引

あ		て	
アンインストール	115	電源	8
お		と	
お手入れ	97	動作環境	7
か		は	
カード		パスポート	32, 121
セットのしかた	27	バッチ区切り	77, 84
カウンター	103	半折り	28
カスタム用紙サイズ	69	ひ	
紙詰まり	112	非分離給紙	27
き		ふ	
キャリアシート	30, 121	フラットベッドスキャナーユニット 102	121
給紙ローラー	99, 101	分離ローラー	99, 102
け		ま	
原稿	23	前ユニット	100
カード	27	マルチストリーム設定	77
セットのしかた	25	よ	
半折り	28	読み取りガラス	98
し		清掃	97
重送検知	36	ろ	
重送を検知する設定方法 (Windows)	36, 38	ローラー	98
重送を検知する設定方法 (Mac)	37	交換	99
す		清掃	97
スキャナードライバー	63	C	
簡単モード (Mac)	66	CaptureOnTouch	
基本的な設定	67	3 ステップスキャン	50
詳細モード (Mac)	66	お気に入りスキャン	52
目的に合わせた設定	70	起動	47
スキャン領域	69	再起動	47
せ		N	
接続設定	43	NFC リーダー付給紙トレイ	121
た		W	
タッチパネル	20	Web メニュー	87
ち		Wi-Fi 設定	44
長尺モード	34		

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER